

令和6年度

# 予算の概要 参考資料

愛知県



## 令和6年度予算参考資料 目次

項 目 名	ページ	資料2
「ジブリパークのある愛知」の魅力を発信します	1	1, 187, 198
愛知万博20周年記念事業を実施します	2	1, 205
スタートアップを起爆剤に、持続的にイノベーションを創出する愛知県独自のエコシステムの形成を目指します	3	2-4, 38-40
魅力ある県立大学・県立芸術大学づくりを推進します	4	5, 41, 98, 99
愛知発のイノベーション創出に取り組みます	5	5, 6, 41, 42
リニア開業を見据え、名古屋駅のスーパーターミナル化を推進します	6	7, 32
「中部国際空港の将来構想」の実現に向けた取組を進めます	7	7, 8, 35
愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」を活用した展示会産業の振興に取り組みます	8	8, 43, 44
SDGs達成に向けた取組を加速します	9	9, 242
PFI手法による新体育館（愛知国際アリーナ）の整備を推進します	10	10, 196
アジア・アジアパラ競技大会の開催に向けた取組を進めます	11	11, 12, 192, 193
「カーボンニュートラルあいち」の実現に向けて、取組を強力に推進します	12	13, 14, 25, 74, 75, 233, 234, 237, 238
地球温暖化対策の取組を推進します	13	13, 233, 235, 236
脱炭素プロジェクトを推進します	14	14, 234, 237
「矢作川・豊川CN（カーボンニュートラル）プロジェクト」を推進します	15	13, 238
上下水道事業の効率的な運営に向けた検討調査を行います	16	13, 25
水素・アンモニアの社会実装を推進します	17	16
愛知の「休み方改革」を通じて、観光需要の平準化を促進します	18	17, 197
「あいち県民の日」・「あいちウィーク」の取組を推進します	19	17, 203
喫緊の課題である少子化対策を強力に推進します	20	19
結婚支援の取組を積極的に推進します	21	18, 113
ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を推進します	22	19, 21, 171, 172

項 目 名	ページ	資料2
あいちDX推進プラン2025関連施策を推進します	23	22
警察手数料のキャッシュレス決済や運転免許更新予約制度の導入により、県民の利便性向上を図ります	24	20, 221, 254
地域の発展を支える道づくりを推進します	25	23
豊橋浄水場の再整備を推進します	26	26
新モビリティサービスの普及促進を図ります	27	32
次世代産業の育成・振興を推進します	28	9, 47, 50, 52-54
本県産業の持続的な発展を図るため、用地造成事業を推進します	29	55
ロボットを「作り」「使う」世界的な先進地の形成を目指します	30	52, 53
産業空洞化対策を引き続き強力的に推進します	31	46, 47
中小・小規模企業の企業力強化等を支援します	32	57, 62, 63
商店街の活性化を強力的に推進します	33	60, 61
農業分野におけるイノベーション創出を推進し、農業生産力の向上を図ります	34	5, 41, 64, 65, 68
「花の王国あいち」を幅広くPRし、あいちの花の需要拡大を図ります	35	66, 67
持続可能な畜産業に向けた対策を進めます	36	67, 71, 72
「あいち森と緑づくり税」を活用し、森と緑を育み、守る取組を推進します	37	31, 79
カーボンニュートラルの実現やSDGsの達成に貢献する民間建築物での木造・木質化に取り組みます	38	78, 79
水産業の基盤整備等の取組を推進し、漁業生産力の強化を図ります	39	80-82
小学校の少人数学級を拡充するとともに、小学校高学年における教科担任制を強化します	40	83
県立高等学校の一層の魅力化・特色化と再編を推進します	41	85-87, 90
多様な学習ニーズに対応し、一人ひとりの個性と能力を伸ばせる学びを実現します	42	87, 88, 90
ICT活用の推進体制を強化し、新たな時代に相応しい教育を実現します	43	93
児童・生徒の心のサポート体制を充実します	44	96, 97
教育の質を維持した上での教員の働き方改革の実現を目指します	45	83, 84, 91-95, 97
県立学校の教育環境の整備を図ります	46	84, 85, 87, 88

項 目 名	ページ	資料2
総合教育センターの移転整備を進めます	47	96
父母負担の軽減・教育条件の維持向上のため728億余円を計上します	48	100-105
すべての子どもが輝く未来の実現に向けて、子どもの貧困対策の推進に取り組みます	49	96, 97, 105, 108, 109, 111, 112, 115, 128, 130, 144
子ども・子育て支援新制度を着実に推進するとともに、保育サービスの充実を図ります	50	18, 19, 115-117
保育人材の確保対策を推進します	51	18, 113, 117, 118
ヤングケアラーとその家族を社会全体で支えていくため支援の充実を図ります	52	111
児童虐待防止対策を強化します	53	112, 121
「あいちオレンジタウン推進計画」に基づき、認知症施策を推進します	54	124
介護人材の確保対策を推進します	55	123, 124, 129
本格的な超高齢社会に向け、地域包括ケアを推進します	56	124
福祉医療制度で医療費の助成を行います	57	116, 126, 139
地域共生社会の実現を目指し、市町村における包括的な支援体制の整備を推進します	58	128
困難な問題を抱える女性への支援を推進します	59	129
「愛知・つながりプラン2028」に基づき、特別支援教育を充実します	60	84, 88, 89, 94, 97
障害のある人が身近な地域で安心して暮らせるよう支援します	61	133, 140
障害のある人の社会参加と障害への理解促進を図ります	62	133, 136
愛知から障害者スポーツを盛り上げます	63	137
MDアンダーソンがんセンターとの連携を推進します	64	154
将来のがんセンターの整備に向けた基本計画を策定します	65	162
保護した犬・猫の譲渡を推進する施設の検討・調査を行います	66	166
自殺・ひきこもり対策を推進します	67	146
デジタル人材の育成を推進します	68	21, 167, 170, 180
技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催と技能五輪国際大会の本県招致に向けた取組を推進します	69	168

項 目 名	ページ	資料2
中小企業の人材確保を支援します	70	140, 141, 173, 174
従業員の奨学金返還を支援する中小企業を応援します	71	173
「女性が元気に働き続けられる愛知」を目指し女性の活躍促進に取り組みます	72	178
女性の活躍促進に向けた取組を積極的に推進します	73	175-177
人権が尊重される社会づくりに向けた取組を推進します	74	179
就職氷河期世代の就職・社会参加を支援します	75	181
中国・広東省との友好交流を推進します	76	183
多文化共生社会の形成による豊かで活力ある地域づくりに取り組みます	77	186
外国人児童生徒等への学習・就労支援を充実します	78	83, 92, 109
多文化共生社会づくりに向けた取組を積極的に推進します	79	183, 185
国際芸術祭「あいち2025」の開催準備を進めるとともに現代美術への関心を地域に広めます	80	188
スポーツ大会を活かした地域振興を推進します	81	194
『あいち観光戦略2024-2026』に基づき、観光振興施策を強力に推進します	82	1, 8, 17, 43, 44, 183, 197-202, 204, 205
訪日外国人旅行者向け体験型コンテンツの造成に取り組みます	83	200
地産地消の推進やブランド力強化の取組を進め、県産農林水産物の需要拡大を図ります	84	66, 204
「あいち山村振興ビジョン2025」に基づき、三河山間地域の振興を強力に進めます	85	207
地震に強い安全・安心なあいちを目指し地震対策を推進します	86	214
愛知県基幹的広域防災拠点の整備を推進します	87	208
ゼロメートル地帯における広域的な防災活動拠点の整備を進めます	88	209
次世代高度情報通信ネットワークの整備を進めます	89	210
住宅・建築物の耐震化の促進を図ります	90	212, 213
「災害時に人とペットが共生できる愛知」の実現を目指します	91	208
消防団への加入促進の取組を推進し、地域防災力の充実強化を図ります	92	215

項 目 名	ページ	資料2
交通事故死者数の減少を目指し、交通安全対策を推進します	93	220-223
多発事故の防止に向けた啓発活動及びヘルメットの着用を促進します	94	220, 221
交通事故を減らし、安全で快適な交通社会を目指します	95	223
安全で安心なまちづくりを推進します	96	224, 225
ゼロエミッション自動車の普及加速に向けて、取組を強力に推進します	97	236, 237
住宅の省エネルギー化を推進します	98	235
循環型社会の形成に向けた取組を推進します	99	238
生物多様性保全に関する取組を推進します	100	241, 242
「環境首都あいち」を支える人づくりを推進します	101	238, 243, 244
東三河振興ビジョン2030関連施策を推進します	102	250
「東三河森林ルネッサンスプロジェクト」に基づき、森林資源の新たな循環利用を強力に進めます	103	247, 248
新たな「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口問題対策を加速します	104	251, 259
行政改革を積極的に推進します	105	252

### 令和6年2月定例県議会提出予定の条例等

項 目 名	ページ	資料4
愛知県スタートアップ支援拠点条例の制定について	106	ページ 3
使用料及び手数料の新設及び改定等について	107	8





# 「ジブリパークのある愛知」の魅力を発信します

とりまとめ  
政策企画局ジブリパーク推進課  
調整第一グループ  
内線 2482・5293  
(ダイヤルイン) 052-954-6857

予算額 184,361千円

「魔女の谷」開園により、全5エリアが開園するジブリパークへ旅行者を迎え入れる雰囲気醸成するとともに、県内の観光資源の魅力を広くアピールし、県内への宿泊や周遊観光の促進に取り組みます。

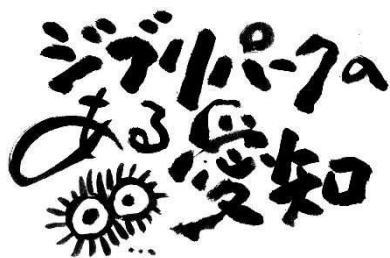
## ジブリパーク推進事業費

60,151千円

- 全5エリアが開園するジブリパークへ旅行者を迎え入れる雰囲気づくり
  - ・ジブリパークまでの交通アクセス上の結節点となる駅や空港等においてジブリパークをイメージした歓迎装飾を実施
  - ・リニモ及び愛知環状鉄道におけるジブリパークをイメージした車両ラッピングの張替を実施



ジブリパークをイメージした歓迎装飾



「ジブリパークのある愛知」ロゴマーク

## ジブリパーク周遊観光促進事業費 124,210千円

- 「ジブリパークのある愛知」をイメージしたキービジュアルや観光動画によるPR・プロモーション
  - ・首都圏、関西圏のデジタルサイネージを活用した観光誘客
  - ・特設Webサイト「ジブリパークのある愛知への旅」において観光プログラムや周遊モデルコースを紹介



「ジブリパークのある愛知」をイメージしたキービジュアル

画像は全て© Studio Ghibli

# 愛知万博 20 周年記念事業を実施します

予算額 506,466千円

政策企画局企画調整部企画課  
愛知万博 20 周年記念事業推進室企画・調整グループ  
内線 5222・5223  
(ダイヤルイン)052-954-6073

2025 年に愛知万博開催 20 周年を迎えるにあたり、愛知万博の理念と成果の再認識・継承を図るとともに、愛知県の魅力を国内外に向けて発信することを目的として、20 周年記念事業を実施します。

## <愛知万博 20 周年記念事業の概要>

- 1 会 期：2025 年 3 月 25 日から 2025 年 9 月 25 日まで（185 日間）※2005 年の愛知万博と同じ会期
- 2 会 場：愛・地球博記念公園
- 3 メインテーマ：つなぐ 未来（あした）へ
- 4 サブテーマ：①愛知で、さがそう！遊ぼう！つながろう！ ②語りあおう！つなげよう！自然の叡智
- 5 開催イメージ：
  - 地球市民交流センターや園路等で、万博の理念や成果を伝える展示・装飾等を行う常設展示イベントを展開
  - 土日祝日や夏休み期間等に、毎月 2 週末程度、テーマを決めた実行委員会主催の目玉イベントを開催
  - 既存イベントとの連携、市町村・企業・大学等との協働イベントを開催
  - ジブリパークと連携したイベントの実施
  - 大阪・関西万博関連イベントの実施検討
- 6 総事業費・想定来園者数：

総事業費は約 17 億円を想定しており、来園者数は 185 万人を見込む。



# スタートアップを起爆剤に、持続的にイノベーションを創出する愛知県独自のエコシステムの形成を目指します

とりまとめ  
 経済産業局革新事業創造部スタートアップ推進課  
 戦略推進グループ  
 内線 5452・5443  
 (ダイヤルイン)052-954-6331

予算額 12,804,700千円  
 (外に債務負担行為 4,030,000千円)

「Aichi-Startup 戦略」(2023年3月改定)の根幹をなす「STATION Ai プロジェクト」に基づき、スタートアップの新たなアイデアとモノづくりの優れた技術との融合によるイノベーションを誘発し、本県産業の成長を拡大させるエコシステム形成の取組を一層強化します。

**STATION Ai 管理運営事業費 10,829,594千円**  
 (外に債務負担行為4,030,000千円)

## ○「STATION Ai」の整備推進

- ・PFIによる施設整備 開業時期：2024年10月
- ・スタートアップ等の集積を目的とした広報・宣伝及び誘致等を実施する開業準備業務の推進
- ・開業に合わせ STATION Ai の魅力を発信するイベントの開催 (新規)

**あいち創業館管理運営事業費 497,166千円**

## ○「あいち創業館(Aichi Founders Museum)」の整備推進

- ・STATION Ai 内に、愛知県ゆかりの創業者・経営者の業績などを伝える施設を整備するため展示物を制作

**PRE-STATION Ai 事業費 302,567千円**

## ○「PRE-STATION Ai」の運営

- ・WeWork グローバルゲート名古屋内に設置した PRE-STATION Ai において、統括マネージャー等を配置し、起業や県内企業との協業に向けた支援等、スタートアップの総合支援を展開

**STATION Ai パートナー拠点事業費 62,171千円**

## ○地域を支援する統括マネージャーの配置

- ・県内各地域での拠点設立の促進や連携支援するため統括マネージャーを配置

**海外スタートアップ支援機関連携推進事業費 740,530千円**

## ○本県のエコシステムを世界に発信するグローバルイベントの開催 (新規)

- ・グローバル拠点都市コンソーシアムの主要メンバーと連携し、スタートアップに関する地域連携のイベントを開催

## ○世界最高水準のアクセラレータープログラムの展開

- ・世界トップレベルのアクセラレーターによるアクセラレーションプログラム及び海外スタートアップインバウンドプログラムの実施

## ○7か国16の海外スタートアップ支援機関・大学等との連携

- ・アメリカ(テキサス大学オースティン校)、シンガポール国立大学、フランス(STATION F・AuRA 地域圏等)、中国(清華大学・浙江大学等)、イスラエル(イノベーション庁等)、ドイツ(NRW州)、韓国(慶尚南道)

**スタートアップ支援事業費 372,672千円**

- ・起業を目指す者及び創業間もないスタートアップを対象にしたコンテストの開催 (新規)

- ・ディープテック系スタートアップへの総合的な支援
- ・スタートアップ特有の人材採用支援の展開
- ・学生・社会人等の起業家の発掘、育成及び教育プログラムの実施
- ・全国のスタートアップと県内企業とのオープンイノベーション促進
- ・起業支援金の支給・伴走支援
- ・ベンチャーキャピタルとのネットワーク構築

# 魅力ある県立大学・県立芸術大学づくりを推進します

予算額 2, 149, 745千円  
(外に債務負担行為 1, 891, 428千円)

県民文化局県民生活部学事振興課  
公立大学法人グループ  
内線 2451・2449  
(ダイヤルイン)052-954-6243

県立大学・県立芸術大学における教育研究活動の多様化や施設の長寿命化のための整備を進め、魅力ある大学づくりを推進します。

## 県立大学インキュベーション施設整備調査費（新規） 4, 801千円

### ○インキュベーション施設の整備に向けた基本調査

教育研究活動の充実や地域のスタートアップ支援を図ることを目的とした、インキュベーション施設の整備を進めるための基本調査を実施します。

<調査内容>

- ・インキュベーション施設に必要とされる機能、規模等の検討
- ・施設整備計画案の作成

### 【インキュベーション施設】

創業初期段階にある起業者の事業拡大や成功を支援する目的のもと、通常よりも安価な賃料の事務所スペースの提供や、事業の立ち上げに関する専門家によるサポートの提供を行う施設

## 芸術大学施設設備整備費 1, 480, 487千円 (外に債務負担行為 1, 891, 428千円)

### ○長寿命化の推進

愛知県公共施設等総合管理計画に基づき、県立芸術大学の施設について、長寿命化改修のための実施設計や改修工事を実施します。

## 公立大学法人施設整備費補助金 664, 457千円

### ○長寿命化の推進

公立大学法人が実施する県立大学における施設の長寿命化改修を支援します。

# 愛知発のイノベーション創出に取り組みます

予算額 929,825千円

とりまとめ  
経済産業局革新事業創造部イノベーション企画課  
戦略企画・運用グループ  
内線 5240・5488  
(ダイヤルイン)052-954-7423

愛知発のイノベーションを創出するため、様々な分野における官民連携によるイノベーションプロジェクトに取り組みます。

## 革新事業創造戦略推進事業費

115,754千円

- 民間からのイノベーション創出に向けた提案を受け付ける「革新事業創造提案プラットフォーム（愛称：A-IDEA（アイディア）」の運営
- イノベーション関連の有識者で構成する「革新事業創造戦略会議」及び庁内関係課等によるワーキンググループでの提案具体化の支援
- 「革新事業創造事業費補助金」による民間主導で行われるイノベーション創出プロジェクトに対する支援

## あいち環境イノベーションプロジェクト推進費

【環境局】

68,238千円

- 環境分野の課題について具体的なテーマを掲げ、スタートアップ等を対象に解決に資する技術やアイデアを募集
- 採択した提案ごとにワーキンググループを立ち上げ、ロードマップの作成等による事業化に向けた伴走支援を実施
- 企業や投資家等からの支援獲得を目指して、取組内容を情報発信等する連携促進交流会及び取組の成果を発信する報告会を開催

## あいち農業イノベーションプロジェクト推進費

【農業水産局】

118,133千円

- 農業イノベーション創出に向けて、農業総合試験場とスタートアップ等が共同研究開発
- オープンイノベーションに向けたセミナーや取組の成果を発信する報告会の開催
- 生産ほ場を活用した新技術の導入を促進し、農業イノベーションの創出と現場実装を推進

## あいちモビリティイノベーションプロジェクト推進事業費

230,102千円

- 物流用ドローンの社会実装に向けた実現可能性調査及び運営事業者の参入支援
- 大規模災害発生直後及び平時のビジネスにおけるドローン活用可能性の検討
- 空飛ぶクルマ社会実装に向けた事業適地の調査等の実施

## あいちデジタルヘルスプロジェクト推進事業費

318,598千円

- 「フレイルへの進行予防」、「生きがいづくり」、「地域居住・生活支援」を柱とする産学官連携による先行プロジェクトの実施
- コンソーシアムを中心とした、産学官の共創による新たなサービス・ソリューションを創出するための環境構築を実施
- 県民にサービス・ソリューションを提供するためのポータルサイト及びデータ連携基盤の整備に向けた調査の実施

## あいちスポーツイノベーションプロジェクト推進事業費（新規）

【スポーツ局】

79,000千円

- プロジェクトの推進母体となるコンソーシアム「アイチ スポーツ イノベーション アクスル Aichi Sports Innovation Axle (AiSIA(アイシア))」の設立・運営
- 新たなビジネスチャンスの創出、スポーツの成長産業化、スポーツを通じた地域活性化に向けた取組の推進

# リニア開業を見据え、名古屋駅のスーパーターミナル化を推進します

都市・交通局交通対策課  
リニア事業推進室  
調整グループ  
内線 2595・2596  
(ダイヤイン)052-954-6707

予算額 122,542千円

広域交通ネットワークの拠点である名古屋駅の利便性の向上を図り、リニア開業の効果を広域的に波及させるため、リニア大交流圏の玄関口となる名古屋駅のスーパーターミナル化を推進します。

## ○ 名古屋駅スーパーターミナル化推進費補助金

名古屋市が行う「名古屋駅のわかりやすい乗換空間」の形成等に係る事業に対する補助

### 【事業概要】

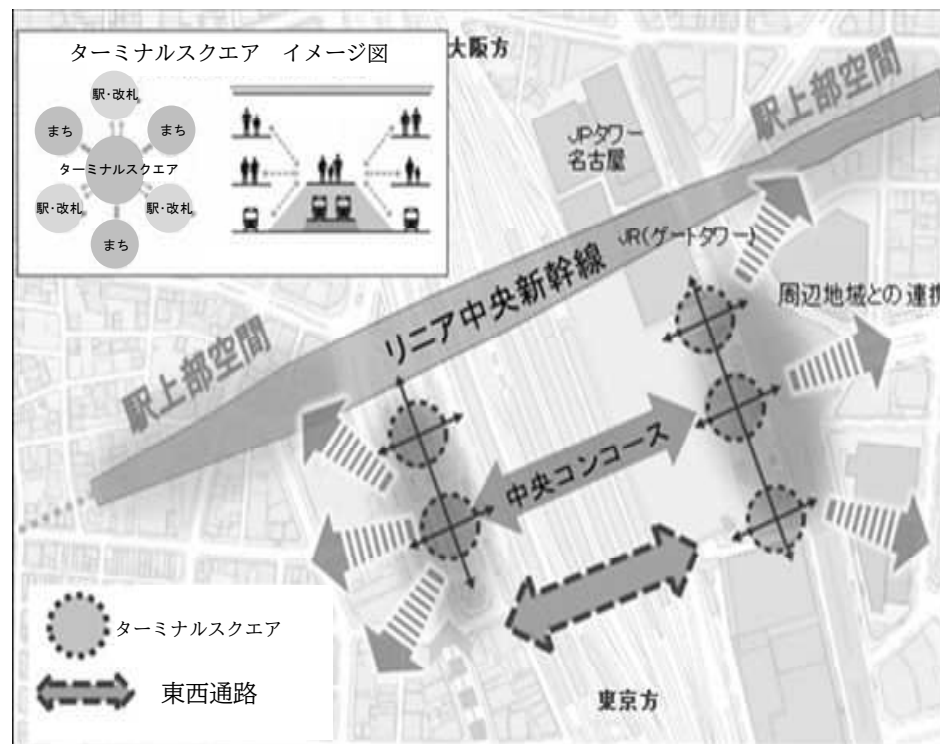
主要な乗換動線が交差する5箇所に、乗換先が一目で見渡せるターミナルスクエアを設け、わかりやすい乗換空間を形成するとともに、まちにつながる歩行者空間を形成する。

### 【補助対象】

地上・地下の各交通機関相互を結ぶ乗換動線、昇降施設に係る事業

### 【補助率】

1 / 3 以内



名古屋駅整備の基本的な考え方・イメージ図

# 「中部国際空港の将来構想」の実現に向けた取組を進めます

予算額 64,088千円

都市・交通局航空空港課  
機能強化推進グループ  
内線 2280・2281  
(ダイヤル)052-954-7460

将来の航空需要に対応するとともに、喫緊の課題である現滑走路の大規模補修を速やかに実施するため、2段階の整備で滑走路処理容量を現在の約1.5倍とすることを目指す「中部国際空港の将来構想」を推進します。

## 1 中部国際空港株式会社貸付金 29,350千円

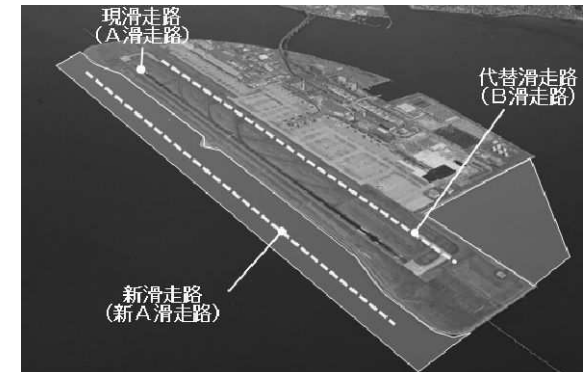
2027年度を目途とした現空港用地内における代替滑走路の供用開始を目指し、中部国際空港株式会社が行う整備等に対し、国と3県1市が連携して、財政的に支援

## 2 中部国際空港機能拡充推進事業費 16,000千円

将来構想の実現に向けた国への働きかけや機運の醸成、需要拡大に取り組むための活動を推進

## 3 中部国際空港路線誘致促進事業費 18,738千円

航空ネットワークの拡充に向け、航空会社に対するエアポートセールスを行うとともにアウトバウンドを促進



# 愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」を活用した 展示会産業の振興に取り組みます

観光コンベンション局国際観光コンベンション課  
国際展示場室推進グループ  
内線 3468・3469  
(ダイヤルイン) 052-954-6849

予算額 203,462千円

愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」を活用し、国際的なMICE誘致を進めるとともに、新たな展示会需要の創造等に取り組みます。

## ○ 官民連携組織を通じた新たな展示会需要の創造



・ Aichi Sky Expo 利用促進補助金による催事の開催支援

対象催事	Aichi Sky Expo の展示ホールを利用する催事であって、以下のいずれかに該当するもの ・ 県が主催者（県単独主催を除く。）、共催者又は実行委員会の構成員等である催事 ・ 県が後援している催事 (BtoB 商談を含む展示会、国際的な催事、大規模催事又はアジア・アジアパラ競技大会関連催事に限る。)
対象経費	①Aichi Sky Expo の利用料金（展示ホール、会議室、多目的利用地、附属設備及び光熱水費） ②シャトルバス運行費
補助率	① 1 / 2（補助上限額 10,000 千円） ※Aichi Sky Expo で初めて開催される BtoB 商談を含む展示会は 10/10（補助上限額 20,000 千円） ② 1 / 2（補助上限額 100 千円 + 750 千円 × 開催日数）
2024 年度からの 拡充内容	対象催事にアジア・アジアパラ競技大会関連催事を追加

## ○ 新たな展示会の創出

アクシア エキスポ

・「AXIA EXPO 2024（スマートシティをテーマとした産業展示会）」の開催  
(開催時期：2024 年 6 月 5 日(水)～7 日(金))





愛知県は持続可能な開発目標（SDGs）を推進しています

# SDGs 達成に向けた取組を加速します

予算額 53,262千円

とりまとめ  
環境局環境政策部環境政策課  
企画・広報グループ 内線 3019・3016  
(ダイヤルイン)052-954-6210

SDGs 達成に向けた取組を加速するため、「SDGs AICHI EXPO 2024」を開催するなど、一層の普及啓発を行うとともに、生物多様性保全を始めとする環境面からの取組を推進します。

## 1 「SDGs AICHI EXPO 2024」の開催【環境局】 29,000千円

SDGs に積極的に取り組む企業・大学・高校・NPO等の約140ブースの出展による取組の発信をするとともに、講演等の実施により、SDGs 達成に向けた変革を促進します。

- ・時期：2024年秋
- ・会場：愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）
- ・主催：SDGs AICHI EXPO実行委員会

## 2 生物多様性SDGsの推進【環境局】 21,474千円

SDGs の理念を踏まえた「あいち生物多様性戦略2030」に基づき、県内の生物多様性保全の取組を一層活性化します。

- ・「あいち生物多様性企業認証制度」の運用、認証企業による取組事例の現地視察会やセミナーの開催
- ・ユースによる生物多様性保全活動・情報発信を支援
- ・生物多様性サポーターの登録、フォーラムの開催
- ・保安全管理の重要性が高い湿地の調査等の実施

## 3 多様な主体によるSDGsの取組促進【政策企画局】 2,788千円

### ◆愛知県SDGs登録制度「あいちSDGsパートナーズ」登録者のマッチング支援

登録者を対象としたSDGs登録企業等交流会を開催し、SDGsの達成に向けた取組を行う企業・団体間のマッチングと新たな取組の創出を図ります。

### ◆高校生と愛知県SDGs登録制度「あいちSDGsパートナーズ」の登録者の交流促進（新規）

高校生と登録者の交流会を開催するとともに、高校生が登録者に取材を行うことで、パートナーシップ形成を図ります。

### ◆若い世代によるSDGsの取組促進モデル事業（新規）

大学生のグループによるSDGs達成に向けた取組を公募し、モデル事業として委託実施することにより、若い世代による取組を促進します。



# P F I 手法による新体育館（愛知国際アリーナ）の整備を推進します

スポーツ局愛知国際アリーナ課  
調整グループ  
内線 3980・3979  
(ダイヤル)052-954-6819

予算額 25,700,440千円  
(外に債務負担行為 1,318,438千円)

設計・建設から維持管理・運営を一体として実施する「BTコンセッション方式」により、民間のノウハウを最大限活用しながら、2025年夏のオープンを目指し、新体育館（愛知国際アリーナ）の整備を進めます。

## 【事業内容】

- P F I 事業者によるアリーナの建設
- P F I 事業の財務面・法務面・技術面のモニタリング
- 新体育館の運営に必要な備品の調達 等

### <新体育館（愛知国際アリーナ）の概要>

- ・ P F I 事業者 株式会社愛知国際アリーナ
- ・ 建築面積 約 26,500 m<sup>2</sup>
- ・ 延床面積 約 63,000 m<sup>2</sup>
- ・ 階層 地上5階
- ・ 最高高さ 41.0m
- ・ 最大収容人数 17,000人（立見含む）
- ・ 事業計画地 名城公園北園の一部（約 46,000 m<sup>2</sup>）

## 【スケジュール】

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
特定事業契約締結 (5/31)	建設工事着手 (7月)		竣工 (3月)	開業準備 (夏)	アジア・アジアパラ競技大会
設計		建設・開業準備		維持管理・運営 (30年)	
			備品調達・搬入・設置		

### 【外観イメージ】



# アジア・アジアパラ競技大会の開催に向けた取組を進めます

スポーツ局アジア・アジアパラ競技大会推進課  
調整グループ  
内線 2855・3479  
(ダイヤル)052-954-6845

予算額 4,556,762千円  
(外に債務負担行為 14,047,349千円)

2026年に愛知・名古屋で開催される「第20回アジア競技大会」及び「第5回アジアパラ競技大会」の開催に向けた取組を進めます。

○愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会負担金 3,423,324千円  
(外に債務負担行為 13,148,311千円)  
大会運営に関する諸計画(競技、輸送・宿泊等)の策定、競技会場仮設整備の実施設計など

○アジア・アジアパラ競技大会愛知・名古屋合同準備会負担金 262,908千円  
(外に債務負担行為 85,936千円)  
開催2年前イベントの実施、観客輸送計画の策定など

○推進事務費 35,109千円  
大会を活用した地域の活性化の推進など

○アジア・アジアパラ競技大会市町村施設改修事業費補助金 775,071千円  
(外に債務負担行為 757,055千円)  
市町村が所有する競技施設の改修事業費の一部を補助

○宿泊施設バリアフリー整備推進事業費(新規) 60,350千円  
(外に債務負担行為 56,047千円)  
宿泊施設のバリアフリー整備にかかる費用の一部を補助



# 「カーボンニュートラルあいち」の実現に向けて、 取組を強力に推進します

予算額 2,167,209千円

とりまとめ  
環境局地球温暖化対策課  
計画推進グループ 内線 3055・3089  
(ダイヤル)052-954-6242

## カーボンニュートラルの実現 191,947千円

- あいちカーボンニュートラル戦略会議運営費 1,429千円
- 矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクト推進費【建設局】 28,478千円  
・矢作川・豊川カーボンニュートラルプロジェクトの総合的なマネジメントを実施する推進協議会を運営するとともに、施策の実現に向けて技術面などからの検討を実施
- 上下水道広域連携検討調査費【建設局】(新規) 54,749千円  
・カーボンニュートラルの実現、料金上昇の抑制、DXの推進を図るため、矢作川流域を中心とした西三河地域の上下水道一本化に向けた検討調査を実施  
・上下水道の官民連携手法の導入可能性について検討調査を実施
- 森林クレジット制度活用促進事業費【農林基盤局】 4,161千円  
・植林や森林整備などによるCO<sub>2</sub>の吸収量の拡大に向けて、企業資金の導入を促進するため、森林クレジット制度の活用に向けたビジネスマッチング等を実施
- 木造・木質化まちづくり支援事業費【農林基盤局】 40,100千円  
・名古屋競馬場跡地の後利用における「まちづくり」で行うまち全体の統一的な木造・木質化に対する支援
- カーボンリサイクルプロジェクト推進費(新規) 28,334千円  
・産業部門から排出されるCO<sub>2</sub>を、廃棄物中のカルシウム成分と反応させ、コンクリートに固定化するカーボンリサイクル<sup>※</sup>に関する取組の事業化を支援  
※CO<sub>2</sub>を資源として捉え回収し様々な製品や燃料として再利用
- 物流脱炭素化プロジェクト推進費(新規) 34,696千円  
・弁当の配送や、容器・調理くずをリサイクルする際の物流において、FCトラックを活用して脱炭素化を図る取組を支援し、物流脱炭素化のモデルを構築するとともに、このモデルを横展開し、荷主と運輸事業者等が連携した物流脱炭素化を推進

## その他カーボンニュートラル関連の主な事業

- ◎水素の社会実装の推進 526,771千円
  - 中部圏水素・アンモニア社会実装推進事業費【経済産業局】 6,448千円
  - 海外水素産業連携推進事業費【経済産業局】(新規) 59,096千円
  - 水素・アンモニア工業炉活用推進事業費【経済産業局】(新規) 108,199千円
  - 水素ステーション整備促進事業費【経済産業局】 316,474千円
  - 低炭素水素サプライチェーン事業化推進費 9,621千円
  - 低炭素水素モデルタウン検討調査費(新規) 19,965千円
  - 水素エネルギー産業社会形成パイロット事業費【経済産業局】 6,968千円
- ◎地球温暖化対策の推進 1,448,491千円
  - あいち地球温暖化防止戦略費
    - ・戦略推進費 117,957千円
    - ・温暖化防止県民運動推進事業費 7,324千円
    - ・住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金 340,000千円
    - ・民間住宅省エネ改修事業費補助金【建築局】(新規) 20,825千円
    - ・再生可能エネルギー設備導入支援事業費補助金 184,574千円
    - ・省エネルギー設備等導入支援事業費補助金 96,600千円
  - あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン推進費
    - ・推進事業費 4,134千円
    - ・先進環境対応公用車導入費 91,731千円
    - ・先進環境対応自動車導入促進費補助金 499,716千円
    - ・充電インフラ整備促進費補助金(新規) 50,000千円
  - 自動車排出ガス対策費 19,734千円
  - エコモビリティライフ推進費【都市・交通局】 424千円
  - 畜産メタン削減実証事業費【農業水産局】(新規) 15,472千円

# 地球温暖化対策の取組を推進します

予算額 747,884千円

とりまとめ  
環境局地球温暖化対策課  
調整・企画グループ 内線 3032・3004  
(ダイヤル)052-954-6213

2022年12月に策定した「あいち地球温暖化防止戦略2030（改定版）」に基づき、2050年カーボンニュートラルを実現する長期目標の下、2030年度の温室効果ガス削減目標（2013年度比で46%削減）の達成に向け地球温暖化対策を強化します。

## 1 あいち地球温暖化防止戦略推進費 119,386千円

温室効果ガスの排出を削減する「緩和策」及び気候変動による影響に対処する「適応策」に取り組めます。

- ・あいちカーボンニュートラル戦略会議の運営
- ・地球温暖化対策計画書制度の運用
- ・「あいち脱炭素経営支援プラットフォーム」を通じた金融機関等との連携による中小企業等の脱炭素経営支援（新規）  
⇒ワンストップ相談窓口の設置、伴走型の省エネ診断、脱炭素経営の体制構築に係るコンサルティング、人材育成 等
- ・中小企業のSBT<sup>※1</sup>認定取得の支援
- ・県有施設へのPPA方式<sup>※2</sup>による太陽光発電設備の導入推進 など

※1 SBT : 5~10年先を目標として企業が設定し、国際機関が認定する、パリ協定が求める水準と整合した温室効果ガスの削減目標

※2 PPA方式: 事業者が、施設の屋根や土地を借りて、太陽発電設備を設置し、発電した再エネ電気を施設所有者に販売する方式

## 2 温暖化防止県民運動推進事業費 7,324千円

脱炭素型の生活様式への転換を促す「あいち COOL CHOICE」県民運動を市町村等と一体となって推進します。

## 3 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金 340,000千円

住宅用地球温暖化対策設備を導入する個人に対し、導入経費の一部を市町村との協調により補助します。

また、太陽光発電の自家消費の拡大を図るため、蓄電池の補助制度を拡充します。



### 【拡充内容】

補助基準額 10万円/基→40万円/基

## 4 再生可能エネルギー設備導入支援事業費補助金 184,574千円

自家消費型の再生可能エネルギー発電等設備を導入する事業者に対し、導入経費の一部を補助します。

## 5 省エネルギー設備等導入支援事業費補助金 96,600千円

省エネルギー設備の導入や、建築物をZEB<sup>※</sup>化する事業者に対し、導入経費の一部を補助します。

※ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）：省エネルギー化と再生可能エネルギーの活用によりエネルギー消費量を正味でゼロにすることを目指した建物

# 脱炭素プロジェクトを推進します

予算額 63,030千円（新規）

環境局地球温暖化対策課  
活動支援グループ  
内線 5487・3056  
(ダイヤル)052-954-6887

企業から提案され、「あいちカーボンニュートラル戦略会議」で選定された2つの企画アイデアを支援し、脱炭素プロジェクトを推進します。

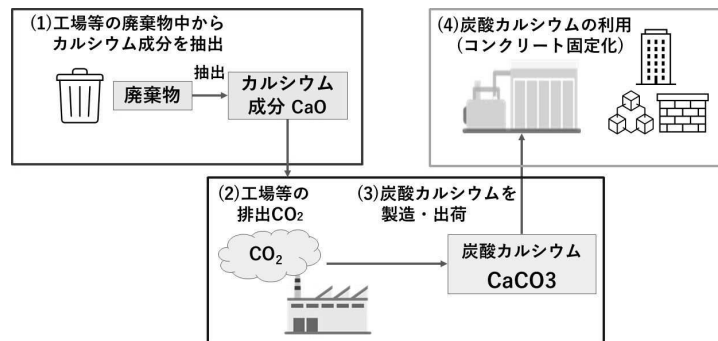
## 1 カーボンリサイクルプロジェクト推進費 28,334千円

産業部門から排出されるCO<sub>2</sub>を、廃棄物中のカルシウム成分と反応させ、コンクリートに固定化するカーボンリサイクル\*に関する取組の事業化を支援します。

※CO<sub>2</sub>を資源として捉え回収し様々な製品や燃料として再利用

### <支援内容>

- ・ 市町村、関係企業等が参画する「あいちカーボンリサイクル推進協議会（仮称）」の設置
- ・ 廃棄物収集・CO<sub>2</sub>の回収スキーム構築の支援
- ・ 採算性の評価や法規制等に係る実現可能性調査の実施 等

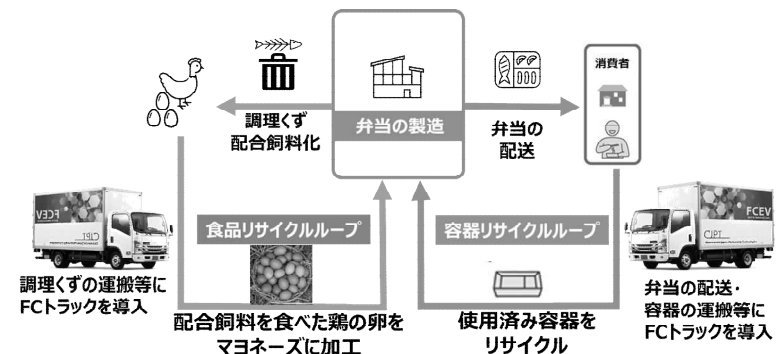


## 2 物流脱炭素化プロジェクト推進費 34,696千円

弁当の配送や、容器・調理くずをリサイクルする際の物流において、燃料電池トラック（FCトラック）を活用して脱炭素化を図る取組を支援し、物流脱炭素化のモデルを構築するとともに、このモデルを横展開し、荷主と運輸事業者等が連携した物流脱炭素化を推進します。

### <支援内容>

- ・ 荷主、運輸事業者等が参画する「あいち物流脱炭素化推進協議会（仮称）」の設置
- ・ 幅広く横展開するためのモデルスキームの構築
- ・ 県内の荷主、運輸事業者等のFCトラックの導入需要の掘り起こし、とりまとめ 等



# 「矢作川・豊川CN（カーボンニュートラル）プロジェクト」を 推進します

建設局河川課  
企画グループ  
内線 2724・2736  
(ダイヤル)052-954-6553

予算額 28,478千円

矢作川・豊川CNプロジェクトの総合的なマネジメントを実施する推進協議会を運営するとともに、施策の実現に向けて技術面などからの検討を進めます。

## ○矢作川・豊川CNプロジェクト施策推進検討業務

19,954千円

### (1) 河道内落差における小水力発電実施に向けた調査検討

比較的規模の大きな砂防堰堤を対象に、候補地の選定や発電量の試算など事業化に向けた調査・検討を行います。

### (2) 遊水地等を活用した再生可能エネルギー創出のポテンシャル調査

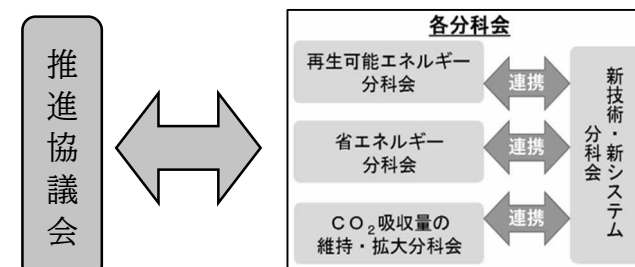
太陽光発電など再生可能エネルギー創出に関し、遊水地等の利用可能面積や立地条件などから事業化可能性を調査します。

### (3) 水熱利用の推進に向けた調査検討

河川水等と外気との温度差を冷暖房などに利用して省エネルギーを図る取組の推進に向けた調査・検討を行います。

## ○矢作川・豊川CN推進協議会運営業務 8,524千円

国、県、市、経済団体、有識者で構成する推進協議会及び分科会の運営を行います。

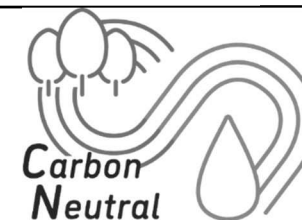


矢作川・豊川CNプロジェクトの推進体制

## 【矢作川・豊川CNプロジェクトとは】

矢作川流域・豊川流域をモデルケースとし、“水循環”をキーワードに、再生可能エネルギー等の導入による国土強靱化をはじめ、森林保全・治水・水道からエネルギーまでを含め、官民連携で総合的かつ分野横断的にカーボンニュートラルの実現を目指します。

2021年9月に矢作川CNプロジェクトとして着手し、2023年9月からは対象地域を三河全域に拡大し、矢作川・豊川CNプロジェクトとして推進しています。



矢作川・豊川CNプロジェクト ロゴマーク

# 上下水道事業の効率的な運営に向けた検討調査を行います

予算額 54,749千円(新規)

と り ま と め  
建設局下水道課  
企画調査グループ  
内線 2682・2688  
(ダイヤル)052-954-6531

カーボンニュートラルの実現、料金上昇の抑制、DXの推進を図るため、矢作川流域を中心とした西三河地域の上下水道の一本化に向けた検討調査を行います。

あわせて、上下水道の官民連携手法の導入可能性について検討調査を行います。

## 上下水道事業を運営する組織の一本化などの検討調査

「矢作川流域上下水道広域連携協議会（仮称）準備会」において基本方針（案）をとりまとめるために必要となる検討調査を行う。

### ○内容

- ・法制度上の課題の整理
- ・組織の一本化や事業の広域化・共同化による、エネルギーの省力化や事務の効率化の効果検証

「矢作川流域上下水道広域連携協議会（仮称）準備会」

### 【構成団体】

県及び西三河地域で取組に賛同する市町等

## 上下水道事業の官民連携手法の導入可能性の検討調査

ウォーターPPPを始めとする地域の実情に応じた上下水道事業の官民連携手法の導入可能性の検討調査を行う。

### ○内容

- ・PPP/PFI手法によって対応すべき事項の整理
- ・VFM（費用対効果）の検討
- ・マーケットサウンディングの実施

【ウォーターPPP】

上下水道事業のうち、運営事業又は管理・更新事業を一体的に民間がマネジメントを行う官民連携手法の総称



# 水素・アンモニアの社会実装を推進します

予算額 921,482千円

と り ま と め  
経済産業局産業部産業科学技術課  
水素社会実装推進室  
水素事業グループ  
内 線 3433・3387  
(ダイヤル)052-954-6350

水素やアンモニアの社会実装に向けた取組を推進し、経済成長とカーボンニュートラルの両立を目指します。

## 水素・アンモニアの社会実装の推進

**中部圏水素・アンモニア社会実装推進事業費** 6,448千円  
行政や経済団体、企業で構成する「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議」において、水素やアンモニアのサプライチェーン構築及び普及啓発等を実施

## 水素モビリティの導入促進

**水素ステーション整備促進事業費** 316,474千円  
燃料電池自動車（FCV）の普及に資する、水素ステーションの整備・運営や燃料電池産業車両（燃料電池フォークリフト）の導入経費の一部を補助

**先進環境対応自動車導入促進費補助金【環境局】** 160,516千円  
燃料電池自動車（乗用車、バス、トラック）の導入を促進するため、導入経費の一部を補助

**物流脱炭素化プロジェクト推進費【環境局】（新規）** 34,696千円  
荷主と運輸事業者等が連携したFCトラックを活用した物流脱炭素化の取組を、県内に幅広く横展開する事業を実施

## 低炭素水素の活用促進

**低炭素水素サプライチェーン事業化推進費【環境局】** 9,621千円  
幅広い分野で水素需要を創出し、企業等が実施する地域全体での水素供給ビジネスモデルの構築への支援を実施（新規）

**低炭素水素モデルタウン検討調査費【環境局】（新規）** 19,965千円  
街中における水素需要を創出するため、水素ステーションを起点にした周辺施設への水素供給を実現する低炭素水素モデルタウン事業を実施

## 産業部門における水素・アンモニアの活用促進

**再生可能エネルギー設備導入支援事業費補助金【環境局】** 184,574千円  
事業者が自家消費型の再生可能エネルギー設備と併せて導入する水素関連設備の導入経費の一部を補助

**水素・アンモニア工業炉活用推進事業費（新規）** 108,199千円  
工場の脱炭素化を進める企業の依頼形式試験や相談に対応するため、常滑窯業試験場に水素を燃料とする試験工業炉を整備

**水素エネルギー産業社会形成パイロット事業費** 6,968千円  
県内製造業の工場や生産工程等において、水素やアンモニアを利用した新たな機器やシステムの活用可能性等の調査等を実施

## 家庭部門における水素利用の促進

**住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金【環境局】** 14,925千円  
燃料電池を導入する個人に、導入経費の一部を市町村との協調により補助

## 海外先進地域との連携

**海外水素産業連携推進事業費（新規）** 59,096千円  
水素等の需要・供給を先駆的に進めている欧州をはじめとした海外の先進地域と連携し、意見交換等を実施

観光コンベンション局観光振興課  
企 画 グ ル ー プ  
内 線 3 3 7 0 ・ 3 3 7 1  
(ダイヤルイン) 052-954-6353

# 愛知の「休み方改革」を通じて、観光需要の平準化を促進します

予算額 88,138千円

ワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による地域経済の活性化を目指す、愛知県「休み方改革」プロジェクトの一環として、観光需要の平準化を促進します。

## ○ 平日や閑散期への観光需要のシフト

- ・ ワークेशन、ブレッジャー※の普及に向け、特設サイトの開設やワークेशनのモデル事業を実施  
※ブレッジャー：出張先で滞在を延長して余暇を楽しむ新たな旅のスタイル。ビジネスとレジャーを組み合わせた造語。
- ・ 知事と観光業界のオピニオンリーダー等による対談記事を旅行雑誌に掲載
- ・ 平日や閑散期の旅行を呼び掛ける「あいちスキ旅キャンペーン」を実施



## ○ 観光関連産業の労働生産性向上

- ・ 観光需要の平準化とあわせて、供給側である観光関連産業の生産性を向上させるため、業務改善の知見が豊富な専門家を、県内の小規模な宿泊施設が集積する地域に派遣

## ○ 地域が一体となった「休み方改革」の推進

- ・ Web・SNS広告等による休暇分散化のメリットの周知により、愛知県「休み方改革」イニシアチブ賛同企業・団体数を増大

# 「あいち県民の日」・「あいちウィーク」の取組を推進します

予算額 42,910千円

県民文化局  
県民生活部県民総務課  
総務・企画・広報グループ  
内線 2415・2410  
(ダイヤル)052-954-6160

県政 150 周年を契機に創設した「あいち県民の日（11月27日）」の周知・啓発を行うとともに、「あいちウィーク（11月21日～27日）」において啓発イベント等を実施し、機運の醸成を図ります。

## ○ 推進体制の運営

- ・「あいち県民の日」及び「あいちウィーク」の取組を着実に進めるため、庁内連絡会議を実施
- ・「あいち県民の日」及び「あいちウィーク」に関する事業・取組等の実施について、事業者・市町村等に協力を依頼
- ・「あいち県民の日」や「あいちウィーク」、愛知への愛着や県民としての誇りについての意識調査を実施

## ○ PR事業の企画・実施等

- ・「あいち県民の日」及び「あいちウィーク」等の機運醸成を図るため、Web サイト等による情報発信を実施
- ・公共交通機関、インターネット広告等での PR 事業を実施

## ○ イベントの企画・運営等

- ・県民の日等を周知・啓発するため、あいちウィーク期間中に啓発イベント（2024年11月23日（土・祝）・24日（日））及び県民の日を記念する催し（2024年11月27日（水））を開催

## ○ 公の施設の使用料等の減免

- ・あいちウィーク期間中において、一部の公の施設の利用に係る使用料等を減免

### 【あいち県民の日（11月27日）について】

県民が、地域の自然、歴史、風土、文化、産業等についての理解と関心を深め、愛知への愛着及び県民としての誇りを持つ契機とするとともに、暮らし、教育、労働、経済、環境等が調和した輝く愛知の実現を期する日



# 喫緊の課題である少子化対策を強力に推進します

予算額 15,421,820千円

とりまとめ  
福祉局子育て支援課  
子ども政策グループ  
内線 3462・3209  
(ダイヤル)052-954-6106

<b>1 結婚を希望する若者への支援</b>	<b>238,741千円</b>
○ <b>少子化対策推進事業費</b> 大規模婚活イベントの開催、婚活イベントを開催する市町村への支援（新規）、結婚支援センターの開設（新規）等	
<b>2 妊娠期からの切れ目ない支援</b>	<b>1,672,705千円</b>
○ <b>出産・子育て応援事業費補助金</b> 1,036,756千円 経済的支援及び伴走型相談支援を実施する市町村への支援	
○ <b>子育て応援給付金支給費</b> 616,921千円 国制度である「出産・子育て応援交付金」の経済的支援について、県独自に低所得世帯を対象として拡充	
【保健医療局関係】	
○ <b>女性健康支援事業費</b> 19,028千円 不安を抱える妊婦等に対する相談支援の実施等	
<b>3 男性の育児休業の取得促進</b>	<b>956,631千円</b>
【労働局関係】	
○ <b>中小企業男性育児休業取得促進事業費</b> 男性従業員が育児休業を取得した中小企業等に対する奨励金の支給、職場環境の整備に向けたアドバイザーの派遣等	

<b>4 幼児教育・保育の質の向上</b>	<b>369,292千円</b>
○ <b>低年齢児途中入所円滑化事業費</b> 60,000千円 低年齢児の年度の途中入所に対応するため、配置基準を超えて保育士を配置する市町村に対して、その経費を助成	
○ <b>1歳児保育実施費</b> 144,576千円 1歳児に対する保育士の配置を基準よりも充実する市町村に対して、必要な保育士の人件費を助成	
○ <b>第三子保育料無料化等事業費補助金</b> 164,716千円 第三子以降の3歳未満児の保育料を無料化又は軽減する市町村に対し、その経費を助成	
<b>5 その他の事業</b>	<b>12,184,451千円</b>
○ <b>子ども医療事業費補助金</b> 8,523,533千円	
○ <b>母子・父子家庭医療事業費補助金</b> 2,351,883千円	
○ <b>里親支援事業費</b> 55,948千円	
【教育委員会関係】	
○ <b>小中学校費</b> (小学校第6学年35人編制の導入) 1,253,087千円	

# 結婚支援の取組を積極的に推進します

予算額 66,757千円

福祉局子育て支援課  
子ども政策グループ  
内線 3462・3186  
(ダイヤル) 052-954-6106

結婚を希望する若者の出会いの場を創出するため、大規模婚活イベントを開催するとともに、新たに市町村が開催する婚活イベントへの補助や、マッチング支援などを行う結婚支援センターの開設により、結婚支援の取組を強化します。

県・市町村・民間による出会いの機会の提供	
<b>24,599千円</b>	
<b>1 県主催大規模婚活イベントの開催</b>	<b>9,599千円</b>
○日程 2024年10月(予定)	
○場所 愛・地球博記念公園	
○参加者 県内在住・在学・在勤の20歳以上40歳未満の独身者400人	
<b>2 市町村婚活イベントへの補助(新規)</b>	<b>10,000千円</b>
○対象 開催地の市町村に限らず県内の者が応募できる婚活イベント	
○対象市町村数 20市町村	
○補助額 1市町村100万円×補助率1/2(上限)	
<b>3 民間婚活イベントへの補助</b>	<b>5,000千円</b>
○対象 出会い応援団(非営利団体に限る。)が実施する定員10名以上の婚活イベント	
○対象団体数 25団体	
○補助額 1団体20万円(上限)	

マッチング支援・成婚までの伴走型支援	
<b>42,158千円</b>	
<b>1 オンライン型結婚支援センターの開設(新規)</b>	<b>38,550千円</b>
AIマッチングシステムを活用したマッチングを行うとともに、マッチングから交際、成婚に至るまで、オンライン相談による伴走型支援を行う。	
<pre> graph TD     A[オンライン相談] -- きめ細かいサポート --&gt; B[AIマッチングシステム ・相手に求める条件や自身の情報をシステムに登録 →相性の良い相手を紹介]     B -- 誘導 --&gt; C[交際]     C --&gt; D[成婚]     E[対面出張相談会] --&gt; B             </pre>	
<b>2 結婚支援コンシェルジュによる市町村等の取組支援等</b>	<b>3,608千円</b>
結婚支援コンシェルジュによる市町村、企業等の結婚支援の取組への働きかけ、サポートを行う。	

# ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を推進します

予算額 1,038,339千円

労働局労働福祉課  
仕事と生活の調和推進グループ  
内線 3418・3416  
(ダイヤル)052-954-6360

ワーク・ライフ・バランスの実現のため、中小企業等に対して、労働者が休暇を取得しやすい職場環境づくりや男性の育児休業取得の促進等を支援します。

## 1 有給休暇の取得促進

41,780千円

<認定ロゴマーク>

年次有給休暇の取得や多様な特別休暇の導入を積極的に推進している中小企業等を支援します。

- ・「愛知県休み方改革マイスター企業認定制度」により、有給休暇取得率等に応じてブロンズ、シルバー、ゴールドの3区分で認定し、その取組を広く周知
- ・有給休暇の取得促進に向けた機運の醸成を図るためのシンポジウムを開催し、認定企業（ゴールド）の知事表彰を実施



## 2 男性の育児休業の取得促進

956,631千円

男性従業員が育児休業を取得しやすい職場環境づくりに取り組む中小企業等を支援します。

- ・アドバイザーの派遣、セミナーやワークショップの開催
- ・男性従業員が育児休業を取得した中小企業等に対する奨励金の支給

支給対象	男性従業員が通算14日以上の子育て休業を取得した県内中小企業等
支給額	通算14日以上：50万円、通算28日以上：100万円（1事業者につき1回限り）

## 3 テレワーク導入・定着支援

39,928千円

「あいちテレワークサポートセンター※」において、テレワークの導入・定着に必要な支援をワンストップで実施します。

※ 2024年4月（予定）に、ウインクあいち17階 あいち労働総合支援フロア内に移設



あいちテレワーク  
サポートセンター

# あいちDX推進プラン 2025 関連施策を推進します

予算額 7,623,551千円

とりまとめ  
総務局総務部情報政策課  
情報企画グループ  
内線 5059・5050  
(ダイヤルイン)052-954-6112

## 【県行政の効率化・DXの推進】 3,825,216千円

- 行政デジタル化推進費 167,239千円
- 警察手数料収納キャッシュレス化推進費 188,891千円
- 愛知芸術文化センター事業費 924千円
- 運転者管理システム共通化移行費 1,159,374千円
- 行政改革推進事業費 41,968千円
- クラウドサービス利用推進費 218,727千円
- テレワーク環境整備費 332,234千円
- ネットワークパソコン等運営費 1,314,117千円
- 社会保障・税番号制度システム運営費 398,796千円
- 県税確保特別対策費 2,946千円

## 【データの活用】 51,454千円

- ジブリパーク周遊観光促進事業費 20,792千円
- 自動車安全技術推進事業費 1,928千円
- 観光デジタルマーケティング推進事業費 20,709千円
- ハート・オブ・ジャパン誘客促進事業費  
(海外誘客情報活用推進事業費) 8,025千円

## 【県域ICT活用支援】 1,852,133千円

- あいちデジタルアイランドプロジェクト推進事業費 188,032千円
- スーパーシティ構想推進費 30,224千円
- デジタル技術活用促進事業費 55,639千円
- 中小企業テレワーク導入支援事業費 39,928千円
- スマートシティモデル事業費 50,146千円
- 新モビリティサービス推進事業費(新規) 27,257千円
- バス事業者交通系ICカードシステム整備費補助金 49,897千円
- 新あいち創造産業立地補助金 56,207千円

- 新あいち創造研究開発補助金 20,000千円
- 自動運転社会実装推進事業費 270,528千円
- あいちのスマート林業推進事業費 5,942千円
- 森林環境譲与税活用事業費 24,166千円
- 水産試験場費(漁海況情報発信体制構築事業費) 29,191千円
- 認可外保育施設ICT化推進事業費補助金 5,700千円
- 児童虐待対策費 5,918千円
- 介護テクノロジー導入支援事業費補助金 787,544千円
- 土木施設災害対応力向上DX推進費 50,000千円
- 元気な愛知の市町村づくり補助金 75,000千円
- 市町村情報システム標準化支援事業費 7,672千円
- 県民情報システム運営費 73,142千円

## 【デジタル人材育成】 1,894,748千円

- デジタル人材育成推進事業費 44,015千円
- 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会  
開催費負担金 69,596千円
- スマート農業推進事業費 5,643千円
- 高等学校再編整備費 19,173千円
- 県立高等学校再編将来構想推進費 8,168千円
- ICT活用教育推進事業費 1,606千円
- キャリア教育推進事業費 746千円
- 県立学校情報化推進事業費 139,763千円
- 教員研修ICT化事業費 3,718千円
- 大学連携・魅力向上支援事業費 4,237千円
- 短期課程訓練費(在職者訓練、雇用セーフティネット対策訓練) 1,561,487千円
- 就職氷河期世代デジタル人材育成事業費 36,596千円

# 警察手数料のキャッシュレス決済や運転免許更新予約制度の導入により、県民の利便性向上を図ります

警察本部会計課  
電話052-951-1611(代表)  
内線 2211・2231

予算額 1,348,265千円

自動車運転免許等手数料を始めとする警察手数料の窓口収納方法として、現状の証紙収納に加え、キャッシュレス決済を導入します。

また、運転免許更新時の混雑緩和や来庁者の滞在時間の短縮を図るため、運転免許更新予約制度を導入するとともに、マイナンバーカードと運転免許証の一体化により、県民の利便性向上を図ります。

## キャッシュレス決済の導入

- 導入時期  
2024年4月
- 対象手数料  
警察手数料全19手数料のうちパーキング・メーター作動等手数料を除く18手数料
- 導入施設  
運転免許試験場、東三河運転免許センター  
警察署、警察本部



## 運転免許更新予約制度の導入

- 対象施設：運転免許試験場、東三河運転免許センター  
免許更新手続きが可能な警察署、幹部交番
- 受付開始：2024年1月15日
- 予約制度開始：2024年3月19日
- 予約方法：Web予約システムまたは予約受付ダイヤルにより、免許更新の受付日時・場所を予約する。

## マイナンバーカードと運転免許証の一体化

- 一体化による行政サービスの拡充
  - ・住所変更手続きのワンストップ化
  - ・居住地外での迅速な運転免許証更新
  - ・更新時講習のオンライン化

※「デジタル社会の実現に向けた重点計画」(2023年6月閣議決定)において、2024年度(令和6年度)末までの少しでも早い時期に、マイナンバーカードと運転免許証の一体化の運用を開始するとされている。





# 地域の発展を支える道づくりを推進します

道路関係予算総額 95,853,803千円

とりまとめ  
建設局道路建設課  
業務・調整グループ  
内線2701・2702  
(ダイヤル)052-954-6542

## 高規格道路の整備

- ☆名豊道路
- ☆西知多道路
- ☆三遠南信自動車道 など

## 広域交通拠点等へのアクセス道路の整備

- ☆名古屋高速道路 (都心アクセス)
- ◎国道151号 (一宮バイパス、宮下立体)
- ・境政成新田蟹江線 (名古屋第3環状線) など

## 都市間ネットワークの形成を支える幹線道路の整備

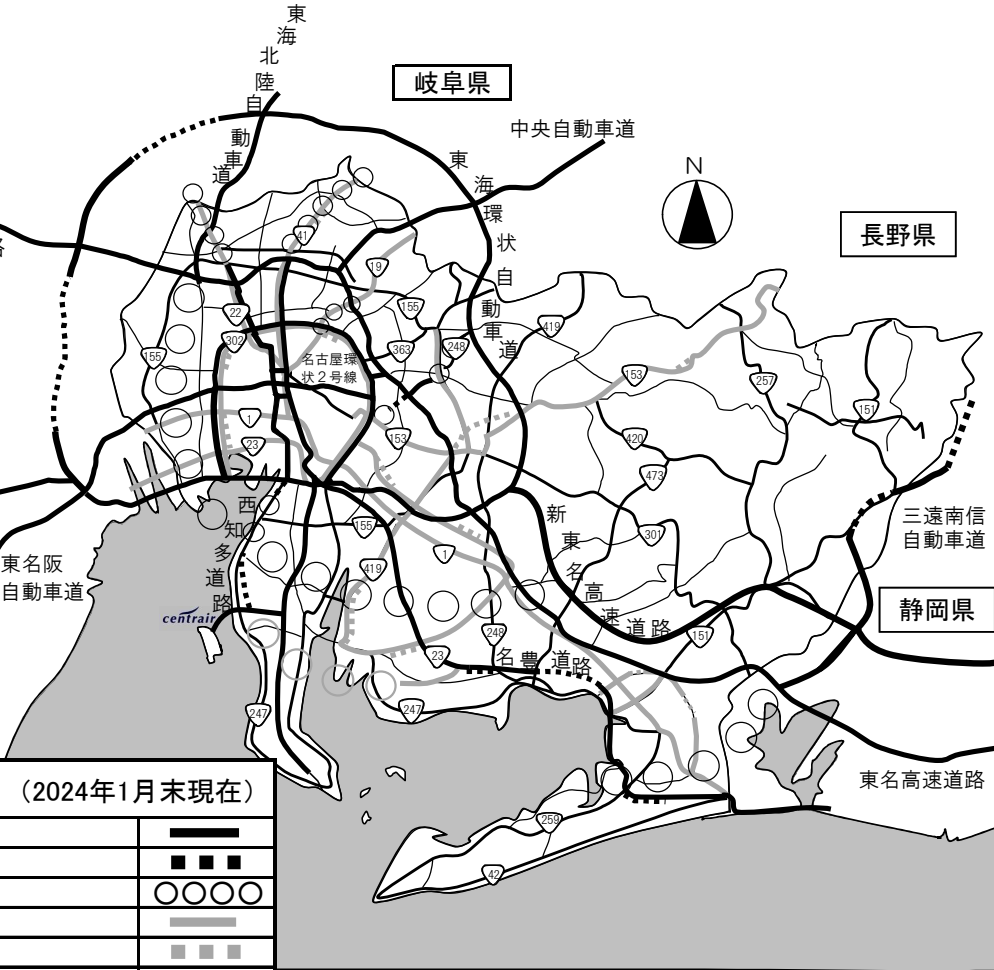
- ◎ 国道153号 (豊田北バイパス など)
- ◎ 国道155号 (豊田南バイパス)
  - ・ 国道155号 (北尾張中央道)
- ◎ 国道247号 (衣浦豊田線)
  - ・ 国道301号 (松平バイパス など)
- ◎ 国道419号 (衣浦豊田線)
  - ・ 名古屋半田線
- ◎ 名古屋岡崎線
  - ・ 瀬戸大府東海線
  - ・ 名古屋津島線
  - ・ 羽島稲沢線 (新濃尾大橋)
- ◎ 幸田幡豆線 (名浜道路)
- ◎ 蒲郡碧南線 (衣浦岡崎線) など

## 都市機能の活性化を促す都市交通条件の整備

- ◎ 国道302号 (名古屋環状2号線)
- ◎ 東三河環状線
  - ・ 連続立体交差事業 (知立連立、半田連立) など

## 山間・半島地域の振興を支える道路網整備

- ・ 国道247号 (常滑～美浜バイパス)
- ・ 国道257号 (設楽町清崎～田口) など



凡例 (2024年1月末現在)			
☆	高規格道路	供用中	——
		事業中	■ ■ ■
		調査中	○ ○ ○ ○
◎	一般広域道路	供用中	——
		事業中	■ ■ ■
		調査中	○ ○ ○ ○
・	一般国道・県道	県管理国道	——
		主要県道	——

# 豊橋浄水場の再整備を推進します

予算額 48,781千円

企業庁水道部水道計画課  
 連携推進グループ  
 内線 5692・5576  
 (ダイヤル) 052-954-7483

PFI手法を用いて施設整備及び管理・運営を行うため、アドバイザリー業務を委託し、PFI事業者の選定手続きを進めます。2024年度には特定事業の選定、事業者の公募を行います。

## 【再整備事業の概要】

- 事業方式 BT+コンセッション方式
- 事業範囲 施設の設計・建設、施設の維持管理・運営
- 事業期間 2025年度～2055年度まで  
 (うち、設計・建設10年を想定)
- 設計・建設費 約300億円～320億円(想定)



豊橋浄水場

## 【想定スケジュール】

	2023年度	2024年度	2025年度	2035年度
公募準備 公募手続き	2023年5月 計画概要の公表	2024年1月 基本的な考え方の公表		
	アドバイザリー業務 選定委員会設置、実施方針の公表、特定事業選定、事業者選定等			
再整備工事				浄水場設計・築造工事 工期は10年程度と想定 工事手法・工期の提案により、 短縮・延長の可能性有
運転管理	既設の運転管理			新旧施設が複合する期間 新施設の 運転管理

## 【豊橋浄水場の概要】

- 所在地 豊橋市東小鷹野地内
- 築造年度 1967年
- 給水地域 豊橋市、豊川市、新城市
- 敷地面積 25,782㎡
- 計画浄水量 116,600 m<sup>3</sup>/日
- 施設能力 104,900 m<sup>3</sup>/日

# 新モビリティサービスの普及促進を図ります

予算額 27,257千円（新規）

都市・交通局交通対策課  
モビリティサービス推進グループ  
内線 2395・2568  
(ダイヤルイン)052-954-6125

複数市町村の連携による周遊や交流の促進、市町村域をまたぐ公共交通空白地域の移動課題の解決に向けて、モデル事業を実施し、県内市町村へ新モビリティサービスの普及促進を図ります。

## MaaS<sup>※1</sup>の普及促進

地域に根ざしたMaaSアプリを導入し、地域住民や来訪者の移動の利便性・回遊性を高め、地域活性化を図る。

### 【実施例】

- ・コミュニティバス等のデジタルチケット販売
- ・リアルタイムのバス位置情報の提供
- ・レンタサイクル等の予約
- ・観光情報や地元店舗のクーポン配信 など

※1 MaaS（マース：Mobility as a Service）

出発地から目的地までの移動に対し、様々な移動手段・サービスを組み合わせてひとつの移動サービスとして捉えるもの。

## 新型輸送サービスの普及促進

効率的な配車や運行が可能なAIオンデマンド交通<sup>※2</sup>を導入し、高齢者を始めとする住民の暮らしに不可欠な移動手段を確保する。

### 【実施例】

- ・地域事情に合わせた停留所の設置
- ・利用者からの依頼による配車サービス
- ・専用システムや電話を利用した予約サービス など

※2 AIオンデマンド交通

利用者の予約に応じて運行する乗合型の交通サービス。AIを活用した専用システムにより、利用者予約に対し最適配車を行う。

# 次世代産業の育成・振興を推進します

予算額 1,706,904千円

とりまとめ  
経済産業局産業部産業科学技術課  
管理・調整グループ  
内線 3389・3381  
(ダイヤル)052-954-6347

次世代を担う産業・人材育成への支援をソフト・ハード両面から行い、日本一の産業県・愛知の産業競争力を高めます。

## 航空宇宙産業の振興

航空宇宙産業振興事業費 60,067千円

県が中心となり、地域の行政、支援機関、業界団体及び大学で構成する「あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム」において、需要回復期における中小サプライヤーの競争力強化支援や、新たな受注獲得に向けた集中的なハンズオン支援など、販路拡大や人材育成等の支援を実施

## 自動車産業の振興

自動運転社会実装推進事業費 270,528千円

名古屋駅付近からSTATION Ai間を自動運転で結ぶ定期運行を2024年10月から実施するほか、ショーケースとなる中部国際空港島及び周辺地域や、集客施設である愛・地球博記念公園において実証実験を実施

次世代自動車産業振興事業費 17,218千円

- 新技術・新工法等の提案による新たな受注獲得に向けた展示商談会の開催
- 中堅・中小サプライヤーの新事業展開を支援するため、最新情報の提供とハンズオン支援を実施するとともに、全国の大企業が持つ優れた技術を活用したオープンイノベーションによる支援を実施

## 研究開発成果の事業化促進

新あいち創造研究開発成果展示会開催費 34,675千円

2012年度に創設した「新あいち創造研究開発補助金」の成果展示会を開催し、研究開発成果の事業化や販路・取引拡大を促進

## 次世代バッテリーに関するプロジェクトの推進

次世代バッテリー推進事業費（新規） 25,180千円

次世代バッテリーに関する「研究・実証」、「人材育成」、「製造拠点等集積化（投資促進）」に向けたプロジェクトを推進

- 有望な研究・実証の具体化と、知の拠点あいちの電池研究拠点化を調査
- 企業による電池関連の共同講座等実施のための調査及び、県内工科高校での電池関連授業等に向けた情報収集等を実施
- 電池関連の国補助金に呼応する施策、電池産業への業態転換施策を検討

## 「あいちデジタルアイランドプロジェクト」の推進

あいちデジタルアイランドプロジェクト推進事業費

188,032千円

中部国際空港島及び周辺地域において、2030年に普及が見込まれる近未来の事業やサービスを先行的に実用化することを目指し、5G等デジタル技術を活用した実証実験及び導入を目的とした伴走支援を実施するとともに、ワンストップ窓口によりビジネスマッチング等を支援

## 「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」の実施

知の拠点あいち推進事業費 1,111,204千円

重点研究プロジェクトIV期の実施(2022~2024年度、3プロジェクト(27研究テーマ))

特徴：活力あるスタートアップ等の参画によるイノベーション創出の促進

# 本県産業の持続的な発展を図るため、用地造成事業を推進します

企業庁企業立地部工務調整課  
 工務第一グループ  
 内線 5664・5647  
 (ダイヤル)052-954-6695

予算額 11,231,411千円  
 (外に債務負担行為 2,279,163千円)

本県産業の持続的な発展を図るため、各種産業の受け皿となる良質な用地の造成を推進します。

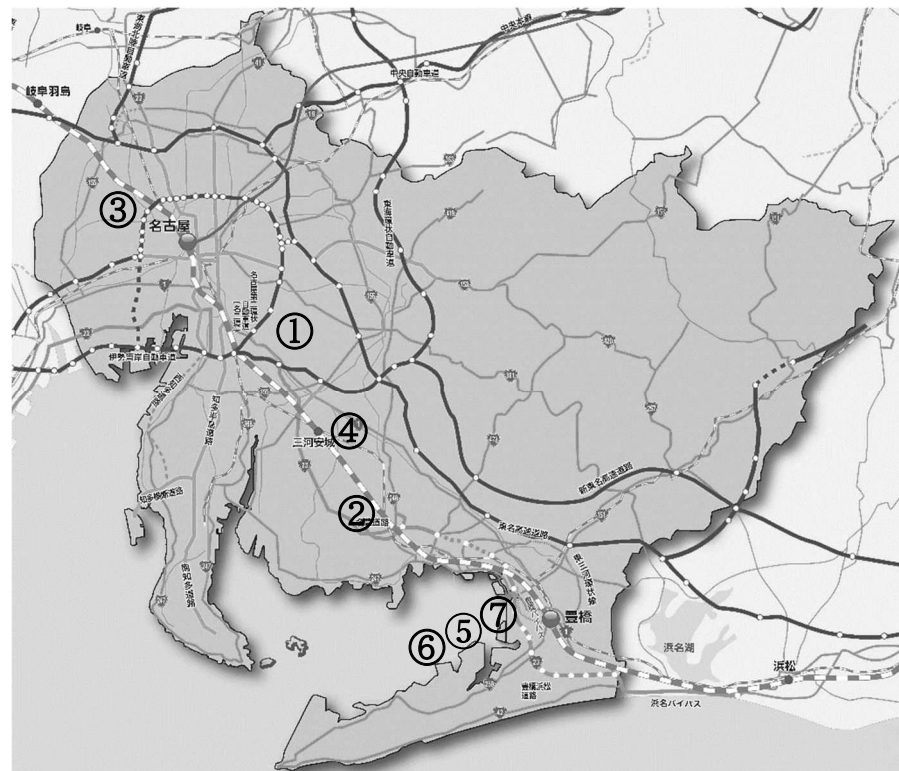
## ○ 主な事業地区

### 1 内陸地区

	地区名	主な内容
①	豊明柿ノ木地区 (2020～2025年度)	整地工事
②	幸田須美地区 (2021～2026年度)	整地工事
③	あま方領地区 (2022～2027年度)	整地工事
④	安城北山崎地区 (2023～2030年度)	物件補償

### 2 臨海地区

	地区名	主な内容
⑤	田原1区	道路築造工事
⑥	田原4区	土地造成工事
⑦	御津2区	排水詳細設計



# ロボットを「作り」「使う」世界的な先進地の形成を目指します

予算額 145,698千円

とりまとめ  
経済産業局産業部産業振興課  
次世代産業室  
ロボット産業グループ  
内線 3459・5467  
(ダイヤル)052-954-6329

ロボットの本格的な社会実装段階を見据え、先導的プロジェクト等の事業化支援と開発・実装を担う人材の創出を柱に据えた、新たなロボット産業振興施策に取り組みます。

## 現場課題解決に向けた先導的プロジェクト等の事業化支援

### 介護リハビリ支援ロボット活用促進事業費 11,400千円

- ・相談窓口を設置し、開発企業と利用現場とのマッチングや導入に向けた課題解決を支援
- ・新規開発に結び付くニーズ発掘調査を実施

### サービスロボット社会実装推進事業費 28,572千円

- ・自動配送ロボットを活用した先進的な実証実験を通じて、新たなソリューションモデルを創出
- ・愛知のロボット技術を世界に発信する絶好の機会となる「大阪・関西万博」ロボット実証事業への参画に向けた準備

[参考：産業空洞化対策減税基金事業費関係]

### ロボット未活用領域導入検証補助金（新規）

ロボット未活用領域におけるロボットの導入を促進するため、事業化可能性調査や技術検証・効果検証などに要する費用の一部を補助

## 国際的なロボットイベント等を契機とした人材創出

### ワールドロボットサミット開催準備費（新規） 7,841千円

- ・2025年に開催する「ワールドロボットサミット」に向け、県主催サイドイベント等の実施計画を策定
- ・機運醸成のためのイベントを開催

### 無人飛行ロボット活用促進事業費 10,000千円

- ・ドローンの開発・製作・保守等を行うドローンエンジニア人材を養成するため、必要な知識や技術を体系化した、カリキュラムとテキストを制作

### 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会開催費負担金

69,596千円

- ・モノづくり現場の自動化を担うロボットシステムインテグレーター（ロボットSIer）の人材創出を目的とする高校生を対象とした競技会を開催

## 拠点形成を支えるプラットフォーム

### ロボット産業クラスター推進事業費 18,289千円

- ・ロボットの開発側と利用側が参画する「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を核として、新たな技術・製品開発や社会実装に向けたプロジェクトの組成や、あいちサービスロボット実用化支援センターの運営、ロボットSIer企業とユーザー企業とのマッチングを実施

# 産業空洞化対策を引き続き強力に推進します

予算額 10,734,196千円

とりまとめ  
経済産業局産業部産業政策課  
予算グループ  
内線 3312・3311  
(ダイヤル)052-954-6329

産業空洞化対策を推進するため、「産業空洞化対策減税基金」を活用し、次世代自動車、航空宇宙などの分野において、県外企業の新規立地や県内企業の再投資、企業等の行う研究開発や実証実験を支援します。

産業空洞化対策減税基金事業費 6,718,704千円

## 1 企業立地・設備投資への支援

### (1) 大規模投資案件の誘致

～21世紀高度先端産業立地補助金～ 509,941千円

- 大規模な先端工場、研究所等の立地に対して、支援を行います。  
・限度額・補助率：100億円・10%以内

【全国でトップレベル（投資額300億円超の場合）】

### (2) 中小規模の投資案件へのきめ細かい支援

～新あいち創造産業立地補助金～ 5,349,527千円

- 市町村と連携した県内企業の再投資の支援や、サプライチェーンの中核をなす分野、高い成長性が見込まれる分野における企業立地の支援を行います。  
・限度額・補助率：10億円・10%以内（市町村と連携する場合5%以内）
- 県内に拠点のないソフト系IT企業が、本県に新たに対象分野に係るオフィスを設ける場合に支援を行います。  
・対象分野：ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業（調査業等は除く）など  
・限度額：初年度1,000万円 2・3年目350万円/年  
・補助率：オフィス賃借料等 1/2以内 雇用加算 50万円/人（初年度のみ）
- 航空宇宙産業分野における新規設備投資に対して、支援を行います。  
・限度額・補助率：1億5千万円・1/4以内（国や他自治体の補助金と併用可）

## 2 研究開発・実証実験等への支援

～新あいち創造研究開発補助金～ 850,000千円

- 成長が期待される分野等において、企業等が行う研究開発や実証実験を支援します。また、過去に採択実績がない中小企業を対象にしたトライアル型により、研究開発に意欲のある企業の裾野拡大を図ります。  
・限度額：大企業 2億円、中小企業 1億円  
（トライアル型は限度額500万円）  
・補助率：大企業 1/2以内、中小企業 2/3以内
- 中小・小規模企業の新製品開発・販路拡大を支援します。  
（県からの補助金を原資にあいち産業振興機構が助成）  
・限度額：中小企業 300万円、小規模事業者 100万円  
・補助率：中小企業 1/2以内、小規模事業者 2/3以内
- デジタル技術の導入事例を横展開し、企業のデジタル化による業務プロセスの改善・構築に係る実証を支援します。  
・限度額：30万円以上100万円以内  
・補助率：中小企業 1/2以内、小規模事業者は2/3以内
- ロボットの導入が進んでいない領域での、導入に先立つ、事業化可能性調査や技術検証・効果検証を支援します。（新規）  
・限度額：500万円  
・補助率：大企業 1/2以内、中小企業 2/3以内

## 3 推進事業費

9,236千円

新規積立金（基金の造成）4,000,000千円

基金利子収益積立金15,492千円

# 中小・小規模企業の企業力強化等を支援します

とりまとめ  
 経済産業局中小企業部中小企業金融課  
 経営支援・調整グループ  
 内線 3330・3339  
 (ダイヤル)052-954-6332

予算額 182,830,062千円

経営環境等の変化を踏まえ、中小・小規模企業の企業力強化等を支援するため、金融支援、経営支援、新分野進出・販路開拓への支援等を実施します。

## 金融支援

1 中小企業金融対策貸付金 179,400,000千円

融資枠 4,289億円

### 制度融資の主な改正

・既往のコロナ関連融資を借り換えるサポート資金【新型コロナ借換】の取扱期間を2025年3月31日まで延長

サポート資金【新型コロナ借換】	
融資対象者	既往のコロナ関連融資を借り換える中小企業者
用途/限度額	運転 8,000万円
利率	10年 年1.4 <sup>*1</sup> (1.5) <sup>*2</sup> %~15年 年1.6 <sup>*1</sup> (1.7) <sup>*2</sup> % <small>※1 中小企業信用保険法第2条第5項第4号の認定を受けた場合                  ※2 同第5号の認定を受けた場合</small>
担保	保証協会所定

## 経営支援

1 小規模事業経営支援事業費補助金 3,355,665千円

・商工会等が行う経営改善普及事業等への支援

2 商工会館等改修費補助金(新規) 35,309千円

・老朽化する商工会館等指導施設の改修を支援

補助率・補助上限額

商工会・商工会議所<sup>※</sup>及び商工会連合会の指導施設：1/2、15,000千円

上記に掲げる商工会議所以外の商工会議所の会館施設：1/10、10,000千円

(※人口10万人未満の都市かつ小規模事業者4,000人未満の商工会議所に限る。)

## 新分野進出・販路開拓への支援

1 窯業繊維産業振興事業費 29,180千円

・繊維・窯業の産地へ海外バイヤーを招へいし、マッチングを実施  
 ・地元の生地をPRするファッションショー(2025年度冬)の開催に向けた準備(新規)

2 伝統工芸産業振興事業費 9,908千円

・海外バイヤーとのオンライン商談会による新たな販路開拓の促進  
 ・伝統的工芸品産地企業に対し、マーケティングの専門家による新商品開発等を支援  
 ・伝統的工芸品産地企業でインターンシップを実施し、後継者確保を支援



# 商店街の活性化を強力に推進します

予算額 1,017,013千円

経済産業局中小企業部商業流通課  
商業指導グループ  
内線 3350・3351  
(ダイヤル)052-954-6336

「あいち商店街活性化プラン 2025」に基づき、活性化に向け意欲ある商店街を積極的に支援します。

## 1 事業者等地域貢献活動推進事業費（新規） 1,142千円

「事業者等による地域貢献活動の推進に関する条例」を制定し、理念の具現化を促進するため、商店街と大規模小売店舗などが連携して行う優れた地域貢献活動を表彰

## 2 商店街地域連携促進事業費 3,197千円

商店街の活性化のため、商店街と大学等の連携を推進するとともに、魅力ある個店の創出を支援

## 3 空き店舗活用まちづくり活性化事業費 7,206千円

商店街の空き店舗への出店、利活用を促進するため、商店街空き店舗情報サイトを運営

## 4 げんき商店街推進事業費 806,315千円

- 市町村と連携し、商店街の活性化への取組を支援
  - ・補助対象者：市町村 ・補助率：1/2以内
  - ・補助事業：集客イベント、買い物弱者向け宅配サービス
- 大型店がプロジェクトチームに参画する商店街地域未来プロジェクトを推進（新規）
- プレミアム商品券発行事業を実施する市町村を支援し、経済活動の活性化及び消費拡大を促進

## 5 あいち商店街まつり2024開催費負担金（新規） 35,000千円

「愛知万博 20 周年記念事業」のプレイベントとして、商店街の社会的役割を広くアピールするイベントを開催

## 6 商業振興事業費補助金 164,153千円

### (1) 地域商業活動活性化事業

商店街等が実施する活性化を図る取組を支援

- ・補助対象者：商業団体等 ・補助限度額：1事業90万円
- ・補助事業：夏祭り、共同セール、研修会 等
- ・補助率：団体の会員数に応じて20%～40%以内

### (2) 商店街振興組合連合会事業

商店街の指導団体である商店街振興組合連合会が実施する事業を支援

- 商店街指導員による商店街の組織及び事業に対する指導
- 商店街マネージャーによる商店街活動のサポート 等

### <事業者等による地域貢献活動の推進に関する条例>

#### 【目的】

- ・地域商業の活性化及び長期的な発展
- ・安全で安心できる魅力あるまちづくりの推進 等

#### 【概要】

- ・基本理念、県の責務、事業者等及び県民の役割、基本的施策並びに一定の大規模小売店舗設置者の手続等を規定

#### 【施行日】

- ・2024年4月1日（一定の大規模小売店舗設置者の手続等は同年7月1日）

# 農業分野におけるイノベーション創出を推進し、 農業生産力の向上を図ります

予算額 1, 146, 732千円

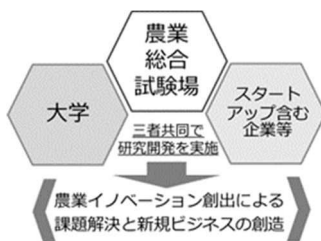
とりまとめ  
農業水産局農政部農業経営課  
農業イノベーション推進室イノベーション推進グループ  
内線 3670・3662  
(ダイヤルイン)052-954-6413

農業分野の様々な課題に対応するための農業イノベーション創出を推進するとともに、農作物の産地の課題解決に向けスマート農業機械等の導入を支援し、農業生産力の向上を図ります。

## 1 あいち農業イノベーションプロジェクト推進費

118, 133千円

農業総合試験場とスタートアップ等による共同研究開発を進めるとともに、オープンイノベーションに向けたセミナー、取組の成果を発信する報告会の開催や、生産ほ場を活用した新技術の導入を促進し、農業イノベーションの創出と現場実装を図ります。



【事業イメージ】

## 2 水田有機農業省力化推進事業費（新規）

39, 131千円

水田におけるスマート有機農業栽培技術の研究開発等を実施し、有機農業の取組拡大を図ります。

## 3 スマート農業推進事業費

51, 986千円

専門指導員を育成し、農業者への指導活動を強化するとともに、スマート農業機械等を用いた栽培管理や経営管理の実証及び機械等の導入支援を行い、スマート農業技術の生産現場への普及拡大を図ります。

## 4 産地パワーアップ事業費

637, 482千円

国際競争力の強化に向けて、産地の生産力の向上を図るため、高収益化に必要な施設整備や機械の導入等への支援を進めます。

## 5 あいち型産地パワーアップ事業費補助金

300, 000千円

国の事業を補完する県独自の補助制度として、スマート農業機械等の導入を支援し、意欲ある農業者の生産力向上を図ります。

# 「花の王国あいち」を幅広くPRし、あいちの花の需要拡大を図ります

農業水産局農政部園芸農産課  
花きグループ  
内線 3684・3685  
(ダイヤルイン) 052-954-6419

予算額 21,000千円

あいちの花の需要拡大を図るため、暮らしに花を取り入れる花いっぱい県民運動を展開するとともに、花と緑のイベントの開催により、花き産出額61年連続全国一の「花の王国あいち」をPRします。

## 1 花の王国あいち需要拡大推進事業費負担金 6,000千円

あいちの花を暮らしに取り入れる花いっぱい県民運動に取り組みます。

- (1) 主催者 花の王国あいち県民運動実行委員会（愛知県、県内農業団体等で構成）
- (2) 事業内容 花の王国あいちPR促進運動、あいちの人と花結び事業、各種イベントにおけるあいちの花のPR、花のまちづくり推進事業、サポート企業と連携したあいちの花のPR

## 2 あいち花マルシェ開催費負担金 15,000千円

生産から消費までの関係者が一体となり、見て、触れて、購入できる花と緑のイベントを開催します。

- (1) 主催者 あいち花マルシェ実行委員会（仮称）  
（愛知県、県内農業団体、名古屋市、安城市などで構成）
- (2) 開催時期・場所 名古屋ステージ 2024年11月 名古屋市（予定）  
※STATION Aiオープニングとタイアップ  
三河ステージ 2024年12月 安城市（予定）



# 持続可能な畜産業に向けた対策を進めます

と り ま と め  
 農 業 水 産 局 畜 産 課  
 家畜防疫対策室家畜衛生グループ  
 内 線 3703・3704  
 (ダイヤル)052-954-6424

予算額 744,951千円

## 自給飼料の生産・利用拡大 18,663千円

飼料の安定供給を図るため、自給飼料の生産・利用拡大を進めます。

- 自給飼料対策費 18,663千円  
 畜産農家と耕種農家が連携した生産・流通モデル実証や子実トウモロコシの栽培実証、飼料生産組織の設立推進等を実施

## 温室効果ガス削減の推進 15,472千円

牛のげっぷに含まれるメタンの削減に向けた取組を進めます。

- 畜産メタン削減実証事業費(新規) 15,472千円  
 温室効果ガスの一種であるメタンを削減するため、メタンの発生を抑制する飼料を用いた実証事業を実施

## 家畜伝染病対策 710,816千円

あいちの畜産業を守るため、鳥インフルエンザや豚熱の防疫対策を強化します。

- 家畜飼養衛生管理強化対策費補助金 75,248千円  
 農場における野生動物侵入防止柵や防鳥ネット、鶏舎入気口フィルター等の防疫設備の整備に対する助成
- 防疫体制強化費 5,740千円  
 豚熱等を疑う家畜等の検査を実施
- 飼養豚ワクチン接種事業費 115,771千円  
 県内すべての飼養豚に対し豚熱の予防的ワクチン接種を実施
- 野生イノシシ対策費 136,488千円  
 野生イノシシの捕獲、豚熱検査及び調査等を実施
- 鳥獣被害防止総合対策事業費補助金 377,569千円  
 野生イノシシ捕獲を強化するため県独自に補助単価上乘せ等

# 「あいち森と緑づくり税」を活用し、森と緑を育み、 守る取組を推進します

予算額 2,465,978千円

とりまとめ  
農林基盤局林務部森林保全課  
森と緑づくり推進室 森林里山再生グループ  
内線 3770・3771  
(ダイヤル) 052-954-6455

## 1 あいち森と緑づくり事業費 2,409,136千円

「あいち森と緑づくり税」を活用し、森林、里山林及び都市の緑の整備・保全を進め、森と緑の持つ様々な公益的機能を発揮させます。

### ○ 森林・里山林整備事業費【農林基盤局】 1,670,519千円

林業活動では整備が困難な森林の間伐、花粉症対策苗木への植え替え等  
地域住民、団体等による保全活用を前提とした里山林の整備への支援



人工林の間伐



里山林の整備



【都市緑化】

【森林整備】

### ○ 都市緑化推進事業費【都市・交通局】 562,384千円

都市における緑地の保全・創出、民有地の緑化、並木道の再生、  
県民参加による緑づくり活動や都市緑化の普及啓発への支援



【環境学習等】



県産木材利用への支援  
【事業推進】

### ○ 環境活動・学習推進事業費【環境局】 61,625千円

NPO等が行う環境保全活動や環境学習への支援、生態系ネットワーク  
形成のための取組支援

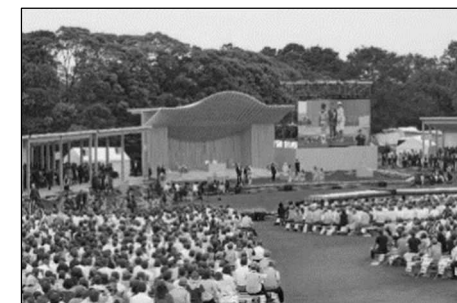
### ○ 事業推進費【農林基盤局】 114,608千円

県産木材を利用したPR効果の高い民間施設等への支援等

## 2 全国植樹祭5周年記念事業開催費（新規） 56,842千円

第70回全国植樹祭開催から5周年を記念したイベントを愛知県森林公園で開催し、  
全国植樹祭の開催理念である「地域木材の利用」を通じた「森林づくり」と「都市づ  
くり」の普及・啓発を図ります。

【開催日】 2024年5月18日（土）



第70回全国植樹祭当日の開催状況

# カーボンニュートラルの実現やSDGsの達成に貢献する民間建築物での木造・木質化に取り組みます

予算額 164,105千円

農林基盤局林務部林務課  
あいちの木活用推進室  
計画・普及啓発グループ  
内線 5566・5567  
(ダイヤル)052-954-6884

持続可能な社会の実現に向け、県全域において県産木材を始めとする木材の利用を促進します。

## 1 県産木材利用の普及啓発及び木造・木質化に向けた人材育成を実施 43,952千円

- イベント等を活用した県産木材の普及啓発を実施
- AICHI WOODY AWARDの実施（新規）  
県内に在住・在学の学生を対象に、木造建築に係る設計コンペを実施
- 市町村職員等を対象に、木造・木質化を担う技術者を育成する講習を実施
- 「あいち木造・木質化サポートセンター」の運営

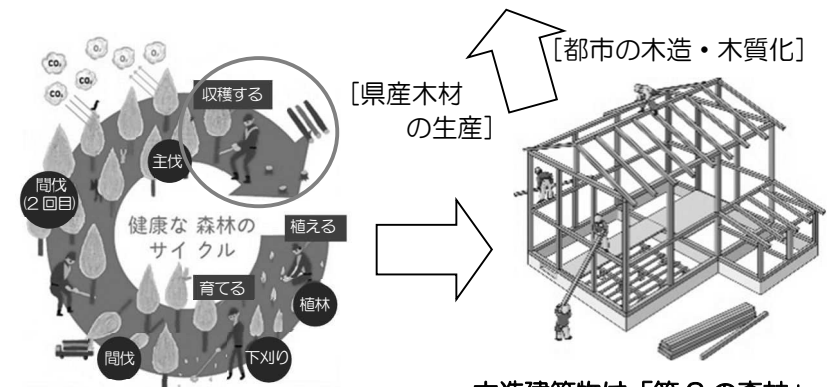
＜カーボンニュートラルを実現する都市の木造・木質化イメージ＞



〔商業施設・オフィスビル等の木造・木質化〕

## 2 県産木材の新規用途拡大 20,153千円

- 大径材の需要拡大に向けたサプライチェーンモデルの構築（新規）  
直径30cmを超える木材の有効利用を図るため、外国産材に依存している建築部材を県産木材へ転換する取組として、部材の供給体制構築に向けた流通実証を実施
- 非住宅建築物の木造化普及啓発（新規）  
設計工夫による低コスト化のポイントをまとめた木造建築マニュアルを作成し、非住宅建築物の木造化を促進



## 3 民間施設等での木材利用の促進 100,000千円

県産木材を利用したPR効果の高い民間施設等への支援

木造建築物は「第2の森林」  
〔炭素の固定〕

# 水産業の基盤整備等の取組を推進し、漁業生産力の強化を図ります

農業水産局水産課  
 企画・環境グループ  
 内線 3783・3784  
 (ダイヤル) 052-954-6458

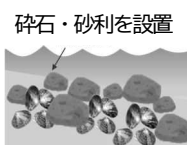
予算額 1,251,641千円  
 (外に債務負担行為 847,793千円)

漁業振興計画に基づき、漁場や増殖場の整備等により水産資源の増大を図るとともに、共同利用施設の整備や漁船導入への支援、養殖業の振興により、漁業生産力の強化を目指します。

## 漁場の整備

○ あさりとさかな漁場総合整備事業費 491,692千円  
 内湾の干潟・浅場や、外海域の魚礁漁場の総合的な整備を進め、水産資源増大と漁場環境の改善を図ります。

○ 貝類漁業生産緊急対策事業費 179,361千円  
 冬季の波浪の影響を軽減する、碎石や砂利を利用した貝類の増殖場を造成し、アサリなど貝類資源の回復を図ります。

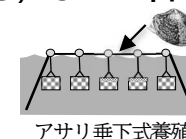


## 漁船導入への支援

○ 漁船導入支援事業費補助金 72,000千円  
 国と連携して、漁業後継者不足の一因となっている新規漁船導入費への支援を行い、担い手の確保を図ります。

## 養殖業の振興

○ 養殖業導入実証事業費 3,541千円  
 水産資源の変動に対応するため、アサリやカキの養殖技術の実証試験を行い、多角化による漁業経営の安定化を図ります。



○ のり養殖食害防止対策事業費補助金 10,000千円  
 のり養殖業における魚や鳥による食害を防ぐため、漁協が実施する防除対策を支援し、経営の安定を図ります。

## 共同利用施設などの整備

○ 水産業強化対策整備事業費 171,337千円  
 漁協が行う津波避難施設の整備を支援し、漁業地域の防災・減災を図り、力強い漁村づくりを推進します。

○ 漁業生産力強化総合対策事業費補助金 50,000千円  
 施設等の計画的な整備により強い産地づくりを推進し、持続的な水産業の発展を図ります。

## 栽培漁業の強化

○ 栽培漁業事業費 273,710千円  
 (外に債務負担行為 847,793千円)  
 栽培漁業センターにおいて、種苗の増産や、新たな種苗を生産するための新棟の建設工事に着手し、水産資源増大を図ります。

# 小学校の少人数学級を拡充するとともに、 小学校高学年における教科担任制を強化します

教育委員会財務施設課  
管理グループ  
内線 3833・3834  
(ダイヤル)052-954-6763

予算額3,830,670千円

## 小学校の少人数学級の拡充

1,253,087千円

少人数によるきめ細かな指導体制を構築し、子どもたちの安心・安全な学びを保障するために、小学校第1学年から小学校第5学年及び中学校第1学年で実施している35人学級を小学校第6学年に拡充します。

- 小学校第6学年に35人学級を拡充するために必要となる学級数・教員数

40人学級とした 場合の学級数 (A)	35人学級とした 場合の学級数 (B)	必要となる学級数 (B) - (A)	必要となる教員数
1,500学級	1,687学級	187学級	187人

※市町村判断により、少人数学級と少人数指導との選択的な実施が可能。

## 小学校高学年における教科担任制の強化

2,577,583千円

専門性の高い教科指導を行うとともに、教員の持ちコマ数軽減など学校の働き方改革を進めるため、専科指導教員を増員し、小学校高学年における教科担任制を強化します。

- ・専任            118人増   221人→339人
- ・非常勤講師    17人増    44人→ 61人

〔専科指導の対象とする教科  
外国語、理科、算数、体育〕



# 県立高等学校の一層の魅力化・特色化と再編を推進します

予算額 10,691,286千円  
(外に債務負担行為 7,002,125千円)

とりまとめ  
教育委員会財務施設課  
整備第二グループ  
内線 3832・3842  
(ダイヤル)052-954-6764

県立高等学校の欠員の急増や今後の中学校卒業生数の減少を踏まえ、県立中高一貫校の整備など、中学生が学びたいと思える、時代の変化や多様な生徒のニーズを踏まえた魅力ある県立高等学校づくりを推進します。

## 1 中高一貫校の整備 7,906,117千円 (外に債務負担行為 5,729,846千円)

併設型中高一貫校の開校に向け、中学校校舎等を整備

### ○ 整備校・整備内容 (開校年度：第一次導入校 2025年度、第二次導入校 2026年度)

タイプ	導入時期	整備校	主な整備内容
探究学習重視型	第一次導入校	明和・半田・津島・刈谷高等学校	中学校校舎 (普通教室、特別教室、管理諸室)、体育館の新築
	第二次導入校	時習館・豊田西・西尾高等学校	
音楽コース	第一次導入校	明和高等学校	音楽棟・音楽ホールの新築
地域の教育ニーズ対応型 (不登校)	第二次導入校	日進高等学校	少人数教室、特別教室、管理諸室への模様替え
高度ものづくり型	第二次導入校	愛知総合工科高等学校	

### ○ スケジュール

※明和高等学校は、開校(2025年4月)から中学校校舎の供用開始までの間は仮設校舎

導入時期	整備校	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
第一次導入校	半田・津島・刈谷高等学校	基本設計	実施設計	整備	★供用開始		
	明和高等学校	設計・施工一括発注 (デザインビルド) 方式で、高校の教室棟の改築にあわせて整備					★供用開始 (※)
		音楽棟・音楽ホール	設計・施工一括発注方式で、高校の教室棟の改築にあわせて整備			★供用開始	
第二次導入校	時習館・豊田西・西尾高等学校		基本設計	実施設計	整備	★供用開始	
	日進・愛知総合工科高等学校			実施設計	整備	★供用開始	

## 2 県立高等学校の再編 682,544千円 (外に債務負担行為 1,272,279千円)

### ○ 稲沢緑風館高等学校の整備 (2023年度開校)

稲沢・稲沢東・尾西高等学校を統合し、稲沢高等学校校地に開校  
・新棟建設工事 (2026年度供用開始)、既設校舎改修工事

### ○ 津島地区における新設高等学校の整備 (2025年度開校)

津島北・海翔高等学校を統合し、津島北高等学校校地に新校を開校  
・新棟建設工事 (2025年度供用開始)、既設校舎改修工事

## 3 実習船 新「愛知丸」の建造 2,102,625千円 (2025年3月 竣工予定)

漁業就業者や船員の育成のため、多目的かつ実践的な実習に利用できる実習船を建造

# 多様な学習ニーズに対応し、一人ひとりの個性と能力を伸ばせる学びを実現します

予算額 115,355千円（新規）

と り ま と め  
教育委員会あいちの学び推進課  
教育改革グループ  
内線 3890・3891  
(ダイヤル)052-954-7429

不登校経験者や外国にルーツをもつ方など多様なニーズをもつ方に対応する新しいタイプの定時制・通信制高校（フレキシブルハイスクール）及び夜間中学を設置します。

## 1 フレキシブルハイスクールの設置 84,937千円

全日制・昼間定時制・通信制の3課程を一つの学校内に置き、3課程間をフレキシブルに行き来して学べる新しいタイプの高校を設置します。

### ○ 開設時期

2025年4月

### ○ 設置校

佐屋高等学校、武豊高等学校、  
豊野高等学校、御津あおば高等学校

### ○ 2024年度事業内容

- ・設置校4校の教室模様替え工事
- ・広報活動
- ・VR・アバターを活用した学習活動の実施

## 2 夜間中学の設置 30,418千円

日本語指導が必要な外国にルーツをもつ方や不登校などの理由により中学校に十分に通えなかった方に対する日本語の基礎指導や義務教育段階の学び直しに対応する夜間中学を設置します。

### ○ 開校時期・中学校名・設置校

2025年4月 とよはし中学校（豊橋工科高等学校内）  
2026年4月 とよた中学校（豊田西高等学校内）  
こまき中学校（小牧高等学校内）  
いちのみや中学校（一宮高等学校内）

### ○ 2024年度事業内容

- ・とよはし中学校開校に向けた教室模様替え工事、教材等購入
- ・こまき中学校、いちのみや中学校開校に向けた教室模様替えの実施設計
- ・広報活動

# I C T活用の推進体制を強化し、 新たな時代に相応しい教育を実現します

教育委員会 I C T教育推進課  
振興・ネットワークグループ  
内線 5513・5515  
(ダイヤルイン)052-954-7462

予算額 18,688,785千円

2022年度に全ての県立学校への整備を完了した児童生徒一人一台タブレット端末により、個別最適化された学びと社会とつながる協働的な学びを実現するため、学校における I C T活用を支援します。

## ○ G I G Aスクール運営支援センターによる支援

県立学校に導入された I C T環境の円滑な運用を支援するため、ヘルプデスク及びサポート対応の体制を引き続き確保します。

## ○ 情報通信技術支援員の配置

県立学校の I C T活用を推進するため、教員の I C T活用を支援する情報通信技術支援員（I C T支援員）を引き続き配置します。

## ○ 県立学校のインターネット通信環境の確保

I C T機器及びオンライン学習の充実に対応するため、県立学校の通信環境を引き続き確保します。

## ○ オンライン学習支援サービスの活用

県立学校における不登校生徒の学習支援を目的として、民間学習支援サービスを利用します。

## ○ 公立学校情報機器整備基金の設置による支援（新規）

児童生徒一人一台タブレット端末等の更新に対応するため、新たに基金を設置し市町村の端末更新を支援します。

# 児童・生徒の心のサポート体制を充実します

予算額 996,141千円

と り ま と め  
 教育委員会義務教育課  
 生徒指導・キャリア教育グループ  
 内線 3914・3919  
 (ダイヤル)052-954-6790

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校におけるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の教育相談体制の充実を図ります。

## ○ スクールカウンセラーの配置

児童生徒の不安等に適切に対応するため、スクールカウンセラーを配置します。

小 中 学 校 配置時間2,402時間増  
 118,260時間 → 120,662時間  
 高 等 学 校 62人  
 特別支援学校 5人  
 スーパーバイザー 7人

## ○ スクールソーシャルワーカーの配置

児童生徒の不安等に適切に対応するため、スクールソーシャルワーカーを配置します。

小 中 学 校 (補助率:1/3以内)  
 対 象:42市町村 → 43市町村  
 190中学校区 → 192中学校区  
 高 等 学 校 10人  
 特別支援学校 2人

## ○ いじめ防止対策の推進

いじめ防止対策推進法に基づき「愛知県いじめ問題対策委員会」等を設置します。

## ○ 24時間いじめ電話相談の実施

悩みや不安を抱える児童生徒や保護者等がいつでも相談ができるように、24時間体制の電話相談を運営します。

## ○ ネットパトロールの実施

県立学校を対象に、インターネット上のトラブルを未然に防止するため、ネットパトロールを実施します。

## ○ SNS相談の実施

児童生徒が抱える不安やストレスを軽減するため、小中学生及び高校生を対象としたSNS等による相談を実施します。

## ○ 校内教育支援センター(校内フリースクール)の整備

不登校生徒の社会的自立に向けた支援を充実するため、校内教育支援センターを中学校5校に拡大します。

# 教育の質を維持した上での教員の働き方改革の実現を 目指します

予算額 3,935,086千円

とりまとめ  
教育委員会教職員課  
人事企画グループ  
内線 3850・3851  
(ダイヤル)052-954-6768

長時間勤務の解消に向けて、ロードマップを作成して教員の負担軽減を図り、質の高い教育を持続的に行うための環境を整えます。

教員の業務量の適切な管理		教職員の適切な健康管理	業務改善と環境整備に向けた取組	外部人材活用の取組
<p>○<b>在校等時間の客観的な把握</b> 出退勤管理システムによる在校等時間の集計結果を活用して、教員の負担軽減・多忙化解消を目指す。</p> <p>○<b>教員の勤務実態把握・分析</b> 県立学校から小中学校にも対象を広げ、各教員の勤務実態の把握・分析等の業務を民間事業者に委託することで、全ての教員が在校等時間の上限を遵守できる労務体制を構築し、教員の働き方改革の推進を図る。</p>		<p>○<b>メンタルヘルス対策の推進</b> 心の健康相談を臨床心理士や保健師によって実施する。</p> <p>○<b>ストレスチェックの実施</b> ストレスチェックを実施し、自身の心理的負担を把握させるとともに、職場環境改善を図る。</p> <p>○<b>こころの人間ドックの実施</b> 高ストレス者とされた教職員に医師等のカウンセリングを受診させ、精神的不調の未然防止を図る。</p>	<p>○<b>学校マネジメントの強化支援（新規）</b> 業務負担が大きい教頭の負担軽減のため、元校長等を配置し、教頭が学校経営に集中できる環境を整備する。</p> <p>○<b>デジタル採点システムの段階的導入</b> 教員の採点業務の負荷の軽減と学習評価の質の向上を図る。</p> <p>○<b>校務支援システムの利用促進</b> 新学習指導要領へ対応した成績処理機能の拡充など利便性が向上した校務支援システムの利用促進と安定運用を図る。</p>	<p>○<b>スクール・サポート・スタッフの配置</b> 授業準備等の事務補助的な業務を担うスクール・サポート・スタッフを小中学校に配置する市町村への補助を行う。</p> <p>○<b>専門スタッフの配置</b> ・スクールカウンセラー ・スクールソーシャルワーカー ・語学相談員 ・外国人生徒等教育支援員 ・就労アドバイザー ・キャリア教育コーディネーター ・GIGA スクール運営支援センターシステムエンジニア ・ICT支援員 ・スクールロイヤー</p>
部活動指導	<p>○<b>部活動指導ガイドラインの周知徹底</b> 2018年9月に策定した「部活動指導ガイドライン」の周知徹底を図る。</p>		<p>○<b>部活動の地域移行の推進</b> コーディネーターの配置を含む運営団体・実施主体等の体制整備など、中学校における部活動の地域クラブ活動への移行に向けた実証事業を実施する。</p>	<p>○<b>部活動指導員の配置</b> 単独で部活動の指導、大会への引率等を行う部活動指導員を配置する。 ・高等学校への配置 ・中学校に配置する市町村への補助</p>
<b>休み方改革プロジェクトの推進</b>				
<p>・「家族と子供が一緒に過ごせる仕組みづくり」としての「ラーケーションの日」が円滑に実施されるよう、教員負担軽減のためのモデル事業の実施や校務支援員を配置する。 【小中学校 801校、高等学校 149校、特別支援学校 32校】</p>				

○**教職員定数の充実等**  
 ・学校における働き方改革や複雑化・困難化する教育課題へ対応するため、教職員を増員する。【小中学校 専任+532人】  
 ・「教師不足」の改善を図るため、年度の初学期に産・育休を取得することが見込まれている教師等の代替者を、4月の年度当初から任用する。【小中学校、高等学校、特別支援学校】  
 （2024年度から新たに養護教諭・栄養教諭等・事務職員（小中学校のみ）を対象とする）

## 県立学校の教育環境の整備を図ります

予算額 20,986,160千円  
 (外に債務負担行為 6,174,437千円)

教育委員会財務施設課  
 整備第一グループ  
 内線 3836・3838  
 (ダイヤル)052-954-6765

### ○ 県立学校施設長寿命化推進事業費 16,444,000千円 (外に債務負担行為 6,174,437千円)

2019年3月に策定した「県立学校施設長寿命化計画」に基づく老朽化対策等を実施します。

- ・長寿命化改修、大規模改造 工事 89棟 設計 87棟
- ・改築 【対象】 明和高等学校、春日井高等学校  
 【内容】 設計・施工一括発注（デザインビルド）方式による整備  
 明和高等学校は、中高一貫校（併設型）に必要な中学校用施設等（校舎、音楽棟等）をあわせて整備

### ○ 県立学校体育館等への空調設備の整備 4,527,332千円

幼児児童生徒の熱中症対策を図るため、県立学校の体育館・武道場へ空調設備を整備します。

- ・高等学校 4,473,911千円（新規） 【対象】 145校292棟 うち2024年度整備36校74棟（工事方式）  
 【期間】 2024年度から2027年度の4年間
- ・特別支援学校 53,421千円 【対象】 26校27棟 うち2024年度整備12校12棟（リース方式）  
 【期間】 2023年度から2025年度の3年間

### ○ 特別支援学校校舎へのエレベーターの整備 14,828千円（新規）

校舎のバリアフリー化を推進するため、県立特別支援学校へエレベーターを設置します。

- 【対象】 名古屋盲学校、岡崎盲学校
- 【内容】 基本調査

# 総合教育センターの移転整備を進めます

予算額 498,956千円  
 (外に債務負担行為 2,700,779千円)

教育委員会総務課  
 企画・調査グループ  
 内線 3824・3825  
 (ダイヤル)052-954-6827

愛知県総合教育センターは、建築後50年が経過する建物の老朽化に対応するため、東郷町から岡崎市へ移転します。2024年度は、移転整備に向けた改修・増築工事を行います。

## ○移転先

岡崎市美合町地内（愛知県青年の家敷地）

## ○移転時期

2026年4月

## ○移転スケジュール

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026
内容	整備調査	基本設計	実施設計 <small>青年の家閉館 3/31</small>	改修・増築工事		開所 (4/1)

## ○施設概要

敷地面積 約 21,100 m<sup>2</sup>

延床面積 約 7,000 m<sup>2</sup>

機能・諸室

[研修] 大ホール、講義室、実習実験室

[研究] 教育史資料室、図書資料室、入試業務室

[ICT支援] オンライン研修・教材開発室

[相談] 相談室、観察室、不登校支援諸室

<外観イメージ図（鳥瞰図）>



# 私学助成

## 父母負担の軽減・教育条件の維持向上のため

### 728億余円を計上します

県民文化局県民生活部  
学事振興課私学振興室  
助成グループ  
内線 2471・2472  
(ダイヤル)052-954-6187

#### 【設置者に対する助成】

<b>◎経常費補助</b>	<b>総額</b>	<b>39,180,663千円</b>
◆高等学校（全日制・定時制）		
一般補助 生徒1人当たり	354,027円 →	358,148円 (101.2%)
生徒数	60,483人 →	60,177人 [ 99.5%]
教育条件向上推進費補助（総額）	844,299千円 →	1,044,741千円 (123.7%)
◆幼稚園		
一般補助 園児1人当たり	197,020円 →	199,344円 (101.2%)
園児数	46,909人 →	40,442人 [ 86.2%]
幼児教育充実推進費補助（総額）	2,474,885千円 →	2,524,044千円 (102.0%)
◆専修学校高等課程		
一般補助 生徒1人当たり	147,080円 →	148,845円 (101.2%)
生徒数	6,932人 →	7,237人 [104.4%]
◎施設設備整備費補助 <b>総額 1,700,000千円</b>		
・体育館等における空調設備の整備を補助対象に追加		
・スクールバス購入費用を補助対象に追加		
◎幼稚園特別支援教育費補助 <b>総額 1,203,989千円</b>		
・園児1人当たり 784,000円		
◎幼稚園授業料等軽減補助 <b>3,395,859千円</b>		
・幼児教育の無償化 1人当たり単価（年額） 308,400円（所得制限なし）		
◎専修学校専門課程授業料等軽減補助 <b>2,680,071千円</b>		
・1人当たり上限額（年額） 授業料 590,000円 入学金 160,000円		
対象者：住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の生徒（参考年収 380万円未満程度）		
中間所得層で多子世帯の生徒及び理工農系学科の生徒（新規）		
（参考年収 380万～600万円程度）		

#### 【父母に対する助成】

<b>◎授業料軽減補助</b>	<b>総額</b>	<b>19,107,358千円</b>
※単価の改正は2024年度以降の入学生から適用		
◆高等学校（全日制・定時制） 及び中等教育学校後期課程		◆高等学校（通信制）
・1人当たり単価（年額）		・1人当たり単価（年額）
甲 428,400円 → 435,600円	乙 214,800円 → 218,400円	甲① 297,000円 → 据置
その他 118,800円 → 据置		甲② 228,000円 → 252,000円
		乙 118,800円 → 126,000円
		その他 118,800円 → 据置
◆専修学校高等課程		通信制高校併修者に対する上乗せ補助
・1人当たり単価（年額）		
甲 403,200円 → 406,800円	乙 201,600円 → 204,000円	甲 51,600円
その他 118,800円 → 据置		乙 25,200円
◎入学納付金補助 <b>総額 2,723,504千円</b>		
◆高等学校（全日制・定時制）		◆高等学校（通信制）
・1人当たり単価（年額）		・1人当たり単価（年額）
甲 200,000円	乙 100,000円	甲 30,000円
		乙 15,000円
◆専修学校高等課程		通信制高校併修者に対する上乗せ補助
・1人当たり単価（年額）		
甲 130,000円	乙 65,000円	甲 18,000円
		乙 9,000円
所得基準（授業料軽減補助及び入学納付金補助）：世帯収入（父母合算）		
甲 { 甲①：算定基準額が154,500円未満の世帯		（標準世帯の参考年収）
甲 { 甲②：算定基準額が212,700円未満の世帯		（年収590万円未満程度）
乙：算定基準額が270,300円未満の世帯		（年収720万円未満程度）
その他：算定基準額が304,200円未満の世帯		（年収840万円未満程度）
		（年収910万円未満程度）



# すべての子どもが輝く未来の実現に向けて、 子どもの貧困対策の推進に取り組みます

予算額 8,008,816千円

とりまとめ  
福祉局児童家庭課  
子ども未来応援グループ  
内線 5144・5145  
(ダイヤル)052-954-7468

## 教育の機会の均等

- ◎ 社会的養護自立支援事業費 71,577千円  
支援コーディネーター、生活相談支援担当職員に加え、新たに就労相談支援担当職員の配置によるケアリーバー支援児童養護施設等の児童の大学進学時の居住費、生活費を支援
- ◎ ひとり親家庭等生活支援事業費 1,441千円  
ひとり親家庭等を対象とした生活支援事業を実施する市町村への助成
- ◎ 大学生入学準備金支給費 ※ 9,000千円  
児童養護施設等で生活する児童への大学等進学に要する準備金の支給
- ◎ 大学受験費給付金支給費 ※ 3,600千円  
児童養護施設等で生活する児童への大学受験料等の支給
- ◎ 退所費給付金支給費 ※ 3,520千円  
児童養護施設等を退所する児童への退所費用の支給
- 【県民文化局、教育委員会関係】
- ◎ 奨学給付金支給費 2,360,119千円  
授業料以外の教育費の負担軽減のため、低所得世帯に奨学給付金を支給

### 【教育委員会関係】

- ◎ 放課後子ども教室推進事業費補助金 397,621千円  
小学生を対象に学習支援や体験活動等を実施
- ◎ 地域未来塾等学校支援活動事業費補助金 24,072千円  
中学生・高校生等を対象に学習支援を実施

- ◎ 生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援事業費 71,972千円  
生活困窮世帯等の子どもに対する学習支援や居場所の提供を実施

### 【教育委員会関係】

- ◎ スクールソーシャルワーカー設置事業費補助金 107,938千円  
市町村立小中学校等へのスクールソーシャルワーカー配置を助成

## 健やかな成育環境

- ◎ 子ども食堂支援事業費 10,882千円  
愛知県社会福祉協議会の行う子ども食堂への支援の取組への助成
- ◎ 子ども食堂推進事業費補助金 ※ 11,000千円  
子ども食堂の開設経費等への支援
- ◎ ひとり親家庭就業支援事業費 1,814千円  
ひとり親家庭向けの合同企業説明会を開催
- ◎ 放課後児童クラブ運営費 4,674,526千円  
放課後児童クラブの運営費を助成

- ◎ 若者・外国人未来応援事業費 17,131千円  
中卒進路未定者や高校中退者等を対象に高等学校卒業程度認定試験等の合格に向けた学習支援や外国人に対する日本語学習支援を実施

- ◎ ひとり親家庭の子どもの生活・学習支援事業費 93,465千円  
ひとり親家庭の子どもに対する学習支援や居場所の提供を実施する市町村への助成

## 支援体制の充実

- ◎ 自立相談支援事業費 75,156千円  
県福祉事務所に生活困窮者相談支援員等を配置
- ◎ 就労準備支援事業費 22,472千円  
就労が困難な生活困窮者に対する就労に向けた支援
- ◎ 家計改善支援事業費 2,613千円  
家計に様々な課題を抱える生活困窮者に対する家計管理能力の改善に向けた支援
- ◎ ボランティアセンター運営費補助金 (学習支援ボランティア分) 8,081千円  
愛知県社会福祉協議会(ボランティアセンター)において学習支援ボランティアを養成

### 【保健医療局関係】

- ◎ 妊娠・出産包括支援推進事業費 863千円  
市町村職員等に母子保健における相談・支援体制の資質向上のための研修会等を開催

- ◎ スクールソーシャルワーカー設置事業費 39,953千円  
県立高校、県立特別支援学校にスクールソーシャルワーカーを配置

※「子どもが輝く未来基金」を活用する事業

# 子ども・子育て支援新制度を着実に推進するとともに、 保育サービスの充実を図ります

予算額 38,110,579千円

福祉局子育て支援課  
子育て給付グループ  
内線 3204・3756  
(ダイヤル) 052-954-6282

<b>「子ども・子育て支援新制度」の着実な推進</b>		<b>37,741,287千円</b>
<b>1 施設型教育・保育給付費</b>	<b>27,457,826千円</b>	
幼児教育・保育の無償化や4・5歳児の職員配置基準の改善を踏まえ、私立の認定こども園や私立保育所及び新制度に移行した私立幼稚園に対する運営費を給付します。		
<b>2 地域型保育給付費負担金</b>	<b>2,882,650千円</b>	
幼児教育・保育の無償化を踏まえ、家庭的保育事業、小規模保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業に対する運営費を給付します。		
<b>3 子育て支援施設等利用給付費負担金</b>	<b>434,828千円</b>	
認可保育所の代替措置として認可外保育施設等を利用する子どもたちの利用料を無償化するための経費を給付します。		
<b>4 地域子ども・子育て支援事業費補助金</b>	<b>6,965,983千円</b>	
子育て家庭を対象とした相談・援助等を行う利用者支援事業、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）等に対して支援します。		
<b>安心して子どもを生き育てることができる保育サービスの充実</b>		<b>369,292千円</b>
<b>1 低年齢児途中入所円滑化事業費</b>	<b>60,000千円</b>	
低年齢児の年度の途中入所の保育需要に対応するため、配置基準を超えて保育士を配置する市町村に対して、その経費を助成します。		
<b>2 1歳児保育実施費</b>	<b>144,576千円</b>	
1歳児保育の充実と低年齢児受入れの促進を図るため、1歳児に対する保育士の配置を基準よりも充実する市町村に対して、必要な保育士の人件費を助成します。		
<b>3 第三子保育料無料化等事業費補助金</b>	<b>164,716千円</b>	
多子世帯の経済的負担の軽減を図るため、第三子以降の3歳未満児の保育料を無料化又は軽減する市町村に対し、その経費を助成します。		



愛知県子育て応援  
マスコット・キャラクター「はぐみん」

# 保育人材の確保対策を推進します

予算額 1,776,084千円

福祉局子育て支援課  
施設認可・保育人材確保グループ  
内線 3188・5585  
(ダイヤル) 052-954-6248

深刻化する保育士不足に対応するため、保育士の就職促進や、離職防止のための労働環境の改善、潜在保育士の確保により、保育人材の確保対策を推進します。

保育士の就職促進	労働環境の改善
<p><b>1 保育士就職促進支援事業費補助金 9,264千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 卒業予定者へ保育所等への就職を促す取組を行う養成施設に対し経費を助成</li> <li>○ 卒業生へ保育所等への就職を促す取組を行う養成施設に対し経費を助成</li> </ul> <p><b>2 保育士修学資金貸付事業費 101,745千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育士資格の取得を目指す学生に対し資金を貸付け貸付枠 120人</li> <li>○ 潜在保育士の就職に必要な資金の貸付け貸付枠 70人</li> <li>○ 未就学児を持つ保育士に対し保育料を貸付け貸付枠 10人</li> </ul>	<p><b>1 保育補助者雇上強化事業費補助金 643,029千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育所等における保育士の負担を軽減し、離職防止を図ることを目的として、保育士の補助を行う保育補助者の雇上げに必要な経費を助成</li> </ul> <p><b>2 保育体制強化事業費補助金 983,695千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育士の業務負担軽減のため、清掃業務等の保育に係る周辺業務や、園外活動時の見守り等を行う保育支援者の雇上げに必要な経費を助成</li> </ul> <p><b>3 認可外保育施設 ICT化推進事業費補助金 5,700千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認可外保育施設において、子どもの安全対策強化や保育従事者の業務負担軽減のため、登園管理システムや保育記録の入力支援等を行う機器の導入に必要な経費を助成</li> </ul> <p><b>4 保育人材確保推進事業費（新規） 9,349千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育施設の採用力向上及び離職防止を目的としたセミナーを開催</li> </ul>
潜在保育士の確保	
<p><b>保育士・保育所支援センター費 23,302千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育士の求人求職相談によるマッチング、潜在保育士向けの研修、保育所就職支援フェア等を行うセンターの運営</li> <li>○ 潜在保育士の復職に向けた伴走支援等を行う「保育士キャリアアドバイザー」の配置（新規）</li> </ul>	

# ヤングケアラーとその家族を社会全体で支えていくため 支援の充実を図ります

福祉局 児童家庭課  
子ども未来応援グループ  
内線 5144・5145  
(ダイヤル)052-954-7468

予算額 38,081千円

2022年3月に公表した「愛知県ヤングケアラー実態調査」の結果を踏まえ、ヤングケアラー及びその家族に対して適切な支援ができるよう、市町村モデル事業を実施するとともに、市町村への支援に取り組みます。

## 1 市町村モデル事業

身近な地域で効果的な支援が行われるよう、市町村にモデル事業を委託し、ヤングケアラーの発見・把握から支援までの一貫した支援体制の整備に向けて、引き続き取り組みます（2022～2024年度）。

### (1) 委託先

豊橋市、大府市、春日井市

### (2) 主な内容（委託先による取組例）

- |  |   |
|--|---|
| ○ ヤングケアラーに関する正しい理解の促進<br>学生フォーラム【豊橋市】 子ども向けアンケート【大府市】<br>気づきを促すWebチェックサイトの活用【春日井市】 | ○ 子どもが相談しやすい環境づくり<br>子どもが気軽に立ち寄れる相談の場【豊橋市、春日井市】<br>SNS相談窓口【大府市】 |
| ○ 早期発見・把握から福祉サービスへのつなぎ<br>コーディネーター等による支援へのつなぎ【共通】                                  | ○ 地域におけるヤングケアラーへの支援<br>ヤングケアラー同士が語り合える場（サロン）の開催【共通】             |

## 2 市町村への支援等

- ・ 関係機関が連携する際のパイプ役となるコーディネーターの配置や、アドバイザーの派遣
- ・ ヤングケアラー同士が語り合える場（サロン）において進行役・聞き役を担うピアサポーターの確保・養成
- ・ 市町村モデル事業の最終年度として、一般県民を含む幅広い方を対象とした研修の開催
- ・ 子ども向け啓発パンフレットの多言語化

# 児童虐待防止対策を強化します

予算額 212,419千円

とりまとめ  
福祉局児童家庭課  
児童虐待対策グループ  
内線 3190・3192  
(ダイヤル)052-954-6281

国の「新たな児童虐待防止対策体制総合強化プラン」を踏まえ、児童相談センターの機能を強化するとともに、社会的養護下にある児童の意見表明の推進や医療機関の連携を図り、児童虐待防止対策の強化に総合的に取り組みます。

## 児童相談センターの機能強化

### ○ 児童虐待対策費

194,298千円

#### 1 人材の確保・育成

児童相談センター専門職員の人材確保に取り組むとともに、若手職員に対する実践力強化やスーパーバイザーに対する指導・育成技術向上のための研修を実施します。

#### 2 弁護士との連携を始めとする相談体制の確保

虐待相談の法的支援を行う弁護士との連携を図るとともに、虐待が疑われる受傷の医学的判断を行う法医学専門医師等を配置します。

#### 3 休日・夜間相談体制の確保及びSNS相談の実施

休日・夜間における児童相談所虐待対応ダイヤル(189 いちはやく)等による相談に合わせて、SNSを活用した相談を実施します。

[189:24時間 365日 SNS相談:10時~20時 365日]

#### 4 里親制度の普及啓発及び里親への支援

里親制度の普及啓発に取り組むとともに、養育技術の向上を図るための研修の開催、専門的な知識を持った里親等相談支援員等による訪問や里親サポーターによる支援を実施します。

#### 5 児童を一時保護所等へ移送するための職員の増員(新規)

増加する児童虐待に対応するため、児童を一時保護所等へ移送するための職員を児童相談センターに新たに配置します。

## 施設入所児童等 意見表明推進事業

14,271千円

施設や里親等で暮らす社会的養護下にある児童の意見に関する調査審議機関を設置するとともに、児童の意見を把握するため、意見表明支援員を派遣します。

## 児童虐待防止医療ネットワーク 【保健医療局】

3,850千円

拠点病院(あいち小児保健医療総合センター)を中心とした県内医療機関の連携を図り、児童虐待防止に向けた取組を推進します。

福祉局 高齢福祉課  
 地域包括ケア・認知症施策推進室  
 認知症施策推進グループ  
 内線 3967・3483  
 (ダイヤルイン) 052-954-6310

# 「あいちオレンジタウン推進計画」に基づき、 認知症施策を推進します

予算額 196,235千円

2024年3月に策定する「あいちオレンジタウン推進計画」に基づき、認知症施策を総合的・計画的に推進します。

**1 推進事務費** 1,122千円  
 ・「あいちオレンジタウン推進計画」の推進及び進捗管理を行う会議の開催

**2 普及啓発・本人発信支援事業費** 9,353千円  
 ・愛知県認知症希望大使と協働した普及啓発  
 ・市町村における本人・家族交流会の開催支援

**3 医療介護支援事業費** 121,027千円  
 ・認知症地域支援推進員<sup>※1</sup>や医療介護従事者等を対象とした研修の実施  
 ・認知症地域支援推進員のための研修プラットフォーム<sup>※2</sup>の運用  
 ※1 市町村に配置され、地域の支援機関同士の連携づくりや、認知症カフェ・社会参加活動などの地域支援体制づくり、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行う者。  
 ※2 eラーニングや活動事例の動画配信等、推進員の活動を支援するコンテンツを盛り込んだ多機能・総合型研修システム  
 ・認知症疾患医療センターの運営

**4 認知症バリアフリー推進事業費** 61,913千円  
 ・若年性認知症の人への医療、福祉、就労等の総合的な支援の実施  
 ・市民後見人養成研修の実施（新規）  
 ・ONEアクション研修<sup>※3</sup>の新たなプログラムの開発及び普及に係る取組の実施  
 ※3 認知症の人と関わる機会が多い企業等で働く人たちが、認知症への対応を身に付け、日常の業務でさりげなく支援できるようになるために県が開発した研修

**5 研究成果社会実装促進費** 2,820千円  
 ・認知機能低下リスクを判定するチェックリストを市町村が活用するための支援

# 介護人材の確保対策を推進します

予算額 1,197,889千円

とりまとめ  
福祉局高齢福祉課  
介護人材確保グループ  
内線 3965・3148  
(ダイヤル)052-954-6814

「団塊の世代」がすべて75歳以上となる2025年へ向け、介護が必要になる方の急速な増加に対応できるよう、介護サービスを提供する人材の確保対策を推進します。

## 1 福祉・介護人材確保対策費 391,720千円

<主な事業>

- 「介護の仕事」の魅力発信
  - ・介護職に対する理解促進のため、ポータルサイト「介護の魅力ネット・あいち」を運営するとともに、「介護の日」の普及啓発を実施
  - ・市町村や介護関係団体等が実施するセミナーやイベント等の実施に要する経費を助成
- 介護従事者への研修支援
  - ・介護従事者のキャリアアップを支援するため、市町村や介護関係団体等が実施する研修事業等に要する経費を助成
- 外国人介護人材の受入環境整備支援
  - ・外国人材の円滑な受け入れを促進するため、介護事業者に対してセミナーを開催するとともに、介護事業者が実施する、日本語や介護技術の学習等の支援に要する経費を助成
  - ・外国人介護人材が介護現場で働きやすくするための環境整備費用や海外現地での外国人介護人材確保の取組に必要な経費を助成（新規）

## 2 介護生産性向上推進総合事業費（新規） 18,625千円

介護現場における生産性向上の取組を推進するため、介護事業者に対して、ワンストップ型の支援を行う介護生産性向上総合相談センター（仮称）を設置

## 3 介護テクノロジー導入支援事業費補助金 787,544千円

介護従事者の業務負担軽減や職場環境の改善及び介護サービスの質の向上を図るため、介護事業所の業務の改善や効率化に繋がる介護ロボットやICT機器の導入に要する経費を助成



# 本格的な超高齢社会に向け、地域包括ケアを推進します

予算額 22,354千円

福祉局 高齢福祉課  
地域包括ケア・認知症施策推進室  
地域包括ケアグループ  
内線 3236・3168  
(ダイヤルイン)052-954-6228

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療・介護・予防・生活支援・住まいを一体的に提供する地域包括ケアシステム構築の推進を図ります。

## 1 地域包括ケアシステム構築に向けた地域づくりの推進

地域包括ケアシステム構築の着実な推進に向けて、地域における取組を充実・強化する事業を実施します。

- ・市町村における介護予防の取組を推進するため、地域の高齢者が集う「通いの場」に関するフォーラムの開催
- ・県内の在宅医療・介護連携の実務者によるネットワーク会議を開催し、広域的な連携を促進



## 2 相談窓口の設置等による市町村支援

市町村が地域包括ケアシステム構築を円滑に進められるよう、市町村からの問合せに対応する相談窓口を国立長寿医療研究センターに設置するとともに、市町村や地域包括支援センター職員の資質向上を図る研修会を開催すること等により取組を支援します。



# 福祉医療制度で医療費の助成を行います

予算額 25,814,471千円

福祉局 高齢福祉課  
生きがい・福祉医療グループ  
内線 3210・3211  
(ダイヤル)052-954-6285

子ども、障害者、母子・父子家庭、高齢者の方が安心して必要な医療を受けられるよう、医療保険制度における自己負担相当額を公費で助成します。

## ○ 子ども医療事業費

8,523,533千円

対象者

通院 小学校入学前まで

入院 中学校卒業まで

## ○ 障害者医療事業費

8,289,670千円

対象者

身体障害1～3級等、自閉症

知的障害IQ50以下の方

精神障害者1・2級（精神疾患に限る）

## ○ 母子・父子家庭医療事業費

2,351,883千円

対象者

18歳以下（18歳に達した日の属する年度の末日まで）の児童のいる母子・父子家庭及び父母のいない児童

## ○ 後期高齢者福祉医療給付事業費

6,649,385千円

対象者

後期高齢者医療の対象者のうち、ねたきり、認知症等の方

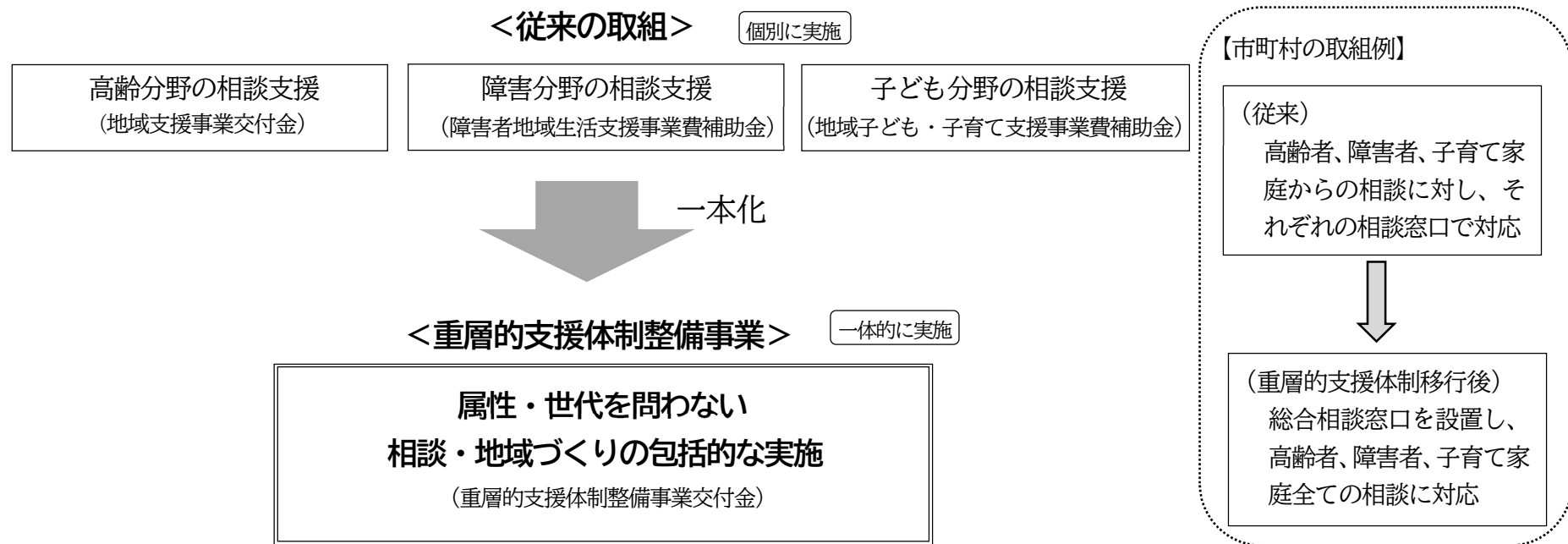


# 地域共生社会の実現を目指し、市町村における 包括的な支援体制の整備を推進します

福祉局福祉部地域福祉課  
福祉活動支援グループ  
内線 3142・3163  
(ダイヤル)052-954-6262

予算額 3,071,810千円

地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、高齢・障害・子どもの各分野を超えた、対象者の属性を問わない包括的な支援体制の構築を推進します。



【実施予定市町村数】 2023年度 14市町 → 2024年度 24市町

# 困難な問題を抱える女性への支援を推進します

福祉局福祉部地域福祉課  
生活困窮者支援グループ  
内線 3141・3145  
(ダイヤル)052-954-6627

予算額 11,459千円（新規）

DV・ストーカー被害、性犯罪・性暴力被害、予期せぬ妊娠、不安定な就労状況、経済的困窮など、様々な困難な問題を抱える女性への支援を推進します。

## 相談支援体制の整備

### ○女性相談員向け研修の実施

困難な問題を抱える女性への支援を行う相談員等を対象とした研修を実施し、相談から適切な支援の提供までの相談支援体制を強化します。

### ○相談窓口の啓発

Webサイトの作成やポスター・カード等の配布により、困難な問題を抱える女性が必要な情報を入手できるように、相談窓口や支援内容の周知・啓発を行います。

## 関係機関との連携・協働による支援の推進

### ○民間支援団体への助成

民間支援団体の活動に対し助成し、困難な問題を抱える女性への支援の充実を図ります。

#### <助成対象>

- ・アウトリーチ活動や居場所提供による支援対象者の早期の把握や支援へのつながりを実施する団体
- ・民間のシェルター等で保護した女性に対し、地域での自立に向けた支援を実施する団体

### ○支援調整会議の開催

行政、関係機関、民間支援団体等が連携して支援に関する協議等を行うための会議を開催し、関係機関相互の連携・協働の推進を図ります。

# 「愛知・つながりプラン2028」に基づき、 特別支援教育を充実します

予算額 1, 277, 383千円  
(外に債務負担行為 5, 563, 355千円)

とりまとめ  
教育委員会特別支援教育課  
指導グループ 内線 3932・3933  
(ダイヤルイン)052-954-6798

2024年2月に策定した「第3期愛知県特別支援教育推進計画（愛知・つながりプラン2028）」に基づき、特別支援学校の整備を進めるとともに、児童生徒に対する支援体制を強化します。

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>1 いなざわ特別支援学校整備費</b> 342, 209千円<br/>(外に債務負担行為 1, 367, 387千円)<br/>教室不足を解消するため、いなざわ特別支援学校敷地内への校舎増築に向けた建設工事を行います。<br/>○ 供用開始予定：2025年9月</p>        | <p><b>5 岡崎特別支援学校移転整備費</b> 117, 529千円<br/>(外に債務負担行為 1, 049, 449千円)<br/>岡崎特別支援学校の移転に伴い、旧校舎の取壊工事を行います。<br/>○ 移転開校：2024年4月</p> |
| <p><b>2 小牧特別支援学校整備費</b> 392, 290千円<br/>(外に債務負担行為 3, 146, 519千円)<br/>一宮東特別支援学校の教室不足を解消するため、小牧特別支援学校敷地内への校舎増築に向けた建設工事等を行います。<br/>○ 供用開始予定：2026年4月</p> | <p><b>6 就労支援推進事業費</b> 14, 884千円<br/>○ 就労アドバイザーの配置 5人</p>   |
| <p><b>3 名古屋東部地区新設特別支援学校整備費</b> 190, 465千円<br/>港特別支援学校の長時間通学を解消するため、名古屋東部地区への肢体不自由特別支援学校新設に向けた実施設計を行います。<br/>○ 開校予定：2027年4月<br/>○ 場 所：天白学校体育センター</p> | <p><b>7 心豊かな児童生徒育成推進事業費</b> 14, 718千円<br/>○ スクールカウンセラーの配置 5人<br/>○ スクールソーシャルワーカーの配置 2人</p>                                 |
- <参考>**  
**看護師による医療的ケア実施体制の充実**  
医療的ケアが必要となる児童生徒に適切なケアを行うため、県立学校の看護師を増員します。  
○ 常勤看護師の配置 16人 → 17人  
○ 非常勤看護師の配置 103人 → 118人

# 障害のある人が身近な地域で安心して暮らせるよう支援します

福祉局福祉部障害福祉課  
事業所指導第二グループ  
内線 5372・5373  
(ダイヤル)052-954-7400

予算額 461,383千円

## 1 障害者施設設置費補助金 441,541千円

障害のある人が身近な地域で暮らすことができるようグループホームや障害児者施設の整備費に対して助成します。

## 2 障害者地域移行推進事業費 19,842千円

### ○ 共同生活援助事業所の世話人の確保

・グループホームの世話人確保のため、世話人の仕事紹介や仕事体験を実施します。

### ○ 地域生活を体験する機会の提供

・施設入所者等が地域生活を具体的にイメージできるよう、地域のグループホーム等を活用した体験事業や出前講座を実施します。

### ○ 障害者の新たな仕事の創出

・障害者の工賃等の向上のため、企業と就労継続支援事業所等をマッチングし、新たな受注や仕事を生み出す取組を実施します。  
・企業と芸術的な才能がある障害者をマッチングし、障害者雇用へつなげる取組を実施します。

〔障害福祉サービス事業所で  
生産された商品（例）〕



冬用帽子

# 障害のある人の社会参加と障害への理解促進を図ります

福祉局福祉部障害福祉課  
社会参加推進グループ  
内線 3239・3497  
(ダイヤル)052-954-6697

予算額 50,866千円

## 1 障害者コミュニケーション手段利用促進費

36,819千円

### ◆意思疎通支援者の養成・派遣

障害のある人が社会の構成員として地域の中で安心して生活を送ることができるよう、意思疎通支援者の養成や派遣などを行います。

- ・手話通訳者や要約筆記者等の意思疎通支援者の養成・派遣
- ・頸肩腕障害予防のための健康診断や健康管理講座の実施

### ◆障害の特性に応じたコミュニケーション手段に関する普及啓発

障害に対する理解や配慮についての普及啓発を図るため、県民向けに障害の特性に応じたコミュニケーション手段についてのセミナーを開催します。

## 2 ヘルプマーク普及促進事業費

454千円

### ◆ヘルプマークの普及促進

義足や人工関節を使用している人等、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい人々が、配慮を必要としていることを周囲の方に知らせるための手段となる「ヘルプマーク」の普及を促進します。

- ・普及啓発リーフレット等の作成、配布
- ・市町村と連携したヘルプマークの作成、配布



ヘルプマーク

## 3 障害者芸術文化活動推進事業費

13,593千円

### ◆あいちアール・ブリュットの推進

「あいちアール・ブリュット障害者アーツ展」を通して、障害のある人の社会参加と障害への理解促進を図ります。

- ・作品展、舞台・ステージ発表等を開催
- ・芸術系大学の教員等が障害者支援施設等を訪問し、造形活動の指導を行う出前講座の実施
- ・あいちアール・ブリュット展の三河地域でのサテライト開催の実施



ロゴマーク

### ◆障害者の芸術活動を支援する人材の育成

障害のある人の創作・表現活動を支援する人材を育成します。

- ・障害のある人の芸術文化活動をサポートする人への相談支援
- ・著作権や支援方法に関する研修会の開催等



磯崎亮「金シャチ」



AICHI ART BRUT  
あいちアール・ブリュットとは  
愛知県内の障害のある人の芸術・文化活動を通じて、障害のある人の社会参加を促進し、それにより社会全体の障害への理解が深まることで、障害の有無をこえた交流が広がることを目指す活動です。

# 愛知から障害者スポーツを盛り上げます

予算額 20,417千円

スポーツ局競技・施設課  
障害者スポーツグループ  
内線 3398・2287  
(ダイヤル)052-954-7472

愛知から障害者スポーツを盛り上げ、スポーツを活かした共生社会をリードしていくため、有識者や関係団体等の意見を踏まえた取組を進めるとともに、アジアパラ競技大会の開催機運醸成を図ります。

## 【土台づくり】

- あいち障害者スポーツ連絡協議会の開催  
県、パラアスリート、スポーツ団体、経済団体、医療関係者等による連携体制を構築

## 【普及啓発】

- ポータルサイト「aispo!Do!」の運営  
スポーツ大会やイベントの情報、スポーツ施設のバリアフリー情報などを広く発信・共有

## 【交流促進】

- 地域で障害者も参加できるスポーツプログラムの実施  
総合型地域スポーツクラブを活用して健常者と障害者の交流を促進
- 体験・交流イベント「あいちパラスポPARK」の開催  
誰もがスポーツを通じて交流を深められるイベントを開催

## 【機会創出】

- 地域や医療機関でのスポーツ体験機会の創出  
ボッチャ等の競技用具を総合型地域スポーツクラブやリハビリ施設等へ貸出

## 【人材育成】

- スポーツ指導者への障害者スポーツ勉強会・体験会の実施  
地域における障害者スポーツ推進のキーパーソンを育成
- あいちパラスポーツサポーターの育成  
障害者スポーツを理解し応援するサポーターを育成し認定
- 若手指導者の確保  
障害者スポーツ指導員の資格を取得予定の学生を対象に事例発表会や指導体験会等を実施
- 指導者のリ・スタート支援  
活動を再開しようとする障害者スポーツ指導員を対象に学びなおしの場としてセミナー等を実施

# MDアンダーソンがんセンターとの連携を推進します

予算額 68,610千円（新規）

病院事業庁管理課  
総務グループ  
内線 5153・5155  
(ダイヤル) 052-954-6306

愛知県がんセンターが引き続き日本をリードし、世界に発信できる医療・研究を推進していくため、MDアンダーソンがんセンターと愛知県がんセンターのパートナーシップの形成に向けて、「共同研究」、「人材交流」、「シンポジウム」を実施します。

## 1 共同研究の実施

MDアンダーソンがんセンターとの連携を推進するため、愛知県がんセンターとの共同研究を実施します。（期間：3年間、件数：3件）

## 2 人材交流の推進

世界最先端のがん医療と、高度な医療を効率よく提供する画期的なチーム医療を学ぶため、愛知県がんセンターからMDアンダーソンがんセンターに医師等の医療従事者を派遣します。（3か月ごとに2名派遣）

## 3 シンポジウムの開催

MDアンダーソンがんセンターの研究者を愛知県に招へいし、シンポジウムを開催します。（がんセンター60周年記念事業の一環として開催）

### <参考>

MDアンダーソンがんセンター概要

米国テキサス州ヒューストンを拠点とする、テキサス大学傘下のがん医療・臨床拠点であり、世界最大規模の総合がんセンター。

米国 U.S. News & World Report 誌において、毎年のようにがん医療機関として全米第1位にランキングされている。



# 将来のがんセンターの整備に向けた基本計画を策定します

予算額 269,090千円

保健医療局健康医務部健康対策課  
新がんセンター整備グループ  
内線 5102・5103  
(ダイヤルイン)052-954-7540

本県のがん対策の中枢を担うがんセンターが、今後も日本のがん医療・がん研究を牽引し続けていくため、将来のがんセンターの整備に向けた基本計画を策定します。

## ○ 新がんセンター基本計画策定費

- ・ 基本構想調査を踏まえた基本計画の策定

敷地の現況、周辺環境等の整理

敷地や施設に関する関係法令を含む各種法的規制の整理

建物構成や機能、構造、設備等に関する計画の策定 等

- ・ P F I の導入可能性調査

P F I の導入可能性について詳細調査を実施

### 愛知県がんセンターの沿革

1964年12月 名古屋市千種区に愛知県がんセンター  
(病院・研究所)を開設 病床数 333床  
1969年3月 増床 病床数 333床→355床  
1992年5月 改築 病床数 500床

### <現 愛知県がんセンター>



# 保護した犬・猫の譲渡を推進する施設の検討・調査を行います

予算額 3,598千円（新規）

保健医療局生活衛生部生活衛生課 獣医衛生・動物愛護グループ 内線 3299・3257 (ダイヤル)052-954-6298
--

動物愛護を推進するため、保護した犬・猫の譲渡を推進する施設の検討・調査を行います。

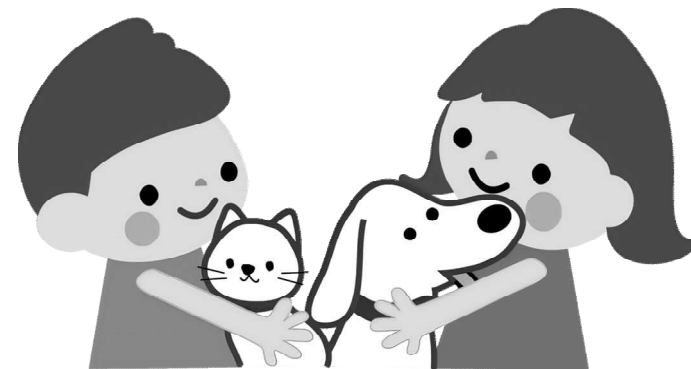
## ○ 動物愛護センター譲渡推進施設検討調査費

- ・動物愛護行政の現状分析、先進事例の調査分析
- ・他自治体が設置・運営している譲渡推進施設の現地視察

### <愛知県動物愛護センターの概要>

人と動物が共生できるより良い社会の実現を目指し、動物愛護に関する事業及び動物による危害の防止に関する事業を実施。

	所在地
本所	豊田市穂積町
尾張支所	一宮市浅井町
知多支所	半田市乙川末広町
東三河支所	豊橋市神野新田町



# 自殺・ひきこもり対策を推進します

予算額 242,203千円

保健医療局健康医務部  
医務課こころの健康推進室  
こころの健康推進グループ  
内線 3246・3247  
(ダイヤル)052-954-6621

社会問題化している自殺やひきこもりなど、「心の健康」の問題に適切に対応するため、市町村を始め、関係機関や民間団体と連携し、「第4期愛知県自殺対策推進計画」に基づく自殺対策やひきこもり対策を推進します。

## ○ 自殺・ひきこもりなど心の健康問題への積極的な取組

- ・「あいちこころほっとライン365」による電話相談
- ・SNS（LINE等）による相談
- ・専門医等によるメンタルヘルス相談
- ・自殺予防のゲートキーパーの養成
- ・自殺予防週間における自殺予防街頭啓発キャンペーンの実施
- ・「ひきこもり相談専用電話」による相談

## ○ 地域における更なる自殺・ひきこもり対策の強化の推進

- ・市町村が行う自殺対策事業（人材養成、普及啓発、相談等）に対する補助
- ・「ひきこもり市町村支援員」等による市町村のひきこもり対策への支援



<厚生労働省 自殺対策の標語及びロゴマーク>



# デジタル人材の育成を推進します

予算額 2,915,761千円

労働局産業人材育成課  
人材育成グループ  
内線 3576・3440  
(ダイヤル)052-954-6365

急速に進展する社会全体のデジタル化に対応するため、デジタル技術を活用できる人材の育成支援に取り組みます。

## 1 デジタル人材育成推進事業費

44,015千円

- ・中小企業が抱える人材育成に関する課題に対して、助言・指導を行うための専門家を派遣
- ・中小企業のニーズに応じた人材育成研修カリキュラムを作成し、研修の実施から終了までの伴走支援を実施
- ・現場のリーダー、一般社員など階層別に人材育成研修を実施
  - 一般社員向けに生成AIを活用できる知識・スキルを習得する研修を実施（新規）
- ・ロボット製作とプログラミングによる制御を競い合う小中学生向け競技大会の開催



## 2 在職者訓練費

15,951千円

IoT等のデジタル活用分野の短期間の職業訓練を実施

- ・訓練規模：全162コース、1,600人のうち、デジタル活用分野84コース、850人

## 3 雇用セーフティネット対策訓練費

1,545,536千円

離職者等を対象に、プログラミング等のデジタル活用分野などの職業訓練を実施

- ・訓練規模：全275コース、4,893人のうち、デジタル活用分野166コース、3,198人



## 4 就職氷河期世代デジタル人材育成事業費

36,596千円

基礎レベル以上のITスキルを有する就職氷河期世代の求職者を対象に、デジタル技術等の習得研修と職場実習を組み合わせた雇用型訓練を実施

## 5 岡崎高等技術専門校整備費

1,273,663千円

岡崎高等技術専門校を三河地域のモノづくり人材育成の拠点とし、2025年4月からのロボットシステム科（仮称）などのデジタル技術に対応した訓練開始に向け、引き続き建替工事を実施

### 【岡崎高等技術専門校の整備概要】

- ・所在地：岡崎市美合町
- ・建設規模：鉄骨造2階建・2棟 7,847㎡
- ・工事期間：2020～2024年度
- ・訓練規模：4科130人⇒整備後8科290人
- ・新設訓練科：
  - 2022年4月～ 3Dモデリング科
  - 2025年4月～ ロボットシステム科(仮称)

# 技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催と 技能五輪国際大会の本県招致に向けた取組を推進します

予算額 348,516千円

労働局産業人材育成課  
技能五輪・アビリンピック推進室  
全国大会グループ  
内線 3427・3586  
(ダイヤル)052-954-6972



あいち人財力強化プロジェクト  
イメージキャラクター「アイチータ」

2023年度から本県で3年連続となる2024年度・2025年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催及び開催準備を進めるとともに、2028年技能五輪国際大会の日本・愛知への招致に向けた取組を推進します。

## 1 技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催等

愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）を主要会場として、2024年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックを開催するとともに、2024年度大会・2025年度大会（10月開催予定）に向けた選手の育成・強化、広報等を実施します。

### 【2024年度大会の概要】

大会名	第62回技能五輪全国大会	第44回全国アビリンピック
開催日程	2024年11月22日(金) ～11月25日(月)	2024年11月22日(金) ～11月24日(日)
式典会場	愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)	
競技会場	愛知県国際展示場他	愛知県国際展示場
競技職種等	機械組立て等41職種(予定)	洋裁、家具等25種目(予定)
参加選手数	約1,100人(予定)	約400人(予定)
主催	厚生労働省、愛知県、 厚生労働省委託機関	(独)高齢・障害・求職者 雇用支援機構、愛知県

## 2 技能五輪国際大会の招致に向けた取組

2028年技能五輪国際大会の招致に向け、WSI（※）加盟国への働きかけや招致決定に向けたWSI総会でのプレゼンテーション、県内の招致機運の盛り上げのための啓発イベント等でのPRを実施します。

### 【これまでの動きと今後のスケジュール（想定）】

年度	主なスケジュール
2023	国として立候補を表明（11月） WSI事務局による検証訪問（現地調査）（3月）
2024	WSI総会（フランス・リヨン）で開催地決定（9月）

※WSI（ワールドスキルズ・インターナショナル）：技能五輪国際大会の運営組織

# 中小企業の人材確保を支援します

予算額 222,518千円

とりまとめ  
労働局就業促進課  
業務・調整グループ  
内線 3431・3432  
(ダイヤル)052-954-6363

経済社会活動の回復に伴い、中小企業の人手不足感が高まっているため、若者、高齢者、外国人、障害者など多様な人材の確保に向けた取組を推進します。

## ○中小企業人材確保支援事業費 83,213千円

- ・従業員の奨学金返還を支援する中小企業等に対し、奨学金返還のための手当又は代理返還した額の一部を補助※（新規）  
（※補助率 1/2 以内、対象従業員 1 人あたり上限 20 万円/年、採用年度から最大 3 年間まで）
- ・人手不足が顕著な業種の中小企業等を対象に、業界・自社の魅力を洗い出し、求職者の入社動機を高めるための採用支援セミナーの開催
- ・本格的な就活を始める前の学生等を対象に、人手不足業界・企業の魅力を伝えるオンライン交流会の開催
- ・学生や離転職者等と人手不足業界・企業とのマッチングを支援する 1 日職場体験や合同企業説明会の開催

## ○若年者雇用促進対策費 41,454千円

- ・あいち若者職業支援センター（ヤング・ジョブ・あいち）の運営
- ・中小企業経営者と学生との交流会の開催
- ・県外大学との間で締結した協定に基づく就職支援

## ○中高年齢者雇用促進対策費 4,060千円

- ・企業向け高齢者雇用セミナーの開催（新規）
- ・高齢者向け合同企業説明会の開催（新規）
- ・中高年齢者向け再就職支援セミナーの開催

## ○外国人雇用促進事業費 16,838千円

- ・企業及び定住外国人向け相談窓口の設置
- ・定住外国人の雇用を希望する企業への伴走型支援の実施
- ・企業向けセミナー及び個別相談会の開催（新規）

## ○障害者就労支援事業費 30,153千円

- ・あいち障害者雇用総合サポートデスクの運営

## ○中小企業応援障害者雇用奨励金 46,800千円

- ・過去 3 年間に障害者の雇用実績がなく常時雇用する労働者 300 人以下の企業に 1 事業主あたり最大 60 万円を支給

# 従業員の奨学金返還を支援する中小企業を応援します

予算額 65,069千円（新規）

労働局就業促進課  
若年者雇用対策グループ  
内線 3435・3434  
(ダイヤル)052-954-6366

県内中小企業等の人材確保を図るため、従業員の奨学金返還を支援する中小企業等を対象とした補助制度を創設します。

## 【事業内容】

- ・従業員の奨学金返還を支援する中小企業等に対し、奨学金返還費用の一部を補助
- ・専用 Web サイト等により、学生や求職者に対して、奨学金返還支援制度を導入している中小企業等の情報を発信

## 【補助制度の概要】

### ○補助対象

以下の要件を満たす法人<sup>※1</sup>又は個人事業主であって、県に登録した県内中小企業等

- ・県内に本社又は主たる事業所を有し、雇用保険の適用事業所であること
- ・常時雇用する従業員数が300人以下であること
- ・従業員<sup>※2</sup>への奨学金返還支援制度を整備し、奨学金返還のための支援をしていること 等

※1 会社、NPO法人、社会福祉法人、医療法人、学校法人、一般社団法人、組合等

※2 対象企業に2024年4月以降に雇用された従業員で、正社員（試用期間含む）として県内事業所に勤務しており、  
（独）日本学生支援機構等の貸与型奨学金を返還中又は返還予定の者 等

### ○補助内容

- ・企業等が従業員に支給した奨学金返還のための手当又は代理返還した額の1/2以内を補助
- ・対象従業員1人当たり上限20万円/年、採用年度から最大3年間までを補助



# 「女性が元気に働き続けられる愛知」を目指し 女性の活躍促進に取り組みます

予算額 1,318,227千円

とりまとめ  
県民文化局男女共同参画推進課  
女性の活躍促進グループ  
内線 2495・2544  
(ダイヤル)052-954-6657

<b>女性の活躍に向けた気運の醸成</b> 173,791千円	<b>保育サービスの一層の充実</b> 19,977千円	<b>女性の人材育成強化及び職域の拡大</b> 4,964千円
◎女性の活躍促進サミット等の開催 3,926千円 ・企業経営者等の意識改革を図るためのサミットの開催、あいち女性輝きカンパニー優良企業表彰、あいち女性の活躍促進会議の開催 ◎女性の活躍プロモーションリーダーと連携した中小企業の取組促進 5,898千円 ・県施策活用の働きかけ、研修や情報交換会の開催等 ◎女性の活躍に取り組む企業の応援 1,488千円 ・あいち女性輝きカンパニーの認証等 ◎中小企業における女性活躍の推進 5,850千円 ・女性の採用に特化した取組ガイドの作成 ・市町村との連携事業として意見交換会の開催、地域版企業紹介冊子の作成、セミナー及び相談会の開催 ◎女性の活躍企業の魅力発信 1,150千円 ・女性が輝く愛知の魅力を若い女性に向けて発信 ◎女性の活躍実態の調査(新規) 7,472千円 ・企業・県民アンケートによる調査の実施 ◎あいち国際女性映画祭の開催 12,703千円 <b>【総務局関係】</b> ◎愛知の住みやすさの発信 12,661千円 ・若年層向けマンガ形式の動画を広告配信、東京圏の若年層に向けた魅力発信等 <b>【経済産業局関係】</b> ◎あいち・ウーマノミクス研究会の開催 92千円 ・女性の雇用促進に向けた研究会の開催等 ◎東三河フェムテック産業の推進(新規) 17,975千円 ・東三河地域におけるフェムテック商品の開発を促進 <b>【労働局関係】</b> ◎首都圏等からのUIJターン促進 104,576千円 ・東京と名古屋の支援センターにおいて、県内企業の魅力発信や相談窓口での就労支援を実施 ・移住支援金を支給する市町村への補助	<b>【福祉局関係】</b> ◎病児・病後児保育の整備促進 19,977千円 ・病児保育施設の整備費の助成 <b>ワーク・ライフ・バランスの推進</b> 1,051,340千円 <b>【福祉局関係】</b> ◎男性の育児参加促進 743千円 ・子育てハンドブック「お父さんダイスキ」アプリの配信 <b>【労働局関係】</b> ◎仕事と生活の両立支援の促進 7,454千円 ・ライフステージに応じて、多様で柔軟な働き方を選択することができるよう、ワーク・ライフ・バランス推進運動等を実施 ◎男性育児休業の取得促進 956,631千円 ・男性が育児休業を取得しやすい環境を整備するため、中小企業への奨励金の支給や普及啓発を実施 ◎テレワーク導入・定着支援 39,928千円 ・あいちテレワークサポートセンターを運営し、中小企業等へのアドバイザーの派遣等により、テレワークの導入・定着を支援 ◎働き方改革の支援 46,584千円 ・働きやすい職場環境の整備等に関するサポートセミナー等の開催、休み方改革マイスター企業の認定等	◎女性管理職養成セミナー等の開催 1,434千円 ◎市町村女性職員を対象とした、女性の活躍に係る意識啓発セミナーの開催 107千円 <b>【農業水産局関係】</b> ◎女性農業者の政策や方針決定の場への参画支援 3,423千円 ・人材育成セミナーや農政懇談会の開催等 <b>女性のキャリア形成のための環境整備</b> 934千円 ◎女性活躍のための環境支援セミナー等の開催 284千円 <b>【人事局関係】</b> ◎県庁における職員の意識改革 650千円 ・育児支援・キャリアガイダンス等の開催 <b>進路選択の支援</b> 15,325千円 ◎キャリアプラン早期育成による進路・職業選択支援 4,745千円 ・性別役割分担意識にとらわれないキャリアプラン形成のための、中高生等を対象とした出前講座の開催等 ◎女子大学生への女性活躍推進企業のPR 6,989千円 ・就職イベントを通じた「あいち女性輝きカンパニー」のPR等による県内大学へのアプローチを強化、女子大学生との交流会の開催等 <b>【教育委員会関係】</b> ◎男女共同参画を推進する高校生の育成 3,591千円 ・あいち高等学校男女共同参画海外派遣の実施
<b>女性の再就職及び起業の支援</b> 51,896千円 <b>【保健医療局・労働局関係】</b> ◎女性の再就職支援 44,748千円 ・ナースセンターの名駅支所の運営 ・あいち子育て女性再就職サポートセンターの運営等 <b>【経済産業局関係】</b> ◎女性起業家の育成・促進 7,148千円 ・女性の起業及び女性起業家の事業拡大に対する支援等	<b>その他の主な事業</b> ・民間保育所の整備費・経費補助等 32,191,412千円 ・保育人材確保推進事業費(新規) 9,349千円 ・放課後児童クラブの運営費補助等 4,811,340千円 ・病院内保育所の運営費補助 341,160千円 ・キャリア教育推進事業費 39,969千円	



# 女性の活躍促進に向けた取組を積極的に推進します

予算額 52,046千円

県民文化局男女共同参画推進課  
女性の活躍促進グループ  
内線 2495・2544  
(ダイヤル)052-954-6657

働く場における女性の「定着」と「活躍」の拡大に向けた取組を進めます。

<p><b>女性の活躍促進事業費</b> 5,751千円 女性の活躍に向けた気運の醸成や人材の育成を実施</p>	<p><b>女性の活躍企業取組支援事業費</b> 13,236千円 企業の積極的な取組を支援</p>	<p><b>女性の活躍魅力向上推進事業費</b> 12,884千円 女性の活躍を推進する「あいち」の魅力向上に資する事業の実施</p>
<p>1 あいち女性の活躍促進会議の開催 290千円</p> <p>2 女性の活躍促進サミット2024の開催 3,636千円</p> <p>3 働く女性の環境支援 1,718千円 (1) 働く女性のキャリアアップセミナー等の開催 (2) 女性活躍のための環境支援セミナーの開催</p> <p>4 市町村女性職員を対象とした、女性の活躍に係る意識啓発セミナーの開催 107千円</p>	<p>1 女性の活躍プロモーションリーダーと連携した中小企業の取組促進 5,898千円</p> <p>2 女性の活躍に取り組む企業の応援 1,488千円 (1) 「あいち女性輝きカンパニー」の認証 (2) コーディネーターによる企業の取組支援</p> <p>3 中小企業における女性活躍の推進 5,850千円 (1) 市町村との連携事業として意見交換会の実施、冊子の作成、セミナー及び相談会の開催 (2) 女性の採用に特化した取組ガイドの作成</p>	<p>1 女性の活躍企業の魅力発信 8,139千円 (1) 県内企業の魅力やロールモデル等女性が輝く愛知の魅力を県内外の若い女性に向けて発信 (2) 就職イベントを通じた「あいち女性輝きカンパニー」のPR等による県内大学へのアプローチを強化、女子大学生との交流会の開催等</p> <p>2 キャリアプラン早期育成による進路・職業選択支援 4,745千円 性別役割分担意識にとらわれないキャリアプラン形成のための、中高生等を対象とした出前講座の開催等</p>
	<p><b>女性の活躍実態の調査（新規）</b> 7,472千円 県内企業の女性活躍の現状や男女共同参画に関する県民意識を調査</p>	<p><b>あいち国際女性映画祭の開催</b> 12,703千円 女性監督による作品、女性に注目した作品を集めた、国内唯一の国際女性映画の開催、アンバサダーの委嘱によるPR強化</p>

# 人権が尊重される社会づくりに向けた取組を推進します

予算額 19,904千円

県民文化局人権推進課  
人権推進グループ  
内線 2405・2533  
(ダイヤル)052-954-6167

あいち人権センターを拠点に愛知県人権尊重の社会づくり条例及び2024年度から施行する人権施策に関する基本計画に基づく施策を総合的かつ計画的に推進することで、あらゆる人権課題の解消を図るとともに、全ての人の人権が尊重される社会の実現を目指します。

- **愛知県人権施策推進審議会の開催**
  - ・人権施策の推進に関する重要事項についての調査、審議の実施
- **条例及び基本計画の普及啓発**
  - ・人権課題をテーマとした講演会及びタウンミーティングの実施
  - ・ファミリーシップ制度に関する啓発資材の制作、配布
- **人権相談事業の実施**
  - ・人権相談員による一般相談の実施
  - ・弁護士による人権問題法律相談の実施
  - ・専門機関による性的少数者電話相談の実施
- **インターネットモニタリングの実施**
  - ・インターネット上の誹謗中傷等の情報収集
  - ・被害者の求めに応じた削除申請方法等の助言・支援



2023年度人権啓発ポスター

# 就職氷河期世代の就職・社会参加を支援します

予算額 440,522千円

とりまとめ  
労働局就業促進課  
若年者雇用対策グループ  
内線 3435・3436  
(ダイヤル)052-954-6366

就職氷河期世代（2024年4月時点で概ね38歳から53歳の方）で不安定な就労を余儀なくされている方やひきこもり状態の方等に対して、官民で設置する「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」で策定した事業実施計画に基づく以下の取組により、就職・正社員化、職場定着及び社会参加を支援します。

<b>就業支援</b> 103,711千円	<b>ひきこもり状態の方への支援</b> 4,472千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>○就職氷河期世代就職支援事業費 77,159千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアコンサルティングによる適性の把握及び分析</li> <li>・求職者のニーズに応じた個別研修、紹介予定派遣制度を活用した職場実習を実施</li> </ul> </li> <li>○地域若者職業的自立支援事業費 5,280千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域若者サポートステーションにおける心理カウンセリングの実施</li> <li>・各機関の取組の情報共有、支援方法・連携方法を学ぶワークショップを実施(新規)</li> </ul> </li> <li>○若者職業支援センター事業費 21,272千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヤング・ジョブ・あいち」において、職業紹介やキャリアコンサルタント・臨床心理士等による個別相談の実施</li> </ul> </li> </ul>	<p>【保健医療局関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ひきこもり対策事業費               <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種専門チームによる支援検討会議の開催</li> <li>・市町村のひきこもり支援担当者等の研修・指導者養成</li> <li>・ひきこもりに関する専門相談の実施</li> <li>・ひきこもり支援サポーターの養成及び市町村等への派遣</li> <li>・ひきこもりピアサポート事業の実施</li> </ul> </li> </ul>
<b>職業訓練・リカレント教育</b> 227,834千円	<b>生活困窮者への支援</b> 100,241千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>○就職氷河期世代デジタル人材育成事業費 36,596千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎レベル以上のITスキルを有する者を対象に、デジタル技術等の習得研修と、職場実習を組み合わせた雇用型訓練を実施</li> </ul> </li> <li>○職業訓練の実施 190,439千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用セーフティネット対策訓練の中で、座学訓練、企業実習及びキャリアコンサルティングを組み合わせた職業訓練を実施</li> </ul> </li> </ul> <p>【教育委員会関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○リカレントフォーラム開催費 799千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の意欲・能力を活かして活躍できる環境の整備を進めるため、大学等高等教育機関関係者、市町村職員、一般県民等を対象にリカレント教育について理解を深めるためのフォーラムを開催</li> </ul> </li> </ul>	<p>【福祉局関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活困窮者自立支援事業費               <ul style="list-style-type: none"> <li>・県福祉事務所に生活困窮者相談支援員及びアウトリーチ支援員を配置</li> <li>・就労が困難な生活困窮者に対する就労に向けた支援</li> <li>・家計に様々な課題を抱える生活困窮者に対する家計管理能力の改善に向けた支援</li> </ul> </li> </ul>
<b>職場への定着支援</b> 4,264千円	<b>県職員としての採用</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○若者職場定着経営者支援事業費               <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業等にアドバイザーを派遣し、事例集を作成(新規)</li> <li>・経営者の若者職場定着に対する意識改革を推進するセミナーを開催</li> </ul> </li> </ul>	<p>【人事局・人事委員会関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県職員としての採用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職氷河期世代を対象とした職員採用候補者試験を実施</li> </ul> </li> </ul> <p>【参考：2023年度実施試験の受験資格】 採用年度の4月1日現在の年齢が「36歳から53歳まで」の者</p>

# 中国・広東省との友好交流を推進します

予算額 18,872千円（新規）

政策企画局国際課  
渉外・交流グループ  
内線 2445・2547  
(ダイヤル)052-954-6181

友好提携5周年記念事業により、広東省との更なる交流を推進します。

## 1 広東省への使節団の派遣

- ・時 期：2024年10月（予定）
- ・場 所：広州市内
- ・内 容：記念行事への参加、省高官との会談等

## 2 広東省使節団の本県への受入

- ・時 期：2024年11月（予定）
- ・内 容：記念行事の開催、県内施設の視察等



友好提携締結式（2019年5月）

### 【本県と広東省との友好提携】

- ・締結日時：2019年5月16日
- ・概 要：相互友情を深め、さらに両県省の実務的な協力を発展し、友好県省関係を締結  
また、相互理解、信頼と平等互惠の原則に基づき、経済貿易、先端製造、科学技術イノベーション、  
環境保護、文化観光、教育などの各分野での交流と協力を推進することに同意



愛知県多文化共生シンボルマーク

# 多文化共生社会の形成による 豊かで活力ある地域づくりに取り組みます

予算額 4,714,228千円

と り ま と め  
県民文化局県民生活部  
社会活動推進課多文化共生推進室  
多文化共生推進グループ  
内、線 2396・2398  
(ダイヤル)052-954-6138

外国人材や子ども等の 日本語学習・日本語教育の充実	外国人材等の生活環境の整備	外国人材等の労働環境の整備
<p>4,231,862千円</p> <p>◎あいち地域日本語教育推進センターの運営 15,311千円</p> <p>◎地域における日本語教育の推進 25,578千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初期日本語教室のモデル実施 「初期日本語教室」のモデル実施について、3市町村で実施、地域日本語教育を担う人材育成のため、講座を実施するとともに、人材を育成するためのカリキュラムを検討</li> <li>・オンライン日本語教室の実施 日本語教室に通うことができない外国人県民を対象としたオンライン教室を実施</li> </ul> <p>◎愛知県地域日本語教育推進補助金 30,999千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教育関連事業を実施する市町村等への助成</li> </ul> <p>◎NPO等が実施する日本語教室への補助 8,985千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村域を越えて日本語教室に通う外国人児童生徒の送迎等にかかる費用の補助</li> </ul> <p>【教育委員会関係】</p> <p>◎小中学校への日本語教育適応学級 担当教員の配置 3,893,219千円</p> <p>◎小中学校への学語相談員の派遣 46,869千円</p> <p>◎県立学校への教育支援員の配置 59,516千円</p> <p>◎県立学校への通訳機の導入 1,671千円</p> <p>◎若者・外国人未来塾の実施 17,131千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校卒業程度認定試験合格等に向けた学習支援を実施</li> </ul> <p>◎就労アドバイザーの設置 9,269千円</p> <p>◎日本語初期指導教室やプレスクール等を実施する市町村への補助 123,314千円</p>	<p>199,884千円</p> <p>◎多文化共生情報の発信 4,723千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化共生推進室のウェブサイトにて、外国人県民が日常生活で必要とする情報を分かりやすく掲載するなど、内容を充実</li> </ul> <p>◎多文化共生フォーラムあいちの開催 551千円</p> <p>◎多文化共生関係会議等の開催 295千円</p> <p>◎愛知県災害多言語支援センターの運用・ 体制強化 1,452千円</p> <p>◎あいち医療通訳システムの運営 3,468千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関等に対して通訳派遣や電話通訳等を行う「あいち医療通訳システム」の運営費の負担</li> </ul> <p>◎ウクライナ避難民生活支援事業費 9,044千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウクライナ避難民が安心して生活できるよう、生活一時金の支給等により支援</li> </ul> <p>◎愛知県国際交流協会運営費補助金 180,351千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいち多文化共生センターによる外国人相談窓口の運営等</li> </ul> <p>【経済産業局関係】</p> <p>◎スタートアップ企業への支援 1,025千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内で創業する外国人を支援するため、創業活動計画の確認及び進捗状況の確認</li> </ul> <p>◎あいち外国人起業&amp;経営支援センターの運営 4,846千円</p> <p>【労働局関係】</p> <p>◎外国人雇用促進事業 16,838千円</p> <p>◎介護分野の就職支援訓練の実施 59,003千円</p>	<p>282,482千円</p> <p>◎外国人労働者に関する憲章の普及促進 52千円</p> <p>【政策企画局関係】</p> <p>◎留学生地域定着・活躍促進事業費 38,558千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生が県内企業へ就職するための取組等</li> </ul> <p>◎愛知の産業グローバル化を支える留学生受入事業費補助金 33,620千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受入れ及び卒業後の就職促進</li> </ul> <p>【福祉局関係】</p> <p>◎介護福祉士候補者受入施設への支援 37,670千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済連携協定により入国した候補者への学習等の助成</li> </ul> <p>◎介護人材技能向上研修事業費補助金 3,000千円</p> <p>◎介護留学生への学習支援 7,093千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士養成施設が留学生に対しカリキュラムとは別に行う補講等への助成</li> </ul> <p>◎介護留学生への奨学金支給 34,250千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護施設が支払う又は貸し付ける、外国人留学生への奨学金に対して助成</li> </ul> <p>◎外国人介護人材受入セミナーの実施 3,302千円</p> <p>◎外国人介護人材受入施設等環境整備 支援事業費補助金 21,200千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入介護事業者が実施する日本語や介護技術の学習等に必要経費を助成</li> </ul> <p>◎外国人介護人材受入促進事業費補助金(新規) 22,025千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人介護人材のための環境整備費用や、海外現地で外国人介護人材確保の取組に必要な経費を助成</li> </ul>

# 外国人児童生徒等への学習・就労支援を充実します

予算額 4,150,989千円

とりまとめ  
教育委員会義務教育課  
教科指導・人権教育グループ 内線 3915・3939  
(ダイヤルイン)052-954-6799

本県は、日本語指導が必要な外国人児童生徒数が全国で最も多く、かつ今後も増加することが予想されることから、日本語指導が必要な外国人児童生徒等への学習・就労支援を充実します。

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>1 語学相談員の派遣</b> <span style="float: right;"><b>46,869千円</b></span><br/>外国人生徒等の在籍する小中学校へ語学相談員を派遣し、語学指導の補助や母語による生活適応相談などの支援を行います。<br/>配置人数 ポルトガル語 4人 スペイン語 3人<br/>フィリピン語 4人</p> | <p><b>5 就労アドバイザーの配置</b> <span style="float: right;"><b>9,269千円</b></span><br/>定時制高校の外国人生徒等の正規雇用の就労先を開拓（企業訪問等）する「就労アドバイザー」を配置します。<br/>配置人数 3人</p>  |
| <p><b>2 日本語教育活動に対する支援</b> <span style="float: right;"><b>123,314千円</b></span><br/>市町村による「日本語初期指導教室」や「プレスクール」の運営、多言語翻訳機等のICT機器を活用した教育に対して補助を行います。<br/>対象 18市</p>                    | <p><b>6 若者・外国人未来塾の実施</b> <span style="float: right;"><b>17,131千円</b></span><br/>高校中退者や日本語に不慣れな者等、社会的困難を抱えた若者や外国人を対象に、国設置の「地域若者サポートステーション」を始めとする関係機関等と連携し、就学や就労に向けた自立支援を行います。<br/>学習支援 9地域 日本語学習支援 6地域</p> |
| <p><b>3 外国人生徒等教育支援員の配置</b> <span style="float: right;"><b>59,516千円</b></span><br/>日本語によるコミュニケーション能力が十分に身に付いていない外国人生徒等の学校生活をサポートする教育支援員を県立学校へ配置します。</p>                             | <p><b>7 日本語教育適応学級担当教員の配置拡大</b> <span style="float: right;"><b>3,893,219千円</b></span><br/>小中学校に在籍する日本語指導が必要な外国人生徒等の学習支援を行うため、在籍人数に応じて日本語教育適応学級担当教員を17人増員します。<br/>配置人数 579人（拡大）</p>                         |
| <p><b>4 小型通訳機の配備</b> <span style="float: right;"><b>1,671千円</b></span><br/>外国人生徒等が多く在籍する県立学校に対する多言語対応の小型通訳機を配備します。<br/>高等学校 38校 特別支援学校 13校</p>                                     |   |

# 多文化共生社会づくりに向けた取組を積極的に推進します

予算額 280,809千円

県民文化局 県民生活部  
社会活動推進課 多文化共生推進室  
多文化共生推進グループ  
内線 2396・2398  
(ダイヤル)052-954-6138

外国人県民の永住化・定住化の進展に対応するため、地域における日本語教育の総合的な体制づくりなど、多文化共生社会づくりを推進します。

## 外国人県民日本語教育推進事業費 80,675千円

### ○あいち地域日本語教育推進センターの運営

コーディネーターによる日本語教室への指導・助言等、関係機関と連携しながら地域日本語教育を総合的・体系的に推進

「総括コーディネーター」については、1名から2名に増員

### ○地域における日本語教育の推進

#### ・地域における初期日本語教室のモデル実施

日本語がほとんどわからない大人の外国人県民を対象にした「初期日本語教室」を3市町村でモデル的に実施

地域日本語教育を担う人材育成のため、講座を実施するとともに、人材を育成するためのカリキュラムを検討

#### ・オンライン日本語教室の実施

日本語教室に通うことができない外国人県民を対象としたオンライン教室を実施

### ○愛知県地域日本語教育推進補助金

日本語教育の総合的な体制づくりのため、「愛知県地域日本語教育推進補助金」により、日本語教育関連事業を実施する市町村等に助成

### ○NPO等が実施する日本語教室への補助

外国人児童生徒の公立学校等への就学を促進するため、市町村域を越えて日本語教室に通う生徒の送迎等にかかる費用の補助を実施

## 多文化共生社会づくり推進費 10,739千円

### ○多文化共生情報の発信

多文化共生推進室のウェブサイトにて、外国人県民が日常生活で必要とする情報を分かりやすく掲載するなど、内容を充実

### ○多文化共生フォーラムあいちの開催

「多文化共生フォーラムあいち」を開催し、県民の多文化共生への理解を促進

### ○愛知県災害多言語支援センターの運用・体制強化

「愛知県災害多言語支援センター」の運営訓練を実施するとともに、市町村の災害時外国人支援体制の整備促進のための実践的な講座を開催

### ○あいち医療通訳システム運営費の負担

医療機関の依頼に応じて通訳派遣や電話通訳等を行う「あいち医療通訳システム」を運営するとともに、県内の大学と連携して医療通訳者を養成

## ウクライナ避難民生活支援事業費 9,044千円

ウクライナ避難民の方々が本県において安心・安全に日常生活を送ることができるよう、生活一時金を支給するほか、タブレット端末の貸与及びプリペイドSIMカードの支給、寄附物品の配送により支援

## 愛知県国際交流協会運営費補助金 180,351千円

あいち多文化共生センターによる外国人相談窓口の運営 等

# 国際芸術祭「あいち2025」の開催準備を進めるとともに 現代美術への関心を地域に広めます

県民文化局文化 部  
文化芸術課国際芸術祭推進室  
調整・広報グループ  
内 線 724-686、692  
(ダイヤル)052-971-3111

予算額 159,998千円

国際芸術祭「あいち 2025」の開催に向けて、現代美術展、パフォーマンスアート公演、ラーニング・プログラム、地元芸術大学や芸術団体との連携事業などの準備を進めるとともに、芸術祭への期待や開催機運を高めるために広報PR活動を行います。

また、現代美術への関心を地域に広めるため、市町村と連携し現代美術展等を開催します。

## 1 開催準備費 139,575千円

- ・ 出品作家選定、展示計画作成、公演内容の決定
- ・ 国内外への広報PR活動
- ・ 地元芸術大学等との連携事業 など

## 2 地域展開事業費 20,423千円

### 【開催場所】

瀬戸市のまちなか

### 【事業概要】

まちなかの文化施設や空き店舗等で、若手芸術家による現代美術展、ワークショップ、音楽プログラムを実施

### 国際芸術祭「あいち 2025」の概要

- 1 芸術監督：フル・アル・カシミ  
(シャルジャ美術財団理事長兼ディレクター、  
国際ビエンナーレ協会 (IBA) 会長)
- 2 会 期：2025年9月13日(土)～11月30日(日)
- 3 会 場：愛知芸術文化センター、愛知県陶磁美術館、  
瀬戸市のまちなか
- 4 主 催：国際芸術祭「あいち」組織委員会  
(会長 大林剛郎 (株式会社大林組取締役会長兼取締役会議長))



国際芸術祭「あいち 2022」展示風景 (一宮市)

バリー・マッギー  
《無題 (つむぎロード)》2022  
© 国際芸術祭「あいち」組織委員会  
撮影：ToLoLo studio



# スポーツ大会を活かした地域振興を推進します

予算額 138,414千円

スポーツ局スポーツ振興課  
企画・広報グループ  
内線 2580・2581  
(ダイヤル)052-954-6247

全国・世界に打ち出せるスポーツ大会を招致・育成し、地域の活性化につなげます。

## 1 あいちスポーツコミッション事業費 83,414千円

地域の関係者と連携したスポーツ大会の招致・育成活動など

### [あいちスポーツコミッション構成団体]

県、市町村、スポーツ関連団体、経済団体、観光関連団体、マスメディア、  
スポーツ大会に関心のある企業・NPOなど

### [主な活動内容]

#### ○スポーツ大会に関する情報収集・発信

大会情報の収集や、フリーマガジン「a i s p o!」・Webサイト・SNSなどを活用した大会情報の発信

#### ○スポーツ大会の招致・育成

「F I A世界ラリー選手権ラリージャパン」や「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」、  
「ラリー三河湾」の開催支援など

#### ○スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

スポーツ大会の盛り上げを通じた地域の魅力発信等による地域活性化の促進

## 2 マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知開催費負担金 55,000千円

世界最大の女子マラソン「名古屋ウィメンズマラソン」や、女子車いすマラソン「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン」などの開催費に対する負担

AICHI-NAGOYA



“Heart” of JAPAN  
-Technology & Tradition

# 『あいち観光戦略 2024-2026』に基づき、 観光振興施策を強力に推進します

予算額 1, 226, 349千円

と り ま と め  
観光コンベンション局観光振興課  
企 画 グ ル ー プ  
内 線 3 3 7 0 ・ 3 3 7 1  
(ダイヤルイン) 052-954-6353

2023 年度中に策定する「あいち観光戦略 2024-2026」に基づき戦略的に観光振興施策を推進します。

地域資源の観光コンテンツ化	33,025 千円	受入環境の整備	170,793 千円
<p>地域資源を観光コンテンツとして磨き上げ、旅行者の満足度・推奨度及び観光消費額単価の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいち「ツウ」リズム推進事業費 8,182 千円</li> <li>・外国人旅行者観光コンテンツ造成支援事業費（新規） 24,843 千円</li> </ul>		<p>誰もが安心して快適に旅行を楽しむことができる観光地づくりを進めるとともに、多様な宿泊ニーズに対応する取組等を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人旅行者受入環境整備促進事業費 5,499 千円</li> <li>・観光施設費等補助金 65,000 千円</li> <li>・高級ホテル立地促進事業費 100,294 千円</li> </ul>	
PR・プロモーション	493,950 千円	観光地経営体制の強化	121,957 千円
<p>観光コンテンツ等に応じて適切なターゲットを設定し、的確かつ効率的に情報を送り届けることにより、確実な誘客に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際博覧会出展参加事業費（新規） 11,778 千円</li> <li>・ジブリパーク周遊観光促進事業費 124,210 千円</li> <li>・武将観光情報発信事業費 78,442 千円</li> <li>・歴史観光推進事業費 44,683 千円</li> <li>・首都圏・関西圏プロモーション推進事業費 27,662 千円</li> <li>・あいちの自然観光フェア開催費 16,870 千円</li> <li>・観光地域活性化支援事業費 28,500 千円</li> <li>・アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進事業費 16,589 千円</li> <li>・アジア観光客誘致促進事業費 16,867 千円</li> <li>・ハート・オブ・ジャパン誘客促進事業費 41,870 千円</li> <li>・外国人旅行者誘致強化事業費 10,410 千円</li> <li>・観光キャンペーン推進事業費負担金 6,984 千円</li> <li>・愛知観光プラットフォーム推進事業費負担金 49,467 千円</li> <li>・あいち山車まつり活性化事業費 4,972 千円</li> <li>・本庁舎開放事業費 6,751 千円</li> <li>・なごやめし普及促進協議会負担金 3,665 千円</li> <li>・フィルムコミッション活動支援事業費 4,230 千円</li> </ul>		<p>観光地経営に携わる団体の連携・協働を推進するとともに、多様な主体を巻き込んだ観光振興に係る取組を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいち観光戦略推進費 13,110 千円</li> <li>・観光需要平準化促進事業費 88,138 千円</li> <li>・観光デジタルマーケティング推進事業費 20,709 千円</li> </ul>	
		MICEの誘致・開催に向けた取組強化	406,624 千円
		<p>市町村や経済界、学術機関等と連携し、MICEの更なる誘致・開催に向けて取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県国際展示場管理運営事業費 123,589 千円</li> <li>・展示会産業振興基金事業費 178,203 千円</li> <li>・AXIA EXPO開催費 25,259 千円</li> <li>・MICE誘致推進事業費 26,773 千円</li> <li>・国際観光都市機能整備調査費 52,800 千円</li> </ul>	

# 訪日外国人旅行者向け体験型コンテンツの造成に取り組みます

観光コンベンション局国際観光コンベンション課  
魅力発信グループ  
内線 3309・3359  
(ダイヤルイン) 052-954-6476

予算額 24,843千円（新規）

県内における訪日外国人旅行者向け体験型コンテンツの選定・磨き上げを行い、販売実現性が高いコンテンツ造成を支援するほか、ターゲットごとに適した販路で販売する仕組みを構築します。

## ○ 旅行会社向け体験型コンテンツ

- ・ 富裕層をターゲットとして、ニーズが高い「本物の体験」、「一生に一度の体験」等を目的としたコンテンツの造成を支援
- ・ 旅行会社等を通じて販売
- ・ 造成数：8コンテンツ程度

## ○ OTA向け体験型コンテンツ

- ・ 個人旅行者をターゲットとして、自由に旅程に組み込むことができる内容と価格設定を意識したコンテンツの造成を支援
- ・ OTA（オンライントラベルエージェント※）掲載による販売  
※インターネット上で取引を行う旅行会社
- ・ 造成数：8コンテンツ程度

# 地産地消の推進やブランド力強化の取組を進め、 県産農林水産物の需要拡大を図ります

とりまとめ  
農業水産局農政部食育消費流通課  
需要拡大・ブランド力強化グループ  
内線 3636・3635  
(ダイヤル)052-954-6434

予算額 63,295千円

愛知県版地産地消の取組である「いいともあいち運動」をSDGsの実現に貢献する取組として推進するとともに、県産農林水産物のイメージアップ・ブランド力強化により、国内外における需要拡大を図ります。

## 1 いいともあいち魅力向上推進事業費 38,102千円

### (1) SDGs 貢献あいち地産地消推進事業

- ・SDGsに貢献する地産地消を動画でPRするデジタルプロモーションの実施
- ・地産地消デジタルスタンプラリーの実施

### (2) あいちの農林水産物イメージアップ事業

- ・県産農林水産物の商談機会の創出や首都圏におけるトッププロモーションの実施
- ・幅広い世代に向けた「フラワーバレンタイン」の推進
- ・若い世代にお茶文化の浸透を図る「愛知県茶会」の開催

### (3) あいちの農林水産物ブランド力強化事業

- ・日本なし「あいみずき」、かんきつ「夕焼け姫」、いちご「愛きらり」等のPR
- ・名古屋コーチンやみかわ牛の消費拡大キャンペーンの実施
- ・水産試験場等が共同開発した、大きくておいしいウナギ「葵うなぎ」のPR



【いいともあいち運動】

- ・消費者と生産者が一体となって本県の農林水産業を支えていこうという取組
- ・愛知県産農林水産物をもっと食べていただきたい（利用していただきたい）という取組

## 2 あいちの農林水産物輸出拡大戦略事業費 25,193千円

- ・プロジェクトチーム会議により産地間連携を強化し、輸出拡大を推進
- ・オンラインツールを活用した販路開拓の支援、アジア最大級の食品展示会への出展支援
- ・畜産農家等関係者が連携して実施する畜産物輸出促進に向けた取組への支援

# 「あいち山村振興ビジョン 2025」に基づき、 三河山間地域の振興を強力に進めます

予算額 12,560,251千円

とりまとめ  
総務局総務部市町村課  
地域振興室山村・離島グループ  
内線 2325・2269  
(ダイヤル)052-954-6097

## 【柱1 安全安心で持続可能な地域社会づくり】 10,353,895千円

- 山間道路緊急整備費 1,051,000千円
- 過疎山村地域代行道路事業費 455,000千円
- 三河山間地域簡易水道施設整備費補助金 39,400千円
- 過疎バス路線維持費補助金 120,097千円
- 山間地域バス運行対策費補助金 65,857千円
- 鳥獣被害防止総合対策事業費補助金 377,569千円
- 山村地域鳥獣被害防止対策事業費補助金 9,351千円
- 土地改良事業費 714,739千円
- 森林整備地域活動支援事業費 5,663千円
- 造林事業費 246,847千円
- あいち森と緑づくり人工林整備事業費 1,567,087千円
- あいち森と緑づくり里山林整備事業費 103,432千円
- へき地教育振興費補助金 1,287千円
- 第3次救急医療施設費補助金（ドクターヘリ運営費） 614,706千円
- 医師派遣推進事業費補助金 562千円
- へき地医療対策費補助金 118,921千円
- 山間市町村振興資金貸付金 60,000千円
- 土砂災害対策事業費 1,441,000千円
- 治山事業費 3,304,517千円
- 浄化槽設置費補助金 29,716千円
- 指定管理鳥獣捕獲等事業推進費 27,144千円

## 【柱2 関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成】 20,154千円

- 山村振興ビジョン推進費  
（持続可能な奥三河創生事業費） 16,714千円
- 三河山間交流居住推進費 2,800千円
- 東三河地域連携教育推進事業費 640千円

## 【柱3 なりわいを育てる】 1,825,414千円

- あいち農業イノベーションプロジェクト推進費 6,754千円
- 中山間地域等直接支払事業費 166,787千円
- 山間地営農等振興事業費補助金 45,000千円
- 木材生産流通強化推進費 12,037千円
- 次世代林業基盤づくり事業費 34,055千円
- あいちのスマート林業推進事業費 5,942千円
- 林業振興資金貸付金 100,000千円
- 林道事業費 1,265,205千円
- あいち森と緑づくり普及啓発事業費 111,639千円
- あいち森と緑づくり推進事務費 2,969千円
- 山村振興ビジョン推進費  
（あいちの山里「くらし」・「ひと」・「しごと」  
を未来へつなぐ事業費） 75,026千円

## 【柱4 地域資源のさらなる磨き上げ】 142,636千円

- あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業費 61,625千円
- 文化財保存修理費補助金 3,900千円
- あいちスポーツコミッション事業費 6,019千円
- 観光施設費等補助金 65,000千円
- 山村振興ビジョン推進費（山村過疎対策費） 6,092千円

## 【柱5 新たなライフスタイルへの対応】 218,152千円

- 森林環境譲与税活用事業費 194,642千円
- 山村振興ビジョン推進費  
（移住促進強化事業費） 23,510千円

# 地震に強い安全・安心なあいちを目指し 地震対策を推進します

とりまとめ  
防災安全局防災部防災危機管理課  
政策・企画グループ  
内線 2508・2509  
(ダイヤルイン)052-954-6191

予算額 72,444,453千円

第3次あいち地震対策  
アクションプラン

## 目標（理念）

地震から  
県民の生命・  
財産を守る  
強靱な県土づくり



あいち防災キャラクター  
防災ナマズン

<p><b>対策の柱1</b> 命を守る 57,315,363千円</p>	<p>対策ターゲット 1-1 地震動から命を守る 1-2 浸水・津波から命を守る 1-3 火災から命を守る 1-4 地盤災害等から命を守る など</p>	<p>主なアクション項目の取組 ・住宅・建築物の耐震化の促進 ・河川・海岸堤防等の耐震化等の推進 ・農業用排水機場の耐震化等の推進 ・緊急輸送道路等の整備の推進</p>
<p><b>対策の柱2</b> 生活を守る 108,004千円</p>	<p>対策ターゲット 2-1 医療・看護機能を守る 2-2 保健・介護機能を守る 2-3 心のケア活動や生活相談対応により生活を守る 2-4 水・食料・物資不足から生活を守る など</p>	<p>主なアクション項目の取組 ・医療施設（災害拠点病院等）の耐震化の支援 ・災害時要配慮者に係る広域支援体制の整備 ・災害時の物流体制の機能強化 ・避難所におけるペット受入れ体制の推進</p>
<p><b>対策の柱3</b> 社会機能を守る 6,682,597千円</p>	<p>対策ターゲット 3-1 行政機能を守る 3-2 治安を守る 3-3 ライフライン機能を守る 3-4 交通・物流・食料供給機能を守る など</p>	<p>主なアクション項目の取組 ・県営水道施設の整備の推進 ・流域下水道施設の耐震化の推進 ・港湾施設の耐震化の推進 ・産業活動の維持のための対策の検討</p>
<p><b>対策の柱4</b> 迅速な復旧・復興を目指す 188,511千円</p>	<p>対策ターゲット 4-1 事前復興、復興方針・体制づくりを進める 4-2 災害廃棄物等の円滑な処理を進める 4-3 住宅の確保、再建を進める 4-4 産業の復興を進める</p>	<p>主なアクション項目の取組 ・地籍整備の促進 ・災害廃棄物処理体制の構築 ・被災住宅の応急修理に係る体制の整備 ・地震保険の加入促進</p>
<p><b>対策の柱5</b> 防災力を高める 8,149,978千円</p>	<p>対策ターゲット 5-1 教育啓発・人材育成により防災力を高める 5-2 物資・設備・空間の充実により防災力を高める 5-3 災害情報の充実により防災力を高める 5-4 仕組み・制度の構築により防災力を高める</p>	<p>主なアクション項目の取組 ・防災協働社会形成の推進 ・愛知県基幹的広域防災拠点の整備 ・広域的な応援体制の充実 ・ゼロメートル地帯の広域防災拠点の整備</p>

# 愛知県基幹的広域防災拠点の整備を推進します

予算額 4,590,693千円  
(外に債務負担行為 21,426,196千円)

防災安全局防災部防災危機管理課  
防災拠点推進室  
内線 5455・2524  
(ダイヤル)052-954-7478

大規模災害時に、全国からの応援人員や物資等を円滑に受け入れ、被災現場や地域の防災拠点に迅速かつ的確に供給する愛知県基幹的広域防災拠点について、敷地造成工事等を進めるとともに、PFI手法により施設整備等に着手します。

## 1 PFI事業の実施

整備・運営等を行うPFI事業者と特定事業契約を締結し、事業着手します。

## 2 用地取得

用地取得完了に向けて引き続き用地交渉等を行います。

## 3 敷地造成・調整池工事等

敷地造成や調整池工事、既設ライフラインの移設及び撤去等を行います。

## 4 埋蔵文化財調査

掘削等を伴う工事を実施する箇所において、埋蔵文化財調査を行います。

### 【整備スケジュール】

項目/年度	2023	2024	2025	2026	2027～
事業手法 (PFI事業)		★ 本契約	設計・建設工事		★ 完成予定 維持管理・運営
	アドバイザー契約		モニタリング支援業務		
用地取得 (関連事業含む)		用地等交渉			
敷地造成・調整池等工事		用地取得箇所から順次工事		※以降もPFI事業と並行して工事	
埋蔵文化財調査		用地取得箇所から順次実施		※以降も文化財保護法に基づき 必要に応じて調査	

### ■拠点の概要

#### 整備場所

県営名古屋空港北西部（豊山町青山地区）

#### 施設規模

約19.2ha

#### 機能

- ・災害時 県全域を対象とした「後方支援機能」
- ・平常時 人材育成、地域活性化・地域の賑わいの創出

# ゼロメートル地帯における広域的な防災活動拠点の整備を進めます

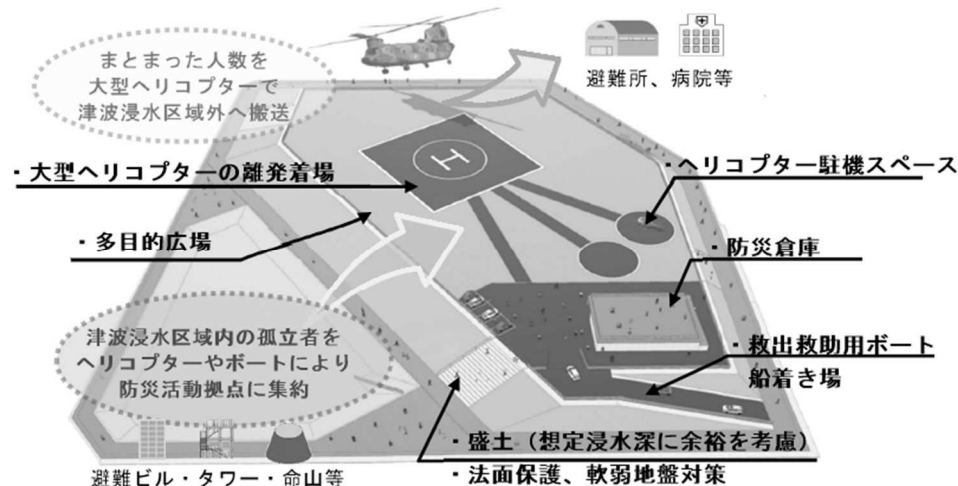
予算額 409,907千円  
 (外に債務負担行為 1,805,103千円)

防災安全局防災部防災危機管理課  
 防災拠点推進室  
 内線 5455・2524  
 (ダイヤル)052-954-7478

大規模災害時に浸水が危惧されるゼロメートル地帯において、円滑な救出救助活動に必要な広域的な防災活動拠点の整備を進めます。

## 1 防災活動拠点の整備

- (1) 木曾三川下流域Ⅱ 海南こどもの国(弥富市)  
 2023年度の実施設計を踏まえ、建築工事を行います。
- (2) 西三河南部地域 西尾市行用町地内ぎょうようちよう  
 2024年度内の供用開始に向け、仕上げ工事を行います。
- (3) 東三河南部地域 国道23号豊川橋料金所跡地(豊橋市)  
 2023年度の基本設計等を踏まえ、実施設計を行います。



## 2 整備スケジュール

年度	2023	2024	2025	2026
木曾三川下流域Ⅱ(弥富)	実施設計	建築工事	建築工事	建築工事・供用開始予定
西三河南部地域(西尾)	敷地造成・防災倉庫整備・救助資機材整備	仕上工事・供用開始予定	—	—
東三河南部地域(豊橋)	用地測量・基本設計	実施設計	(2025年度以降工事等実施)	
【参考】木曾三川下流域Ⅰ(愛西)	(2022年度供用開始済)	—	—	—

## 3 防災活動拠点運営・運用検討会等の開催

海部地域における拠点を活用した広域一時滞在の運用等について、引き続き検討を進めます。



# 次世代高度情報通信ネットワークの整備を進めます

予算額 541,310千円  
 (外に債務負担行為 6,735,789千円)

防災安全局防災部災害対策課  
 通信グループ  
 内線 2543・2527  
 (ダイヤル)052-954-6196

災害時において、県や市町村、防災関係機関等における防災行政情報の円滑かつ効率的な通信を確保するため、次世代高度情報通信ネットワークの整備を進めます。

## 【事業内容】

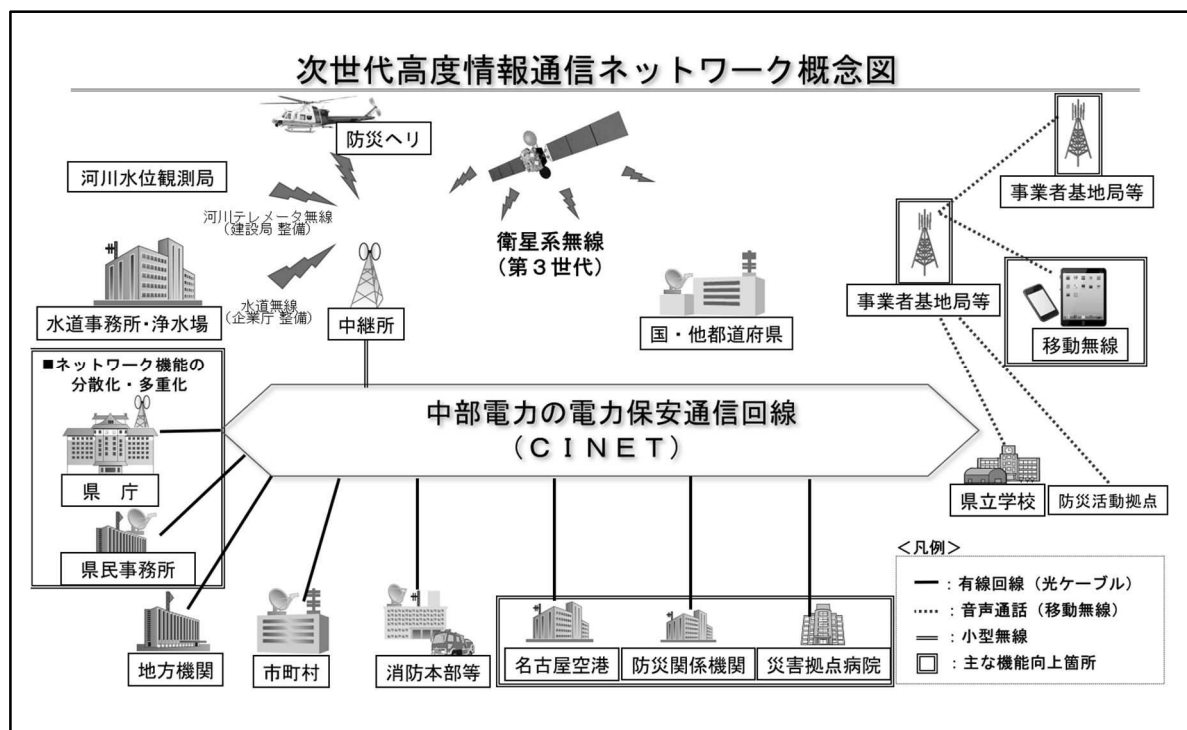
2002年12月(衛星系は2004年4月)から運用中の高度情報通信ネットワークの更新整備を3か年工事により実施

## 【スケジュール】

2024年度～2026年度	整備工事
2027年度～	全面運用開始

## 【次世代高度情報ネットワークの特徴】

- ・メイン回線を地上系無線から高信頼度の民営回線への転換を図り、衛星系無線のバックアップによる2系統のネットワークを構築
- ・民営回線は、中部電力が保有する電気保安用通信回線(CINET)を賃借



# 住宅・建築物の耐震化の促進を図ります

予算額 450,165千円

建築局公共建築部住宅計画課  
防災まちづくりグループ  
内 線 2781・2783  
(ダイヤルイン)052-954-6549

住宅・建築物の耐震診断及び耐震改修や、危険なブロック塀等の除却等の費用に対する補助制度を継続し、耐震化を促進します。

## 住宅の耐震診断費補助 75,297千円

耐震診断事業等を行う市町村に診断費の補助をします。

### ○木造住宅

所有者負担なし (国 1/2 県 1/4 市町村 1/4)

### ○非木造住宅

補助率 2/3 (国 1/3 県 1/6 市町村 1/6)

## 住宅の耐震改修費補助 213,015千円

耐震改修費補助事業を行う市町村に改修費の補助をします。

### ○住宅耐震改修

上限 100 万円 (国 1/2 県 1/4 市町村 1/4)

### ○住宅段階的耐震改修

上限 60 万円 (国 1/2 県 1/4 市町村 1/4)

### ○木造住宅耐震シェルター整備

上限 30 万円 (国 1/2 県 1/4 市町村 1/4)

### ○木造住宅の除却

上限 52 万円 (国 1/2 県 1/4 市町村 1/4)

## 民間ブロック塀等の除却費補助 13,200千円

市町村が指定する避難路等に面する、危険なブロック塀等について、除却・改修等費用の補助事業を行う市町村に除却費等の補助をします。

補助率 2/3 (国 1/3 県 1/6 市町村 1/6)

## 建築物の耐震診断費補助 2,124千円

多数の者が利用する建築物等について、耐震診断費補助事業を行う市町村に診断費の補助をします。(病院、旅館、店舗等)

補助率 2/3 (国 1/3 県 1/6 市町村 1/6)

## 建築物の耐震改修費補助 146,529千円

耐震診断が義務付けられた建築物について、耐震改修費補助事業を行う市町村に改修費等の補助をします。

### ○通行障害既存耐震不適格建築物

(県が指定した道路の沿道建築物)

対象工事 耐震改修

除却

補助率 11/15 (国 2/5 県 1/6 市町村 1/6)

### ○多数の者が利用する大規模建築物等

(病院、旅館、店舗等)

対象工事 耐震改修

除却

補助率 269/600 (国 1/3 県 23/400 市町村 23/400)

# 「災害時に人とペットが共生できる愛知」の実現を 目指します

予算額 12,409千円

防災安全局防災部災害対策課  
支援グループ  
内線 2565・2566  
(ダイヤル)052-954-6149

避難所におけるペット受入れ体制の整備を推進するため、ペット用資機材の配布や同行避難訓練のモデル的な実施により、市町村を支援します。また、県民のペット防災に関する意識の向上と知識を深めるため、ペット防災に関するイベントを実施します。

## ○ ペット用資機材等の配布

2023年度に実施した「ペット同行避難対策の推進に向けた事業・企画アイデア」募集の結果、優秀提案と評価された避難所で使用するペット用のコンテナハウスやテント等を市町村へモデル的に配布し、市町村のペット同行避難に向けた取組を促進します。

## ○ ペット同行避難訓練実施の支援

ペット同行避難訓練のモデル的な実施により市町村を支援し、その効果検証を行い広く県内市町村に促していくことで、避難所のペット受入れ体制を整備します。

## ○ ペット防災に関するイベントの実施

県の防災訓練等においてペット啓発ブースを設置し、ペットと一緒に楽しみながらペット防災を学ぶことができるセミナーやペット防災グッズの紹介等のイベントを開催します。



# 消防団への加入促進の取組を推進し、 地域防災力の充実強化を図ります

予算額 18,041千円

防災安全局防災部消防保安課  
消防・広域化グループ  
内線 2520・2525  
(ダイヤル)052-954-6195

消防団への加入促進を図るため、市町村が行う先進性・発展性のある消防団加入促進の取組を積極的に支援し、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図ります。

## 1 消防団活性化対策事業費 11,041千円

### ・女性・若者の加入促進

女性・若者の消防団加入促進のため、大学や若者の利用の多い駅等を中心に、広告等によるPR活動を実施します。

### ・企業等と連携した加入促進

地域全体で消防団活動を応援する「消防団応援の店制度」や、消防団が活動しやすい環境づくりの一環である「消防団協力事業所表示制度」等を県内全域に普及させるため、企業や店舗、事業所への周知を図ります。

### ・イベントによる加入促進・消防団活性化

1月20日の「あいち消防団の日」にあわせた県内一斉のPR活動を実施します。

### ・消防連合フェアの開催（新規）

県内の消防団、女性消防クラブ、少年消防クラブ等の地域防災の担い手が一堂に会する「消防連合フェア」を開催します。

## 2 消防団加入促進モデル事業費 2,000千円

機能別消防団（分団）の設置や、実践的な訓練の導入など、先進性・発展性があり、他の地域のモデルとなる事業を市町村に委託し、消防団加入促進を図ります。

・1市町村あたりの委託上限額：1,000千円

## 3 消防団加入促進事業費補助金 5,000千円

イベントを活用した幅広い世代に対する積極的な消防団PR活動など、市町村が実施する消防団加入促進を目的とした効果的な取組に助成します。

・補助率：補助対象経費の1/2以内 ・1市町村あたりの補助金上限額：1,000千円



過去に実施した消防団PR活動の例

# 交通事故死者数の減少を目指し、交通安全対策を推進します

予算額 18,301,289千円

とりまとめ  
防災安全局県民安全課  
交通安全グループ  
内線 2492・2493  
(ダイヤル)052-954-6177

<p><b>交通安全県民運動等の実施</b> 53,324千円</p> <p>◎交通安全県民運動等の実施 16,287千円 ・各季に県民総ぐるみの運動等を展開</p> <p>◎歩行者保護対策の実施 2,497千円 ・ラジオCMによる「横断歩道は歩行者優先」の周知</p> <p>◎ハンド・アップ運動の推進 10,917千円 ・著名人の「ハンド・アップ隊」への任命や広報宣伝車による「ハンド・アップ運動」のPR</p> <p>◎自転車の安全利用の推進 1,213千円 ・自転車シミュレータを活用した参加体験型の出張講座の開催</p> <p>&lt;警察本部関係&gt;</p> <p>◎交通安全啓発事業 22,410千円 ・優良運転者等に対する表彰や、高齢者に対する交通安全啓発を実施 ・交通少年団の育成や運転適性検査等を実施</p>	<p><b>多発事故対策推進事業の実施</b> 40,917千円</p> <p>◎高齢者の事故防止の啓発活動 19,235千円 ・著名人を起用した動画や啓発イベント、ラジオCM等による、反射材やヘルメットの着用促進、安全運転サポート車やサポートカー限定免許、運転免許証の自主返納制度等の周知</p> <p>◎ドライバーに対する啓発活動 18,458千円 ・著名人を起用した動画や啓発イベント等による「ながらスマホ」や「あおり運転」の危険性などの周知 ・通学路における企業・地域団体の交通安全活動を促進</p> <p>◎交差点事故防止出張講座の開催 2,735千円 ・歩行環境シミュレータを活用した参加体験型の出張講座の開催</p> <p>◎交通死亡事故多発警報制度の運用 489千円 ・効果的な警報等の発令による、県、県警、市町村、関係団体が一丸となった迅速な対策の推進</p>	<p><b>自転車の安全利用の促進</b> 56,024千円</p> <p>◎自転車安全利用促進事業費 22,291千円 ・著名人を起用した鉄道広告や動画、啓発イベント等による自転車の安全で適正な利用やヘルメット着用の促進 ・ヘルメット着用促進宣言の募集 ・児童・生徒・高齢者等への自転車交通安全教育に関する教材の制作（新規）</p> <p>◎自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金 33,733千円 ・市町村と協調して児童・生徒等（7～18歳）及び高齢者（65歳以上）のヘルメット購入費を助成</p> <p><b>交通安全施設の整備</b> 18,149,636千円</p> <p>&lt;建設局関係&gt; 10,593,673千円 ・交差点改良等の「抜本対策」や現道内でのカラー舗装や路面標示などの「速効対策」を広範かつ機動的に推進 ・全市町村で策定した通学路交通安全プログラムに基づき、市町村・学校・県警等と連携して合同点検を実施し、危険箇所の解消を図る取組を継続的に推進</p> <p>&lt;警察本部関係&gt; 7,555,963千円 ・事故危険箇所対策として、信号機の新設・改良、信号灯器のLED化、道路標識・標示の整備等を推進 ・歩行者等の安全確保として、歩車分離式信号の整備等を推進</p>
<p><b>交通安全推進協働事業の実施</b> 1,388千円</p> <p>◎交通安全パートナーシップ企業活動支援 84千円 ・自主的かつ積極的に交通安全啓発事業に取り組む企業の支援</p> <p>◎交通安全教育ボランティア「かけ橋」の派遣 1,304千円 ・地域団体等の要請に対するボランティアの派遣</p>		

# 多発事故の防止に向けた啓発活動及びヘルメットの着用を促進します

予算額 107,131千円

防災安全局県民安全課  
交通安全グループ  
内線 2492・2493  
(ダイヤル)052-954-6177

交通事故死者数の減少を目指し、横断歩道における「歩行者保護の意識」を醸成するとともに、死者数の約半数を占める「高齢者」及び死亡事故原因の約8割を占める「ドライバー」の事故防止のための啓発活動を実施します。

また、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、自転車安全利用に関する広報・啓発活動を行うとともに、自転車乗車用ヘルメットの着用を促進します。

## 1 歩行者保護推進広報事業費 2,497千円

- ・ラジオCMによる「横断歩道は歩行者優先」の周知

## 2 ハンド・アップ運動推進広報事業費 10,917千円

- ・著名人の「ハンド・アップ隊」への任命や、広報宣伝車による「ハンド・アップ運動」のPR

## 3 高齢者交通安全広報事業費 19,235千円

- ・著名人を起用した動画や啓発イベント、ラジオCM等による、反射材やヘルメットの着用促進、安全運転サポート車やサポートカー限定免許、免許証の自主返納制度等の周知

## 4 ドライバーマナー向上推進事業費 18,458千円

- ・著名人を起用した動画や啓発イベント等による「ながらスマホ」や「あおり運転」の危険性などの周知
- ・通学路における企業・地域団体の交通安全活動の促進

## 5 自転車安全利用促進事業費 22,291千円

- ・著名人を起用した鉄道広告や動画、啓発イベント等による自転車の安全で適正な利用やヘルメット着用の促進
- ・企業、学校等からの「愛知県ヘルメット着用促進宣言」の募集
- ・児童・生徒・高齢者等への自転車交通安全教育に関する教材の制作（新規）

## 6 自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金 33,733千円

- ・児童生徒等及び高齢者の自転車乗車用ヘルメットの購入に要する費用について、市町村と協調して助成



### ■自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金

#### ○ 補助対象事業

市町村が実施する、児童・生徒等（7～18歳）及び高齢者（65歳以上）に対するヘルメット購入費助成事業

#### ○ 補助対象経費

ヘルメット1個当たり購入・販売金額の1/2  
上限2,000円/個、1人につき1個まで

#### ○ 補助率

補助対象経費の1/2

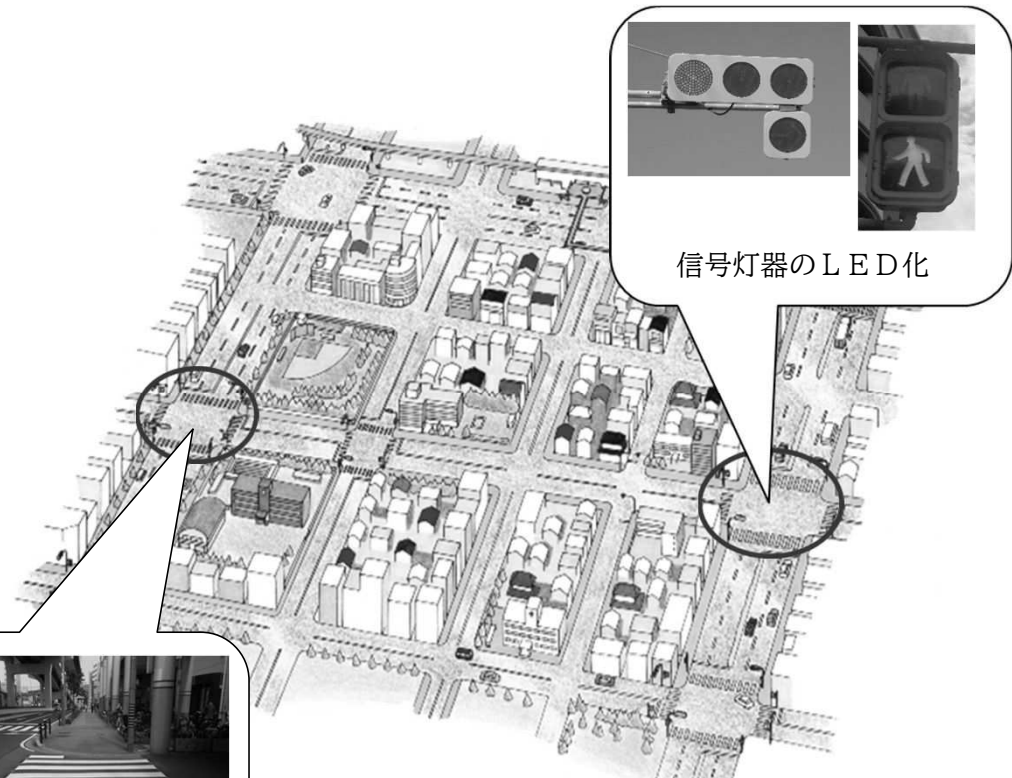
# 交通事故を減らし、安全で快適な交通社会を目指します

予算額 7,555,963千円

警察本部 交通規制課  
 電話052-951-1611(代表)  
 内線 5161・5165

交通事故死者数の減少に向け、計画的に信号機、道路標識・標示等の交通安全施設を整備し、歩行者の安全通行の確保や、交通事故の抑止と道路交通の円滑化を図ります。

主 な 事 業	
○ 信号機新設	19 基
○ 信号機改良	951 基
○ 信号灯器のLED化	5,911 灯
○ 道路標識の新設・更新	8,195 本
○ 道路標示の新設・更新	3,058 km



防災安全局県民安全課  
 安全なまちづくりグループ  
 内線 2490・2406  
 (ダイヤル)052-954-6176

# 安全で安心なまちづくりを推進します

予算額 74,093千円

特殊詐欺や侵入盗など県民の安全・安心を脅かす犯罪を減少させるため、自主防犯活動の更なる推進や、地域と連携した取組の強化を図ります。また、犯罪被害者等へのきめ細かな支援を推進します。

## 1 自主防犯活動の推進

- (1) 自主防犯活動促進事業費補助金 54,000千円
  - ・市町村と連携して地域防犯力の更なる向上を図るため、市町村が実施する防犯対策設備・機器の購入・設置補助制度に対して支援を実施。
- (2) 自主防犯活動推進事業費 5,807千円
  - ・各地域の特性に応じた効果的な防犯活動の企画を自主防犯団体等から募集し、優良提案団体には取組の実践を委託。事業の成果については、報告会の開催や報告書の作成等により、他地域への普及を図る。
  - ・老人クラブや金融機関、学生ボランティア等との連携を強化し、被害の大半を占める高齢者等への啓発を実施するとともに、巧妙化する手口等について学ぶセミナーを開催。

**■自主防犯活動促進事業費補助金**

○補助対象事業  
市町村が実施する地域自主防犯団体、地域団体等に対する防犯対策設備・機器の購入・設置補助制度に対する補助事業

○補助対象経費  
防犯カメラの購入・設置（上限170千円）  
通話録音装置等の購入（上限3千円）  
センサーライト等の購入（上限8千円）

○補助率  
市町村の補助上限額の1/2以内

○1市町村あたりの補助上限額  
1,000千円

## 2 犯罪被害者等への支援の推進

- (1) 犯罪被害者等支援事業費 12,543千円
  - ・犯罪被害者等へ見舞金、遺児支援金、再提訴費用の助成金、法律相談費用の助成金、転居費用の助成金を給付。
- (2) あいち地域安全戦略推進事業費 1,743千円
  - ・犯罪被害者等からの相談に特化した窓口を整備するとともに、行政機関における犯罪被害者等支援ハンドブックを作成。





# ゼロエミッション自動車の普及加速に向けて、取組を強力に推進します

環境局地球温暖化対策課  
自動車環境グループ  
内線 3037・3092  
(ダイヤル)052-954-6217

予算額 645,581千円

「あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン」に基づき、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）及び燃料電池自動車（FCV）の普及加速に向けた取組を強化します。

## 1 推進事業費 4,134千円

「あいちEV・PHV普及ネットワーク」（設立：2009年4月 構成員：自動車メーカー等92団体）の参加者と協働して、EV、PHVの普及に取り組みます。

また、EV、PHV、FCVの自動車税種別割課税免除を引き続き実施します。

## 2 先進環境対応公用車導入費 91,731千円

EV、PHV、FCVを始めとする電動車を公用車に導入します。

## 3 先進環境対応自動車導入促進費補助金 499,716千円

中小企業者や旅客・貨物運送事業者等に対し、EV、PHV、FCV等を導入する経費の一部を補助します。

また、車両の普及状況に応じた補助単価の見直しを実施するとともに、燃料電池トラック（FCトラック）を補助対象に追加します。

- ① 乗用車の補助単価の見直し  
FCV：60万円→100万円、PHV：20万円→10万円
- ② FCトラックの補助対象への追加  
補助額：車両本体価格と通常車両価格との差額×1/6

## 4 充電インフラ整備促進費補助金（新規） 50,000千円

集合住宅や工場・事務所、商業施設、宿泊施設、自治会集会所等にEV、PHVの充電設備を設置する事業者等に対し、経費の一部を補助します。

- ・対象設備：急速充電器、普通充電器、充電用コンセント、充電用コンセントスタンド
- ・補助率：1/4 ・補助上限額：125万円（急速充電）、17.5万円（普通充電）



電気自動車（EV）



燃料電池自動車（FCV）



プラグインハイブリッド自動車（PHV）



急速充電器



普通充電器

# 住宅の省エネルギー化を推進します

建築局公共建築部住宅計画課  
 企画グループ  
 内線 2772・2771  
 (ダイヤルイン)052-954-6567

予算額 20,825千円(新規)

既存住宅について、躯体等の断熱改修や省エネ設備の導入等により、省エネ基準レベルやZEHレベルへの適合を図る改修工事等に対する補助制度を創設し、住宅のカーボンニュートラルの実現に向けた取組を推進します。

## 民間住宅省エネ改修事業費補助金

### 1 省エネ診断

- 事業主体：市町村
- 補助率：2/3 (国 1/3 県 1/6 市町村 1/6)
- 上限：120千円/戸

### 2 省エネ設計・改修(省エネ基準レベル)

- 事業主体：市町村
- 補助率：2/5 (国 1/5 県 1/10 市町村 1/10)
- 上限：300千円/戸

### 3 省エネ設計・改修(ZEHレベル)

- 事業主体：市町村
- 補助率：4/5 (国 2/5 県 1/5 市町村 1/5)
- 上限：700千円/戸

※ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

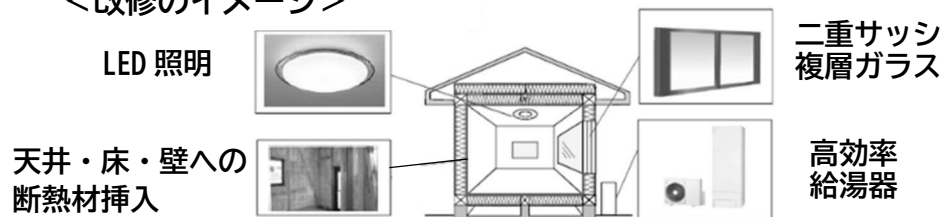
省エネルギー化と再生可能エネルギーの活用によりエネルギー消費量を正味でゼロにすることを目指した住宅

## 【既存住宅の省エネ改修の概要】

### <改修内容>

- 躯体等の断熱改修：天井・床・壁への断熱材挿入や窓を二重サッシ、複層ガラスに取替等
- 省エネ設備の導入：LED照明や高効率給湯器の設置等

### <改修のイメージ>



### 【住宅の省エネルギー化に関する基準】

基準	外皮の性能 (断熱等性能等級)	設備の性能 (一次エネルギー消費量等級)
省エネ基準レベル	等級4 (現行基準相当)	等級4 (現行基準相当)
ZEHレベル	等級5 (現行基準を強化)	等級6 (等級4から20%以上削減)

・表中の等級は「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づく住宅性能表示制度の基準  
 ・ZEHレベルは、再生可能エネルギーの活用を必須としない

# 循環型社会の形成に向けた取組を推進します

予算額 342,793千円

環境局資源循環推進課  
循環グループ  
内線 3074・3075  
(ダイヤル)052-954-6233

「あいちサーキュラーエコノミー推進プラン」に基づき、資源投入量と廃棄物発生量を限りなく小さくするサーキュラーエコノミーへの転換と3Rの高度化による循環ビジネスの進展を図ります。

また、社会的な課題となっているプラスチックごみや食品ロスの削減に向けた取組を推進します。

## 1 サーキュラーエコノミーの推進 309,886千円

サーキュラーエコノミー型ビジネスの発掘、事業化から円滑な事業継続までを一貫して支援します。

- ・6つの「サーキュラーエコノミー推進モデル」の構築に向け、事業者・団体、有識者等で構成するプロジェクトチームによる事業化を支援

### 【各推進モデル】

- ・プラスチック循環利用
- ・太陽光パネル循環利用
- ・繊維・衣類循環利用
- ・リペア・リビルド
- ・食品循環利用
- ・未利用木材循環利用

- ・先導的で効果的なサーキュラーエコノミーに資する設備やリサイクル設備の導入等を支援

## 2 プラスチックごみ削減に向けた取組 6,449千円

「あいちプラスチックごみゼロ宣言」等を踏まえ、プラスチックごみ削減に向けた取組を支援します。

- ・県民が楽しみながらプラスチックごみの削減について学ぶことのできる謎解きイベントをオンラインにて開催(新規)
- ・市町村の分別収集・再商品化に向けた計画の策定支援

## 3 食品ロス削減対策 26,458千円

「愛知県食品ロス削減推進計画」に基づき、県民、事業者、市町村による食品ロス発生抑制の取組を推進します。

- ・一般家庭から発生する食品ロス量の調査・推計(新規)
- ・県民や事業者を対象とした有識者による講演やブース出展などを行うイベントの開催
- ・小学生を対象とした環境学習プログラムによる普及啓発
- ・各家庭での食品ロス量を把握し減量にチャレンジする県民参加型事業の実施



# 生物多様性保全に関する取組を推進します

予算額 88,272千円

環境局環境政策部自然環境課  
生物多様性保全グループ  
内線 3096・3097  
(ダイヤル) 052-954-6475

「あいち生物多様性戦略2030」に基づき、県内の生物多様性保全の取組を一層活性化します。  
また、企業等による「自然共生サイト」認定制度への申請を促進し、生物多様性が保全されたエリアの拡充を図ります。  
さらに、COP16への参加、世界のサブナショナル政府（州・県レベルの広域自治体）との連携を通じて、世界的な生物多様性保全の取組活性化に貢献します。

## 1 生物多様性SDGs推進費 21,474千円

- 「あいち生物多様性企業認証制度」認証企業による取組事例の現地視察会やセミナーの開催を通じた保全活動に取り組む事業者の拡大
- 県内の大学生を中心としたユース組織による保全活動の支援及び保全活動に関心を持つ県民等を対象としたサポーターフォーラムや担い手養成講座の開催
- 希少な野生生物の生息・生育環境となる湿地の保全を目的とした、保全管理の必要性・重要性が高い湿地の調査の実施及び保全体制の構築



あいち生物多様性企業認証制度  
認証ロゴマーク

## 2 あいち生物多様性戦略推進費 6,540千円

- 「自然共生サイト※1」の認定申請の促進を目的とした、新たに県内の生物多様性の保全が図られる区域の掘り起こし調査の実施及び企業・NPO等を対象とした説明会の開催

※1 自然共生サイト：国が認定した「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」

## 3 生物多様性国際連携推進事業費 60,258千円

- COP16に、「世界目標達成に向けた国際先進広域自治体連合※2」のメンバー等とともに参加し、サイドイベントの開催等を通じてサブナショナル政府の役割の重要性を発信

※2 世界目標達成に向けた国際先進広域自治体連合（2016年8月設立）  
 <構成> 愛知県、メキシコ州政府連合、カンパチェ州（メキシコ）、カタルーニャ州（スペイン）、カンウォンド江原道（韓国）、江蘇省（中国）、オンタリオ州（カナダ）、ケベック州（カナダ）、サンパウロ州（ブラジル）

- 本県と環境分野に係る協定を結んでいるブラジル・サンパウロ州との連携によるユース交流プログラムの実施

# 「環境首都あいち」を支える人づくりを推進します

予算額 77,550千円

とりまとめ  
環境局環境政策部環境活動推進課  
環境学習グループ 内線3027・3028  
(ダイヤル)052-954-6208

「環境首都あいち」の実現に向け、多様な主体との連携・協働により各世代に応じた環境学習を実施し、持続可能な未来のあいちの担い手を育成する「人づくり」を地域全体で推進します。

## 【未就学児童】

インタープリター自然体感推進事業  
11,925千円

「もりの学舎」での自然体感プログラムの提供や、幼稚園や環境学習施設での自然体験普及のための指導者研修の実施

- ・もりの学舎ようちえん
- ・一日もりの学舎ようちえん
- ・森の伝道師派遣
- ・保育士・施設職員への研修

## 【小中学生、中高齢・シニア】

環境学習等行動計画推進事業  
40,714千円

「あいち環境学習プラザ」等において、施設の特徴（体験型展示やZEB施設の見学）を生かした環境学習の実施

- ・小学校等の社会見学に対応した環境学習
- ・あいちecoティーチャーによる環境学習講座
- ・もりの学舎キッズクラブ



## 【高校生】

高校生環境学習推進事業  
6,432千円

「あいちの未来クリエイト部」による地域の環境についての調査・研究や、研究成果の普及・発信

- ・専門家等と連携した調査・研究
- ・参加校による活動報告会の開催
- ・県民向け普及啓発資料の作成

## 【大学生】

持続可能な未来の  
あいちの担い手育成事業  
9,657千円

「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」により、企業等と連携して行う、次世代の担い手となる環境リーダーの育成

- ・企業等での研究活動
- ・成果発表会の開催
- ・研究所活動の発信

## 【社会人】

あいち環境塾実施事業  
8,822千円

企業・団体・行政など、各分野で活躍する持続可能な社会づくりのリーダーの育成

- ・人材育成講座、成果発表会の開催
- ・体験講座の開催
- ・地域実践活動の実施（卒塾生対象）

# 東三河振興ビジョン 2030 関連施策を推進します

## ～ 地域と一体になって東三河の振興を図ります ～

予算額 4,642,229千円

とりまとめ  
総務局総務部市町村課  
地域振興室山村・離島グループ  
内線 2325・2269  
(ダイヤル)052-954-6097

- 東三河振興ビジョン推進費 6,369千円  
・東三河振興ビジョン 2030 に基づき、新たな広域連携事業である「重点プロジェクト」を策定します。
- 東三河振興ビジョンの推進に関する主な施策 4,635,860千円

<b>【豊かな暮らしを実現する地域づくり】</b>	<b>261,632千円</b>	<b>【地域産業の革新展開】</b>	<b>163,127千円</b>
1 過疎バス路線維持費補助金	93,368千円	◎25 STATION Ai パートナー拠点事業費	21,057千円
2 へき地医療対策費補助金	23,264千円	◎26 あいち農業イノベーションプロジェクト推進費	20,054千円
3 山間市町村振興資金貸付金	60,000千円	27 山村地域鳥獣被害防止対策事業費補助金	1,872千円
4 元気な愛知の市町村づくり補助金	85,000千円	◎28 あいち森と緑づくり事業費	44,016千円
<b>【誰もが活躍できる地域づくり】</b>	<b>2,272,323千円</b>	29 指定管理鳥獣捕獲等事業推進費	27,144千円
5 中高一貫校整備事業費	108,995千円	◎30 東三河地域産業連携推進事業費	21,640千円
6 高等学校校舎整備費（夜間中学の整備）	20,460千円	◎31 東三河地域農工商連携商品販売支援事業費	6,688千円
7 高等学校再編整備費	20,995千円	◎32 東三河森林資源活用事業費（新規）	20,656千円
8 東三河教育プロジェクト推進費	12,093千円	<b>【地域を支える社会基盤の整備】</b>	<b>1,529,448千円</b>
9 実習船建造費	2,102,625千円	33 三河山間地域簡易水道施設整備費補助金	39,400千円
10 県立高等学校再編将来構想推進費	1,543千円	34 山間地域バス運行対策費補助金	37,383千円
11 へき地教育振興費補助金	887千円	35 一般地域バス運行対策費補助金	48,875千円
12 あいちグローバル人材育成事業費	1,957千円	36 バス事業者交通系 IC カードシステム整備費補助金	49,897千円
◎13 東三河地域連携教育推進事業費	1,859千円	37 特定港湾施設整備費	1,066,000千円
◎14 東三河小中高特連携教育推進事業費	909千円	38 三河港利用促進・競争力強化事業費	7,905千円
<b>【環境の保全・再生】</b>	<b>165,430千円</b>	39 中山間地域等直接支払事業費	77,300千円
15 流域下水道建設事業費	150,000千円	40 土地改良受託事業費	103,800千円
16 三河湾環境再生推進費	7,730千円	41 豊橋市多目的屋内施設整備促進費補助金	27,500千円
◎17 東三河自然再生推進費	7,700千円	42 ゼロメートル地帯広域防災拠点整備費	71,388千円
<b>【地域の魅力の創造と活力の創出】</b>	<b>243,900千円</b>	<b>◎：東三河SDGs先導事業</b>	
◎18 東三河若者人材確保支援事業費	19,272千円	「東三河振興ビジョン 2030」の推進に当たり、地域の持続可能性を一層高め、東三河地域から本県全体のSDGsの達成をリードするため、地域特性・地域資源を活かし、他地域への波及が期待できる先導的な事業を「東三河SDGs先導事業」と位置づけ、実施します。	
19 あいちスポーツコミッション事業費	17,989千円		
20 山村振興ビジョン推進費	115,250千円		
21 三河山間交流居住推進費	2,800千円		
◎22 東三河「新しい人の流れによる新たな魅力と価値」創造事業費	37,036千円		
◎23 東三河地域魅力発信事業費	19,947千円		
◎24 東三河森林空間活用事業費（新規）	31,606千円		

# 「東三河森林ルネッサンスプロジェクト」に基づき、 森林資源の新たな循環利用を強力に進めます

とりまとめ  
総務局総務部市町村課  
地域振興室山村・離島グループ  
内線 2325・2269  
(ダイヤルイン)052-954-6097

予算額 52,262千円（新規）

「東三河振興ビジョン2030」の重点プロジェクトである「東三河森林ルネッサンスプロジェクト」に基づき、東三河地域の森林資源の新たな循環利用を促進するため、森林空間を活用したアウトドアスポーツ等新たなサービス産業の創出や森林信託の導入に向けた調査、木材利用の促進等に取り組みます。

## 東三河森林空間活用事業費【総務局】

31,606千円

- 森林空間を活用した新たなサービス産業の創出  
マウンテンバイクやオリエンテーリング等のサービス産業を新たに創出するためのニーズ調査や、事業者によるモデルプランの造成に対する支援を実施
- 森林信託の導入に向けた調査の実施  
新たな収益事業の創出による持続可能なビジネスモデルである森林信託の導入に向けた調査の実施

### 【森林信託】

森林所有者が信託銀行等の受託者に森林の所有権を移転し、受託者又は再委託先の事業者により新たなビジネス等による財産運用をすることで収益を出し、受託者及び委託者に利益が還元される仕組み

## 東三河森林資源活用事業費【農林基盤局】

20,656千円

- ウッドワンダーランド東三河版の開催  
東三河地域において企業間連携等を図る新たな機会を創出するための企業展示会、交流会の開催
- 木質体感ショールームの設置  
木材の良さを知り、体感してもらう機会を創出するため、駅などの不特定多数の人が集まる場所にショールームを設置

### (参考) 関連事業

#### あいち森と緑づくり人工林整備事業費【農林基盤局】

循環型林業の促進を図るため、主伐・再造林等に対する助成を実施

# 新たな「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、 人口問題対策を加速します

とりまとめ  
政策企画局地方創生課  
企画グループ  
内線 2290・2328  
(ダイヤル)052-954-6093

予算額 174,074千円

2023年10月策定の「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027（愛知県人口問題対策プラン）」に基づき、人口問題対策を加速します。

## 1 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進費【政策企画局】 24,074千円

### ○ 「総合戦略2023-2027」のPR（新規）

人口問題対策の重要性や地方創生に資する優良事例を県民と共有するためのシンポジウムを開催

### ○ 次期「愛知県人口ビジョン」の策定（新規）

国が改訂予定である「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」（国の人口ビジョン）を踏まえ、本県の人口の将来展望を示す次期「愛知県人口ビジョン」を策定

### ○ 地域活力創出事業（新規）

人口が減少している市町村における自然環境や伝統文化の保全、地場産業体験などの活動に対して、県外に向けた情報発信や参加者募集などを実施

- ・市町村が抱える地域課題の解決を支援し、地域活力を創出することにより、安心・快適な地域社会を構築
- ・対象：3市町村程度

## 2 元気な愛知の市町村づくり補助金（うち人口問題対策事業分（新規））【総務局】 150,000千円

人口問題対策に係る市町村の積極的な取組を加速させるため、元気な愛知の市町村づくり補助金を拡充し、「総合戦略2023-2027」を踏まえて市町村が実施する取組を支援

- ・限度額：5,000千円
- ・補助率：原則1/2以内

【取組例】 地場産業の振興や担い手の育成、観光資源の創造や観光誘客の促進、ワーケーション等の促進、移住・定住の促進、結婚・出産・子育て支援、高齢化対策 など



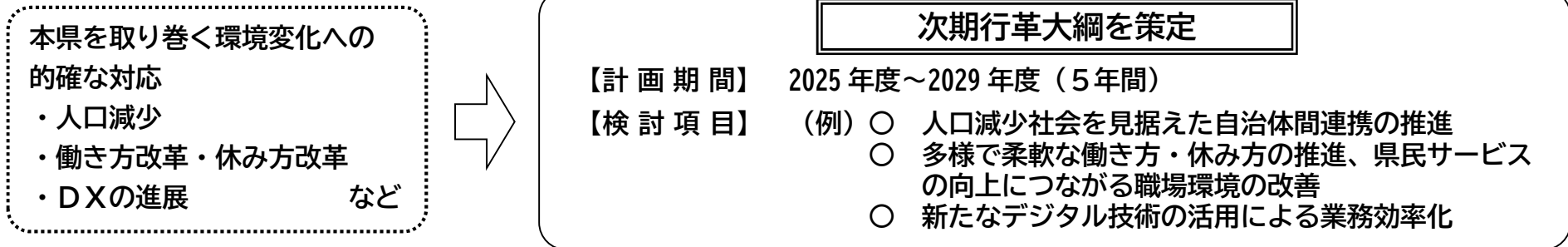
# 行政改革を積極的に推進します

総務局総務部総務課  
行政改革推進グループ・行政経営企画グループ  
内線 2121・2122  
(ダイヤルイン)052-954-6026

予算額 62,613千円

「日本一元気な愛知」づくりを支える行財政運営を実現するため、「あいち行革プラン2020」に基づき、行財政改革の取組を積極的に推進するとともに、プランの計画期間（2024年度まで）終了後も、引き続き行財政改革に全力で取り組んでいくため、2024年12月を目途に次期行革大綱を策定します。

## ○ 次期行革大綱の策定



## ○ 「あいち行革プラン2020」に基づく行財政改革の推進

**主な取組**

- ・ICTを活用した業務の合理化・効率化（ノーコード・ローコードツール※1、RPA※2の活用等）
- ・外部有識者による公開ヒアリングの開催
- ・人事評価への反映等による新グッドジョブ運動の積極的な推進
- ・職場に個人の固定席を設けないフリーアドレスの導入拡大 など

※1 ノーコード・ローコードツール：プログラミング言語などを少なく、もしくは書かないでシステム構築やアプリケーション開発ができるツール

※2 RPA：パソコン上の定型業務を自動処理するプログラム

【参考】2024年度当初予算案における行革効果額 32億円（一般会計ベース）

- ① 施策等の見直し 21億円      ② 自主財源の確保 11億円

# 愛知県スタートアップ支援拠点条例の制定について

経済産業局革新事業創造部  
 スタートアップ推進課  
 拠点推進グループ  
 内線 5182・5188  
 (ダイヤルイン) 052-954-6699

2024年10月のオープンに向けて整備を進めている STATION Ai について、利用許可及び利用料金の基準額の設定など、必要な規定を整備するため、愛知県スタートアップ支援拠点条例を制定します。

## 【条例の概要】

### <設置目的>

スタートアップ及びパートナー企業等に交流の機会及び事業の成長に資する支援を提供することにより、イノベーションの創出の促進並びにこれらの者の国際的な交流及び連携を図り、もって地域経済の発展に資するため。

### <業務>

- ・ オフィス、会議室、研修室、イベントスペース等を利用させること。
- ・ スタートアップの創出及び育成並びにスタートアップとパートナー企業等との協業及び連携に関し、情報の提供、相談その他の必要な事業を行うこと。



STATION Ai  
 外観イメージ

### <利用料金> (主なもの)

利用者が納付する利用料金については、以下の基準額の1.3倍を上限として、2024年4月からの利用受付開始までに運営事業者が決定する(下限はなし)。

#### ①オフィス (1席1月につき)

区分	基準額
個室	68,750円
固定席	44,000円
テックラボ 固定席	110,000円
ワーキングスペース	33,000円

#### ②会議室 (30分につき)

区分	基準額
大会議室	2,200円
小会議室	1,650円

#### ③研修室 (平日)

区分	基準額
午前	38,500円
午後	44,000円
夜間	49,500円
全日	110,000円

#### ④イベントスペース (平日)

区分	基準額
午前	77,000円
午後	88,000円
夜間	99,000円
全日	220,000円

#### ⑤駐車場 (1台30分につき)

区分	基準額
普通自動車	200円

## 使用料及び手数料の新設及び改定等について

総務局財務部財政課  
財政第二・予算第七グループ  
内線 2145・2147  
(ダイヤル) 052-954-6044

### 1 手数料の新設

手数料の事務の根拠となる法令の改正等により、新たに設定する必要が生じた手数料について、次のとおり料金を設定します。  
(主なもの)

事務の名称	手数料の名称・単位・手数料の額	収入見込額 (平年度) (百万円)	備考
中学校入学検定事務	中学校入学検定手数料 1人につき 2,200円	7	2024年4月1日施行

### 2 使用料及び手数料の改定

#### (1) 使用料の改定

区分	現行料金 a	改定後料金 b	改定率 % (b-a)/a	増収見込額 (平年度) (百万円)	備考
愛知県国際展示場	駐車場・屋外展示等用地使用料 普通自動車  1時間につき 300円 24時間までの最大料金 1,500円 120時間までの最大料金 7,500円	駐車場・屋外展示等用地使用料 普通自動車 通常期 1時間につき 300円 24時間までの最大料金 1,600円 120時間までの最大料金 8,000円 混雑期 1時間につき 500円 24時間までの最大料金 3,000円 120時間までの最大料金 15,000円	- 6.7 6.7  (新設) (新設) (新設)	3	愛知県国際展示場条例の一部改正 2024年4月1日施行

(2) 手数料の改定  
(主なもの)

事務の名称	現行料金 a	改定後料金 b	改定率 % (b-a)/a	増収見込額 (平年度) (百万円)	備考
危険物取扱者免状交付等事務	(主なもの) 危険物取扱者試験手数料 甲種危険物取扱者試験 1件につき 6,600円  危険物取扱作業保安講習手数料 1件につき 4,700円	危険物取扱者試験手数料 甲種危険物取扱者試験 1件につき 7,200円  危険物取扱作業保安講習手数料 1件につき 5,300円	9.1  12.8	6	2024年5月1日施行
消防設備士免状交付等事務	(主なもの) 消防設備士試験手数料 甲種消防設備士試験 1件につき 5,700円	消防設備士試験手数料 甲種消防設備士試験 1件につき 6,600円	15.8	0	2024年5月1日施行
職業適性検査事務	一般職業適性心理検査手数料 学生及び生徒 1件につき 410円以内 その他の者 1件につき 520円以内	一般職業適性心理検査手数料 学生及び生徒 1件につき 570円以内 その他の者 1件につき 630円以内	39.0 21.2	2	2024年4月1日施行